

第五十一回
帝國議會
衆議院
所得稅法中改正法律案(提出)
外二十七件

所得稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案
(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)
地租條例中改正法律案(政府提出)
明治三十七年法律第十二號中改正法律案
(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)
營業稅法廢止法律案(政府提出)
營業收益稅法案(政府提出)
資本利子稅法案(政府提出)
相續稅法中改正法律案(政府提出)
通行稅法中改正法律案(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
醬油稅則廢止法律案(政府提出)
自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
清涼飲料稅法中改正法律案(政府提出)
市町村稅地租法案(山本悌二郎君外十三名提出)
市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本悌二郎君外十三名提出)
地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)
明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

委員會議錄(速)
第十二回

會議

大正十五年二月十四日(日曜日)午前十時二十九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 元田 肇君

理事 田中 萬逸君
理事 山田 道兄君
理事 岩崎幸治郎君
理事 山崎達之輔君
理事 赤間嘉之吉君
理事 三輪市太郎君
理事 金光 庸夫君
理事 湯淺 凡平君
理事 石坂 豐一君
理事 原 脩次郎君
町田 忠治君
荒川 五郎君
松田 三德君
淺賀長兵衛君
村山喜一郎君
村上 國吉君

竹内友治郎君
八田 宗吉君
砂田 重政君
三土 忠造君
大石 大君
原田藤次郎君
增田 義一君
武藤 金吉君
高橋熊次郎君
嶋居 哲君
小川郷太郎君
福井 甚三君
森 肇君

內務書記官 田中廣太郎君
大藏省主稅局長 黑田 英雄君
大藏書記官 藤井 眞信君
農林政務次官 小山 松壽君
委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

相續稅法中改正法律案(政府提出)
通行稅法廢止法律案(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
醬油稅則廢止法律案(政府提出)
自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
清涼飲料稅法案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(政府提出)
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

今十四日委員山本慎平君及岩崎幸治郎君孰レモ辭任ニ付其ノ補闕トシテ議長ニ於テ砂田重政君及山崎達之輔君ヲ選定セリ
同日理事岩崎幸治郎君解任ニ付其ノ補闕トシテ山崎達之輔君理事ニ當選セリ
出席國務大臣左ノ如シ
文部大臣 岡田 良平君
大藏大臣 濱口 雄幸君
農林大臣 早速 整爾君
出席政府委員左ノ如シ
內務省地方局長 潮 惠之助君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
所得稅法中改正法律案(政府提出)
大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(政府提出)
地租條例中改正法律案(政府提出)
明治三十七年法律第十二號中改正法律案(地租徵收ニ關スル件)(政府提出)
營業稅法廢止法律案(政府提出)
營業收益稅法案(政府提出)
資本利子稅法案(政府提出)

相續稅法中改正法律案(政府提出)
通行稅法廢止法律案(政府提出)
酒造稅法中改正法律案(政府提出)
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
醬油稅則廢止法律案(政府提出)
自家用醬油稅法廢止法律案(政府提出)
織物消費稅法中改正法律案(政府提出)
賣藥稅法廢止法律案(政府提出)
骨牌稅法中改正法律案(政府提出)
清涼飲料稅法案(政府提出)
大正九年法律第五十一號中改正法律案(朝鮮ニ移出スル物品ノ內國稅免除ニ關スル件)(政府提出)
地方稅ニ關スル法律案(政府提出)
明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(政府提出)
市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

市町村稅地租法案(山本悌二郎君外十三名提出)

市町村稅地租法ノ施行ニ關スル法律案(山本悌二郎君外十三名提出)

地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

理事三輪市太郎君委員長席ニ著ク

○三輪委員長代理 ドウゾ御着席ヲ願ヒマス、是ヨリ開會ヲ致シマス、元田サンガ今日モ亦遅レルヤウデゴザイマス

ガ、多分後刻出席サレルデハアラウト思ヒマスガ、理事諸君ノ御推薦ニ依テ不肖ガ委員長ノ席ヲ保チマス

○小川委員 議事進行ニ付キマシテ一言シタイノデアリマス、最早總體質問モ殆ド終了ニ近付イタヤウニ考ヘマス、ソレデ參考資料トシマシテ政府ニ色々請求ヲシタイノデアリマスガ、マダ吾々ノ請求シマシタモノガ十分此方ノ

方ヘ配付ニナツテ居リマセヌ、質問ハ其參考資料ニ基イテシナケレバナラヌト思ヒマスノデ、此際政府ニ至急配付セラレルヤウニ、委員長カラ御交渉ヲ願ヒタイノデアリマス

○三輪委員長代理 承知致シマシタ

○小川委員 ソレカラモウ一ツ私ハ御願シタイノデアリマスガ、其政府ノ參考資料ニ付テ疑ノアルコトハ一應質問タイノデアリマスガ、何處カデ其機會ヲ拵ヘテ戴キタイト思フノデアリマス、此總質問ガ終リマシタ、最後ニ於キマシテ、サウ云フ機會ヲ與ヘラレレバ

大變仕合セダト思フノデアリマスガ、是ハ議事ノ總體ノ進行ニ付キマシテ關係ガアリマスカラ、私ハ之ヲ希望トシテ御願シテ置クノデアリマス

○三輪委員長代理 承ッテ置キマス

○嶋居委員 議事進行ニ付テ——審議期間モ餘程切迫致シテ居ル際デアリマスシ、マダ後ノ質問通告者ガ十名ヲ殘シテ居ルノデアリマス、此稅制整理ノ問題ハ非常ニ重要ナル案件デアリマスカラ、此質問通告者ヲ打切ルト云フヤウナコトハ全然シテ戴キタクナイノデアリマス、ソレニ付キマシテハ御互ニ質問スル方ニモ、亦政府當局トシテ御答辯ヲ願フ上ニ付テモ、時間ノ點ニ於テ御互ニ注意ヲシテ、質問應答ノ一人ノ時間割當テ先ヅ一時間ト致シマシテ、一時間以內ニ濟マセルト云フコトヲ質問者ノ方デモ御互ニ注意致シマ

シテ、委員長ニ於テモ之ニ御注意ヲ願ッテ、サウシテ此質問通告者全部ノ質問ヲ終ラシメルヤウニシタイト云フコトヲ、私ハ特ニ此際ニ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○三輪委員長代理 嶋居君ノ御説ハ委員長ニ於テモ至極同感デゴザイマス、願クハ各委員諸君モ其御考ヲ以テ質問應答セラレンコトヲ、政府ニモ亦望ンデ置キマス——通告順ニ依リマシテ岩崎君ノ質問アランコトヲ望ミマス

○岩崎委員 私ハ大藏大臣ノ御答辯ヲ求メタイトデアリマスガ、今回御設定ニナリマシタ、此地租免稅ノ制度デアリマス、此制度ニ伴ヒマシテ田畑ノ名義ノ變更ニ依テ免稅ヲスル者ニ對スル何等カノ制裁ハ、御考慮ニナツテ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイトデアリマス

○濱口國務大臣 是ハ免稅點ヲ設定致シマストキニ直ニ起ル所ノ疑問デアリマス、此點ニ付テハ政府ニ於キマシテモ相當ノ考慮ヲ加ヘタ積リデアリマス、法文ニモアリマス通り、同居家族ノ分ニ付テハ合算ヲスルコトニナツテ居リマス、其以外ニ互テ賣買等ノ方法ニ依テ分割ヲスル場合ニ於キマシテハ、別ニ制裁ヲ法文上加ヘテアリマセヌケレドモ、登錄稅等ノ關係ニ依テ、賣買ノ形式ニ依テ分割スルコトハ、却テ不利益トナルト云フ見込デアリマスカラ、別ニ制裁ヲ設ケテアリマセヌ

○岩崎委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ハ本委員會ニ於キマシテ曩ニ私モ拜聽致シタ點デアリマスルガ、其御説明デアリマスルナラバ、私ハ益疑ヲ深ク致スノデアリマス、ソコデ改メテ政府ニ御尋ヲ致シマスルガ、此免稅點ノ段別ハ詳細ニ御調ベニナツタコトデアラウト私ハ思フ、サウ致シマスルト登錄稅ノ關係ニ依テ名義ノ變更ニ基ク免稅ガナイト云フ御見込ヲ御立テニナリマスル以上ハ、免稅點ニ近キ此田畑ノ段別等ハ相當御調ベニナツタノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、此私ノ質問ノ趣旨ヲ御了解下サイマスル爲ニ、今少シ詳細ニ申シマスルナラバ、例ヘバ水田ハ五段ヲ以テ免稅ニ達スルト云フ場合ニ於テ、五段一畝ヲ持ッテ居ル者ハ免稅サレナイ、五段五畝ヲ持ッテ居ル者モ亦免稅サレナイ、免稅點ノ此恩典ニ與カルコトハ出來ナイガ、併ナガラ極ク僅ナル差ヲ以テ免稅點ニ行クト云フモノデアリマスルナラバ、其僅ナル部分ヲ名義ノ變更ヲスルトカ、賣買ヲスルトカト云フコトニシテ、免稅ヲスルト云フコトハ、分割ノ手續ニ於テモ、登錄稅ノ費用ニ於キマシテモ、政府ノ想像サレル程莫大ナル經費ヲ要スルモノデナイノデアリマス、或ハ五畝デアルトカ、或ハ一段デアルトカト云フモノヲ名義ヲ變更致シマスル場合ニ於キマシテ、登錄稅ノ如何程ヲ要シマスルカ、私ノ計算ヲ以テ致シマスナラバ、其登

錄税ノ費用ハ恐ラク其田畑ノ轉換ニ依テ、他ノ部分ノ五段ト云フモノガ免税ヲ受クルノデアリマスルカラシテ、一年ノ免税ヲ以テシテモ尙ホ十分餘リアルモノト信ズルノデアリマスガ、是等ノ點ニ付キマシテ政府ハ如何ナル御調査ヲサレタデアリマセウカ

○黒田政府委員 免税點ニ近イ田畑ヲ持ッテ居リマス、例ヘバ只今例ニ御引キニナリマシタヤウニ、假ニ五段ト致シマシテ、五段ヲ少シ越シテ居ルト云フヤウナ風ノモノハ、ドレ位アルカト云フ調ベハ致シテ居リマセヌ、大體ニ於キマシテ免税點ニ達シマスル爲ニ、田畑ヲ殊更ニ同居家族以外者ノ名義ニ變ヘルト云フヤウナコトハ、登録税ノ關係ニ依リマシテ相當ノ負擔ヲシナケレバナラヌノデアリマス、サウ漫リニ致スモノデモナカラウト考ヘマス、又場合ニ依テサウ云フコトヲ致シマシテモ、是ハ免税點ヲ或程度ニ切リマシタ結果已ムヲ得ナイト思ッテ居リマス

○岩崎委員 私ハ今モ其登録税ノコトヲ御話ニナリマシタガ、此御説明ハ事實ニ頗ル反シテ居ル、事實ニ頗ル遠イノデアリマス、事實ニ遠キガ故ニ、私ハ免税點ノ田畑ニ近キモノヲ御調ベニナツタカト云フコトヲ申シテ居ルノハ、即チソレガ爲デアアル、大藏大臣ノ今仰セラレタ所ノ言葉ヲ繰返シテ、政府委員カラ聽カウト思ッテ居ラス、一體此政府ノ收入ト云フモノヲ査定ナル方針ヲ申

シマスルト云フト、煙草ノ値上ゲ、或ハ酒ノ増税、總テノ點ニ於キマシテ周到綿密ニ考ヘテ、其政府ノ收入ト云フモノヲ査定サレル場合ニ於テハ最モ綿密ヲ極メテ居ル、獨リ此地租ノ免税點ニ付キマシテ吾々ノ常識カラ考ヘテ、而シテ現在ニ於ケル我國民ノ納税心理カラ考ヘマシテ、最モ容易ニ行ハレ得ルト云フ點ヲ少シモ御考慮ニナッテ居ナイト云フコトハ、他ノ政府ノ收入ニ付テ、最モ嚴密ナル調査ヲサレテ居ル點トハ頗ル矛盾スルモノト私ハ存ズルノデアリマスガ、此點ニ關スル大藏大臣ノ御所見如何デアリマセウカ

○濱口國務大臣 只今ノ岩崎君ノ御疑問ノ如キ事柄ハ、是ハ如何ニモ御尤ノ御疑デアラウト思ヒマス、大體ノ觀察ト致シマシテハ、免税點以下ニナル爲ニ、自分ノ所有致シテ居ル所ノ田畑ヲ、脱税ノ目的ヲ以テ轉賣スル、賣買ノ形式ニ依テ名義ヲ書替ヘルト云フコトハ、登録税等ノ關係ニ於テ大體無イモノト思ヒマスケレドモ、併ナガラ例ヘバ地價二百一圓ヲ持ッテ居ル者ガ、今二圓ヲ減ズレバ百九十九圓ニナリマシテ、免税點ニ達スルト云フガ如キ場合ニ於テ、強テソレヲ行ハントスルナラバ行ヒ得ル餘地ハアリマス、ソコマデ之ヲ法律ニ於テ取締ルト云フコトハ、甚ダ困難ナ問題ト考ヘマス、サウ云フ極端ナ場合ガ起リマスコトハ、是ハ已ムヲ得ナイト思ヒマス、登録税ノ税率

ハ御承知ノ通りデアリマスガ、僅ノ地價ニ應當スルモノヲ賣買スル爲ニ登録税ヲ拂フ、其登録税ノ額ト、免税ヲ受クル所ノ金額トヲ比較シテ、其方ガ利益デアルト云フ考カラ、例外ノ場合トシテサウ云フ行爲ヲスル者ガナイト云フコトヲ私ハ保證ハ出來マセヌ、是ハ斯ウ云フ制度ヲ設クル際ニ於テハ、避クベカラザル弊害デアラウト思ヒマスガ、併シ大體ニ於テサウ云フ場合ガ多クアルト云フコトハ私ハ想像スルコトハ出來ナイノデアリマス

○岩崎委員 大藏大臣ハ只今サウ云フ場合ノ多クアルコトヲ想像シ得ナイト申サレマシタガ、多クアルコトヲ想像シ得ナイト云フノデアアルナラバ、此免稅地價ニ達スル所ノモノ、ソレヲ超過スル所ノモノノ甚ダ少イト云フ實際上ノ調査ヲナサツテ、而シテ其實際ガ甚ダ乏シイト云フノデナケレバ、其御説明ハ私當ラヌデアラウト思フノデアリマス、又大藏大臣ハ、例外ノ場合、僅少ノ場合ト云フコトヲ御話ニナリマスケレドモ、何ガ例外デアリマセウカ、私共ノ實驗致ス所ニ依リマス云フト、大藏大臣ノ御管掌ニナッテ居ル所ノ關稅等ニ於キマシテモ、外國カラ來ル所ノ「イシグオイス」ノ偽造ヲ致シマシテ、脱税ヲスル者ガ頻々トシテ中ニ澤山アルノデアリマス、是等刑法上ノ犯罪ノ檢舉ト云フコトハ、當局ニ於テハ御憤ミニナリマシテ、成ベク諭示ニ依テ解決ヲサ

レテ居ルノデアリマスケレドモ、價格ヲ偽ッテ而シテ免税ヲ企ル者ガ澤山アル、若シ大藏大臣ガ、英國人ガ持ッテ居リマスヤウナ「コンセンスマニ」ノヤウナ社會慣習ヲ持ッテ居ル日本國民デアルト云フコトヲ御考ニナリマシタナラバ、大ナル誤デアアル、免税點デ一ヶ年ニ或ハ六圓ナリ七圓ナリノ免税ヲサレルト云フコト、僅ニ一段トカ若クハ五畝ノ名義ノ書替ニ依テ、ソレ以外ノモノノ免税ヲ受ケルト云フコトデアリマスナラバ、我ガ國民ノ納税心理狀態ノ上カラ申シマシタナラバ、僅少ドコロデハナイ、例外ドコロデハナイ、サウ云フ少數ノ超過畑ヲ持ッテ居ル者ニ於キマシテハ、相當ニ此計畫ガ行ハルルト云フコトハ、想像ニ難クナイト思フノデアリマス、況ヤ此場合ニ於テ、若サウ云フコトガ起ッテ來ルコトニナリマスナラバ、政府ノ收入モ現在ニ於テ計算サレテ居ルモノヨリハ頗ル少クナル、是ガ他ノ官業、或ハ然ラザル其他ノ收入デアリマスナラバ、其減少モ亦忍ブベシデアリマスケレドモ、地租ノ如ク殆ド確定的ニ計算ノ出來ル、豫算ノ出來ル所ノモノニ付テ、政府ノ收入ニ狂ヒノ生ズルト云フコトハ、私ハ財政計畫ノ上ニ於テ大ナル悔ヲ貽スモノデアルト信ズルノデアリマス、此點ニ付キマシテ大藏大臣ノ御所見ハ如何デアリマスカ

○濱口國務大臣 成程御說ノ通り現在

ノ國民ノ納稅思想ハ、餘リ理想的ノモノトハ申セマセヌ、其證據ハ色々御舉ゲニナリマシタ通りデアリマス、然ルニ例ヘバ所得ノ申告ニ當ッテ、其申告ヲ僞ル、或ハ隱蔽スル、或ハ輸入税ノ支拂ニ當ッテ「インヴォイス」ヲ僞ルト云フ如キ場合ト、只今問題ニナッテ居リマス所ノ、地主ガ免稅點ニ達スルガ爲ニ其名義ヲ他人ノ名義ニ書替ヘル場合トハ、大分趣ヲ異ニスルト思ヒマス、「インヴォイス」ヲ僞ル場合、或ハ所得ノ申告ヲ僞ル場合ニ於キマシテハ、他人ト沒交渉デ、自分ノ考ダケデ以テ之ヲヤルノデアリマス、然ルニ地租ノ免稅點ニ達スルガ爲ニ、名義ノ書替ヲヤリマス場合ニハ、相手方トノ間ノ了解、通謀ト云フコトガナケレバ出來ヌノデアリマス、從テ自分ノ一方的ノ意思ニ依テ之ヲヤルコトハ困難デアラウト思ヒマス、而已ナラズ他人ノ名義ニ變ヘテ置キマスコトハ、在來ノ所有者ニ取リマシテ、或ル場合ニ於テ所有權ノ問題ニ付テ餘程危險ナル場合ガ起ラウト思ヒマス、デアルカラサウ云フコトヲスル者ハ、餘リ多クハアルマイト私ハ考ヘテ居リマス、又之ヲ本當ニ賣買スルト云フコトニ致シマスルト、其取得ニ歸スル所ノ者ニモ亦關係ヲ致シテ參ルコトデアリマスカラ無暗ニソレハ起ルコトハナカラウト思ヒマス、併ナガラサウ云フコトハ決シテ無イト云フ保證ハ出來マセヌ、只今例ニ御舉ゲニナリマ

シタ他ノ場合トハ大分事情ガ異ルノデアリマスカラ、大體サウ云フコトハ少なカラウト前段申上ゲタ次第ゴザイマス

セルト云フコトニナッテ居ル、而シテ其實ガ今日ニ於テハ頻々トシテ現ハレテ居ル、若シ此都市ニ在ル者ノ名義ニ書替ヲスルト云フコトニナリマシタナラバ、焉ゾ他人ヲ選ブノ要ガアリマセウ、故ニ私ハ免稅ヲ以テ目的トスル所ノ名義變更ニ付テハ、政府ハ相當ノ取締リヲ御加ヘニナッテ方宜クハアルマイカト思ッテ、初頭ノ御質問ヲ致シマシタノデアリマスルガ、尙ホ此點ニ付キマシテ大藏大臣ハ所有權ノ移轉等ハ相對ノ人ヲ必要トスルノデアッテ「インボイス」ノ偽造ノ如ク自己自ラ爲シ得ルモノデナイイカラ左様ナ憂ハナイト云フ御見解ヲ御執リニナルノデアリマセウカ、如何デアリマセウカ、私ハ左様ナ筋合ノモノデアアルマイト思フ、危險ノ歩合カラ申シマシタナラバ、「インボイス」ノ偽造等ニ依ルモノハ文書ノ偽造ヲ構成スルノデアアル、犯罪ヲ構成スルノデアリマス、而モ之ヲ敢テ致シテ居ル是ニ於テ私ハ益此點ニ付テ憂ヲ深ク致シマス

マシテ御尋ヲ致シタイコトハ、私ハ此單純ナル地租免稅點ノ設定ト云フコトハ、我國ノ現在ニ於ケル法典編纂ノ主義ニ反シテ居ルモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、大藏大臣モ御承知デアリマセウガ、現在ノ我國ニ於キマシテハ、法制審議會ノ決議ニ基イテ、家事審判ト云フ法律ヲ拵ヘ掛ッテ居ルノデアリマス、是ハ家庭内ニ於ケル所ノ爭ヲ裁判所ニ持出サナイデ、我國ノ淳風美俗ヲ尊重シテ、溫情ヲ以テ解決ヲ付ケルト云フコトヲ精神ト致シテ居ルバカリデナク、同一家庭内ニ非ザルモノニ於テモ、親族間ノ爭ニ付キマシテハ、成ベク裁判所ニ持出サセナイデ、而シテ淳風美俗ヲ標準トシテ、之ヲ解決スルト云フコトヲ精神ト致シテ、之ヲ編纂中デアリマス、然ルニ此單純ナル地租ノ免稅點アルガ爲ニ、大藏大臣ノ先程御述ベニナリマシタ如ク、虛構ノ法律行爲ガ行ハレルト云フコトニナリマシテ、親族間ニ於テ爭ノ種ヲ醸成スル風向ヲ來スト云フコトハ、此法典編纂ノ趣旨カラ申シマシテモ、私ハ實ニ慎ムベキ事柄デアラウト存スルノデアリマス、固ヨリ大藏大臣ノ主管事項ニ付テ多大ノ御深憂ヲ持ッテ御居デニナル際デアリマシテ、我國ノ此法典編纂ニ付テ、今何ヲシテ居ルカト云フヤウナコトニ付テ餘リニ多クノ考慮ヲ御拂ヒニナルコトハ、私モ是ハ無理デア

シタ他ノ場合トハ大分事情ガ異ルノデアリマスカラ、大體サウ云フコトハ少なカラウト前段申上ゲタ次第ゴザイマス

○岩崎委員 只今大藏大臣ノ言ハレマスノニハ、若シ名義ノ書替ト云フヤウナコトヲスルナラバ、後ニ種々ナル紛爭ヲ起スモノデアルカラシテサウ云フコトハアルマイト云フノ御意見デアリマス、誠ニ結構ノ御意見デアラウト思フ、併シ其點ニ於テ益疑ヲ深クスルノデアリマス、今私ガ申上ゲマシタ所ノ「インヴォイス」ノ偽造ト云フヤウナコトハ、刑法上ノ犯罪ヲ構成スル重大ナル事件デアアル、他人ト共謀致シマシテ名義ヲ變更スルト云フコトハ、時々或ハ民事上無効ノ結果ヲ來スコトガアルカモ知レマセヌ、ケレドモ刑法上ノ犯罪ヲ構成スルコトハアリマセヌ、刑法上ノ犯罪ヲ構成スルコトマデモ敢テシテ免稅ヲスルト云フコトハ、大藏大臣其事實ハ御認ニナッテ、一面ニ於テ我國ノ今日ノ農村ノ狀態ヲ見マスルト云フト農村ノ青年ハ農村ニ生活スルヲ嫌ッテ居ル、戸籍ニ於テハ同一戸籍内ニアリマスケレドモ、事實ハ農村ノ家庭ノ子弟ハ多クハ都會ニ出テ居ルノデアリマス、デアルカラ他人トノ間ニ於テ賣買ガ行ハレルモノノミト御推量ニナリマスナラバ大ナル誤リデアアル、娘ヲ嫁入サセルニ於キマシテモ、農村ノ父兄ハ、成ベク勞働ノ少イ都會ニ嫁入サ

○濱口國務大臣 其點ニ付キマシテハ、政府ハ大體ニ於テ前段申上ゲマシタ通り、餘リアルマイト思ヒマスケレドモ、若シ此法律施行後ノ實況ニ照シマシテ、サウ云フ弊害ガ多ク出マスルヤウナ傾向ガアリマシタナラバ、其施行後ノ狀況ニ鑑ミテ、相當考慮致スコトニ致シタイト思ヒマス

○岩崎委員 進ンデ私ハ之ニ關聯致シ

シスノ如ク何等カノ事實ヲ轉嫁シテ免
稅セラレルノデアリマスナラバ、即チ
已ムノデアリマスケレドモ、單純ニ此
地租ノ免稅點ト云フモノヲ設定サレ
コトニナリマス。ト云フト、親族間ノ爭
ガ現在ニ於ケルヨリモ尙ホ此法典ノ爲
ニ著シク増加シハシナイカト云フコト
ヲ私ハ頻ニ心配スルノデアリマス、是
ハ一黨一派ノ觀念カラ強テ大藏大臣ニ
御質問スルト云フノデアリマセヌ、
國家ノ爲ニ私ハ深憂ニ堪ヘナイ、此點
ニ付テ大藏大臣ハ如何ナル御所見ヲ御
持チニナルカ、伺ヒタイ

致シマシテ其稅率ヲ定メル、斯ウ云フ
コトニナツテ居リマス、其爲ニ別ニ淳風
美俗ニ障礙ガアルトモ是マデノ所ハ考
ヘテ居リマセヌ、隨テ只今ノ岩崎君ノ
御心配ノ如キコトハ大體ニ於テアルマ
イト考ヘマスルケレドモ、是亦前段申
シマシタ通り、法律施行ノ結果ト致シ
マシテ、不幸ニシテサウ云フ弊害ヲ生
ズル虞ガアリマシタ時ニ於テハ、是ハ
相當ニ適當ナル所ノ規定ヲ設クルト云
フコトヲ考慮スルコトニ致シタイと思
ヒマス

○岩崎委員 大藏大臣ノ御丁寧ナル御
説明ニ依リマシテ稍私ハ満足致シマシ
タ、但シ大藏大臣ニ申上ゲテ置キマス
ガ、私ハ此名義ノ書換ト云フモノヲ直
ニ我が國內ニ於ケル所ノ淳風美俗ヲ害
スルモノデアルトハ申シテ居ラヌノデ
アリマス、名義ノ書換、即チ虛構ノ事實
ニ依テ後ニ爭ヲ起スヤウナ結果ヲ惹
起スコトガ、我國ノ家事審判ト云フヤ
ウナコトニマデ心配ヲ致シテ居リマス
ル法律編纂ノ趣旨ニ適ハナイト云フコ
トヲ申シタノデアリマスカラ、誤解ノ
ナイヤウニ御願ヒ致シマス、續イテ私
ノ第二點トシテ御尋ヲ致シタイコト
ハ、私ハ政府ガ今回ノ稅制整理ノ一部デ
アル所ノ煙草ノ値上ヲ議會ノ協賛ヲ經
ザル前ニ、先達爲サレタト云フコトハ、
是ハ憲法ノ精神ニ違反スルモノデア
ル、而シテ又綱紀肅正ノ觀念ニ反ス

ルモノデナイカト云フコトヲ考ヘテ居
ルノデアリマス、私ノ申ス所甚ダ簡單
デ御分リニナラヌカトモ存ジマスルカ
ラシテ、少シク詳細ニ申上ゲテ見タイ、
我國ノ憲法ノ一貫シテ居リマスル所ノ
精神ハ幾多アルデアリマセウ、併ナガ
ラ其中ニ於テ最モ重大ナルモノハ何デ
アルカト申シマスルナラバ、三權相侵
サズト云フ觀念ガ一貫シタル所ノ大ナ
ル憲法上ノ精神ト私共ハ思ッテ居ル、若
シ此煙草ノ値上ガ將來ニ於ケル我國ノ
歲入ヲ按ズルガ爲ニ、其用意トシテ切
離シテサレルノデアリマスカラバ、即
チ已ムノデアル、法律改廢ノ結果トシ
テ出テ來ル所ノ歲入ノ不足ヲ填補スル
ガ爲ニ、即チ行政整理一般トナツテ居
ル所ノ其一部ヲ先ニサレルト云フコト
ハ、協賛ヲ經サルニ先ツテ結果ヲ實現
スルト云フコトニナリマシテ、憲法ノ
此三權不可侵ノ精神ニ背ク所ノモノデ
アツテ、而シテ又最モ大ナル綱紀ヲ紊
スコトニナリハシナイカト云フコトヲ心
配致スノデアリマス、此點ニ付キマシ
テ大藏大臣ハ如何ナル御所見ヲ御持
チニナルデアリマセウカ

○濱口國務大臣 政府ハ煙草ノ値上ト
云フコトガ憲法ノ精神ニ違反シテ居
ルトハ考ヘテ居リマセヌ、又是ガ爲ニ綱
紀ヲ紊ルモノトモ考ヘテ居リマセヌノ
デアリマス、御説ノ通り煙草ノ定價ノ
引上ハ此度政府ノ計畫致シマシタ所ノ
稅制整理ノ一部デアリマス、其一部ニ

ハ相違アリマセヌガ、此煙草ノ値上ト
云フコトヲ他ノ稅制整理ニ關スル所ノ
諸法律案ガ議會ノ協賛ヲ經テ成立致シ
タ後ニ、之ヲ實行スルコトハ甚ダハ困
難ナ事情ガアリマス、又政府トシマシ
テモ、一定ノ稅制整理ノ計畫ヲ立テマ
シテ、案ヲ具シテ議會ノ協賛ヲ求メマ
スル以上ハ、是ハ十分ニ貴衆兩院ノ審
議ヲ經テ、御協賛ヲ受クルト云フコト
ヲ期待シ、之ヲ信ジマシテ行ッタノデア
リマス、何故ニ議會ノ協賛ヲ受クルマ
デ煙草ノ値上ヲ延期スルコトガ出來ナ
カッタカト申シマスレバ、是ハ御承知ノ
通り、煙草ノ値上ト申シマスコトハ、是
マデノ經驗ニ依リマシテモ、發表スル
ト同時ニ實行シマセヌト、非常ナ弊害
ヲ起ス虞ガアリマス、又事實弊害ヲ起
スノデアリマス、ソレ故ニ、煙草ノ値上
ハ他ノ稅法案ノ如クニ發表シテ之ヲ施
行スルマデニ餘日ノアルコトヲ許サナ
イノデアリマス、從來ノ沿革ヲ考ヘテ
見マシテモ、煙草ノ定價ノ引上ヲ行ヒ
マシタコトハ今回デ五回デアアル、第一
回ハ明治四十年、第二回ハ四十一年、第
三回ハ大正六年、第四回ハ大正八年、第
五回ガ今回デアリマスガ、是マデノ遣
方ハ總テ、發表スルト同時ニ之ヲ實行致
シマシテ、其間ノ寸分ノ間隙ヲ許シテ
居ナイ、デアリマス、是ハ即チ買占、賣
惜ミト云フ如キ種々ノ弊害ヲ防グ爲デ
アリマシテ、サウシナケレバ到底此弊
害ヲ防グコトハ出來ナイノデアリマ

害ヲ防グコトハ出來ナイノデアリマ

ス、隨テ此煙草ノ値上ト云フコトハ豫算ノ概算ヲ決メル所ノ閣議ニ於テ總テノ計畫ヲ定メテ、之ヲ發表スルト同時ニ之ヲ實行致シタルデアリマス、是ガ爲ニ別ニ憲法ノ精神ニ反シタトカ、綱紀ヲ案ツタトカ云フ如キコトハ少シモナイコトト信ジテ居リマス

○岩崎委員 私ハ實際上困難デアルト云フ事柄モ、生産費ガ高クナルト云フヤウナ場合ニ、政府ガ自由ニ値上ヲナサルコトハ違法デナイコトモ承知シテ居ル、併ナガラ元賣捌人ト專賣局ノ關係、元賣捌人ト小賣人ノ關係、小賣人ト購買者ノ關係ハ、大體ニ於テ誰モ了解シテ居リマスガ故ニ、政府ガ値上ノ發表ニナリマシテモ、此實際上ノ賣惜ミトカ、買占ト云フヤウナモノヲ防グト云フコトハ大ナル困難ナル問題デハアルマイト思フ、本來カラ申スト、今回ノ如ク政府ガ秘密ニ評議サレテ、而シテ發表ト同時ニ之ヲ實行サレタト申シマスモノノ、其裏面ニ於キマシテハ買占ヲシテ居ルト云フコトヲ私共承知シテ居リマス、不用意ニ此事實ヲ看過スルナラバ、政府ニ於キマシテ、大ナル困難モアリマセウ併ナガラ法律ノ改廢ニ基キマシテ、生ズル實際上ノ問題ハ、獨リ煙草ノ値上ノミナラズ、關稅ニ於キマシテモ、又幾多ノ弊害アル問題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、唯私ノ憂トスル所ハ現内閣ハ綱紀ノ肅正ト云フコトニハ頗ル重キヲ置カレテ居ル、而シテ綱紀ノ

肅正ノ大ナルモノハ憲法ノ精神觀念ヲ尊重スルト云フコトガ最も大ナルモノト私ハ存ジマスルガ故ニ、特ニ現内閣ニ於テハ此點ニ付テ御考慮サレルト云フコトガ相當デハアルマイカト思ヒマス、ソレカラ今一ツ最後ニ大藏大臣ニ御質問致シテ置キタイ點ハ、社會政策ト公平ト云フ觀念ハ、今回ノ稅政整理ノ中心トナツテ居ルト政府ハ稱セラレノデアリマス、假令實際ノ結果ガドウアラウトモ、苟モ政府ガ此觀念ヲ以テ政治ニ向ッテ歩一歩ヲ進メラレルトハ、國民トシテ欣快ニ堪ヘナイ、唯私ノ怪ム所ハ政府ガ既ニ斯クマデノ御決心ヲ以テ事ニ臨マレル以上ハ、而シテ稅制整理ニ依テ歲入ニ幾多多大ノ減收ヲ來スコトヲ想像シ得ル以上ハ、此觀念ヲ加味セラルルコトハ必要デハアルマイカ、又公平ト云フ觀念ヲ以テ行政整理ニ臨マレタナラバ、物件費、人件費ニ於テモ整理スベキモノガ随分アルト思ヒマス、各官廳ニ於ケル賞與金ハドウデアリマスカ、恐ラク私ハ千差萬態デアラウト思フ、勅令ニ於ケル定員ニ基イテ大藏省カラ金ヲ取り、定員ノ人間ヲ置カナイデ、餘ス所ノモノヲ賞與金トシテ分ケル、斯ルコトハ公平ト云フ上カラ申シマスナラバ、大ナル缺點デアラウト思ヒマス、官吏ハ、營業者ガ其收益ノ増加ニ基イテ賞與ノ高ガ餘計アルガ如キ關係ニ於テ賞與金ヲ貰フモノデハナイ、或ハ大ニ忙シイ時モア

ラウ、大ニ暇ナ時モアラウケレドモ、一人トシテ暇ヲ希望スルモノデハナイ、仕事ガ幾ラアツテモ、何處マデモ其仕事ヲ片付ケルノデアアル、是等ノ人ニ對シマシテ、各省ニ於ケル賞與金ニ大ナル不公平ガアルト云フコトハ、此中心觀念ヲ以テ行制整理ニ臨マレル政府トシテハ似合ハシカラヌ事ト存ズル、是等ノ點ニ付キマシテ大藏大臣ハ此觀念ヲ加味サレル御考ハナイデアリマセウカ、私ノ觀察ヲ以テ致セバ、今日ノ我ガ行政官廳ノ事務費ハ、俸給ヲ以テ個人ノ待遇ニ差別ヲシテ居ル、俸給ヲ以テ個人ノ差別待遇ヲスルト云フコトハ、聖代ノ今日ニ於キマシテハ、一日モ許スベカラザル觀念デアルト云フコトヲ確信スル者デアリマス、此實例ヲ申上ゲテ見マスルト云フト、凡ソ官吏ハ事務ニ堪能ノ知識ヲ持ツテ居ルト云フ程度、又ハ經驗及學術ノ差別等ニ依リマシテ、其俸給及事務ヲ執ル上ニ於テノ待遇ニ相違ノアルト云フコトハ、是ハ當然デアリマセウ、併ナガラ事務ヲ離レタル所ノ官吏ハ、上勅任官ヨリ下雇ニ至ルマデ、雇ハ官吏デハナイカモ知レマセウガ、是等ハ總テ同一ノ個人デアアル、此同一ナル個人ノ間ニ於テ、或ル者ハ官廳ニ出入スルノ己ノ家ヨリ官吏トシテノ事務ヲ執ル爲ニ通フ場合ニ於テ、自動車ノ專屬ヲ許サレテ居ル者モアルシ、或者ハ埃ヲ浴ビナガラ通勤シナケレバナラスト云フヤウナコトハ、

私ハ俸給ヲ以テ個人ニ對シテ差別待遇ヲスルモノデアルト考ヘルノデアリマス、斯ウ云フコトハ洵ニ小サイ事デアリマスケレドモ、我國ニ於ケル今日ノ人心ノ弛緩ヲ作興シ、而シテ官紀ノ肅正ヲ圖ルト云フ上カラ申シマスルナラバ、當局ハ斯ウ云フ點ニ付キマシテモ相當ナル考慮ヲセラルベキモノデアラウト思フ、文明ノ利器タル自動車ヲ私ハ排斥スルノデハナイ、官廳ニ備付ケテ、官廳事務ノ爲ニハ奏任官モ乘リ、判任官モ乘リ、雇モ乗ルト云フナラバ喜ンデ私ハ之ヲ承服スル、併ナガラ今日ノ實際ヲ見テ見マス、同一官廳カラ議會ニ御出デニナルノニモ、大キナ自動車ニ唯一人位ヲ乘セテ來テ、而シテ其自動車ハ議會ノ前デ永イ間欠伸ヲシテ待ツテ居ルト云フヤウナコトハ、文明ノ利器ヲ官廳ノ爲ニ公平ニ利用スルト云フコトハ出來マイト思フ(豫算委員會デヤレト呼フ者アリ)豫算委員マセウ、斯様ナコトニ依テ物件費ヲ節約致シマシタモノヲ行政整理ニ當テタナラバ、幾分デモ財源ニ用ヒラレルト云フコトニナレバ、人心ノ弛緩ヲ作興スル上ニ於テ大ナル効果アルモノト私ハ信ズルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタインデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リデアリマス

○濱口國務大臣 第一ニ煙草ノ値上ガ憲法ノ精神ニ違反スルモノデアルト云

フ御疑ガマダ解ケナカッタウデアリ
マスガ、是ハ私ハ極メテ簡單ニ申上ゲ
マス、若シ煙草ノ値上ト云フコトガ憲
法ノ精神ニ違反スルモノデアルトスレ
バ、既ニ是マデ四回値上ヲ行ヒマシタ
所ノ歴代ノ内閣ハ、何レモ憲法ニ違反
ヲシテ居ルト云フコトニナリマスカ
ラ、殆ドソレハ議論ノ餘地ガナイコト
デアラウト思ヒマス、決シテ憲法ニ違
反ヲシテ居ルモノデハナイト確信致シ
テ居リマス、憲法ノ精神ニモ違反ハシ
ナイ、綱紀紊亂モ少シモナイト云フコ
トヲ私ハ斷言致シマス、是ダケノコト
ヲ申上ゲテ置キマス、第二ニ各官廳ノ
賞與ガ色々不公平デアアル、税制整理ニ
於テ公正ヲ尊ブト云フ其主義ヲ、何故
ニ官廳ノ官吏ノ賞與ニマデ及ボシテ公
平ノ指揮ヲ執ラヌカト云フ御質問ノヤ
ウデアリマスガ、是ハ極メテ簡單ニ申
シマスガ、御承知ノ通り賞與ノ因テ生
レル所ハ、別ニ議會ニ要求シテ豫算ヲ
取ツテアル譯デハアリマセヌノデ、只今
官吏ノ定員ニ缺員ガアリマシテ、ソレ
ヲ補充スルマデニハ相當ノ期間ヲ要シ
マスノデ、其間ニ生レタル所ノ俸給ノ
殘額ヲ、ソレヲ賞與トシテ勤勉ノ程度
ニ應ジテ慰勞ノ意味ヲ以テ給スルノデ
アリマス、而シテ其額ハ只今申上ゲマ
シタヤウニ、俸給ノ餘リマシタ程度ニ
於テモ無論違ヒマスルシ、又各官廳必
シモ同等ノ仕事ヲシテ居ルノデモアリ
マセヌシ、事務ノ繁閑モアリマスルノ

デ、色々性質ノ違ッタ官廳モアリマスカ
ラ、ソレニ依テ大體適當ニ行ハレテ居
ルト考ヘマスガ、此點ニ付キマシテハ
前日來モ申シテ置キマシタガ、目下
政調査會ニ於テ調査中ニ屬シテ居リマ
スカラ、或ハ將來ニ向ッテ多少ノ變更ヲ
生ズルカモ知レヌト思ッテ居リマス、ソ
レカラ次ハ自動車ノ事デアリマスガ、
是ハ親任官、勅任官、ソレカラ奏任官、
判任官ト云フコトニ依テ、別ニ其人間
ニ對シテ區別ヲ設ケル意味デハゴザイ
マセヌガ、仕事ノ分量並仕事ノ性質ニ
依テ、是ハ必要ト認メル場合ニ於テ其
人ガ自動車ニ乗ルト云フダケノコトデ
アリマス、假令判任官デアリマシテモ、
或ハ雇員デアリマシテモ、急ヲ要スル
場合、又ハ其必要アル場合ニ於テハ其
官廳備付ケノ自動車ニ乗ッテ、其用務ヲ
辨ゼシメテ居ル譯デアリマシテ、別ニ
差別的待遇ヲシテ居ル意味デハアリマ
セヌカラ、是ダケ御答ヲ致シテ置キマ
ス

○岩崎委員 一寸今ノ御答辯ニ關シテ
申上ゲマス、私ノ今申上ゲタ所ノ自動
車ナシカノ事ハ、獨リ是ハ中央官廳ニ
於テノミナラズ、地方官廳ニ於キマシ
テモ、知事ハ縣廳又ハ府廳ト相隣リ合
タ所ニ官舎ヲ有シテ居リナガラ、毎日
自動車デ通ッテ居ル、而シテ其自動車ナ
ルモノハ知事ガ出勤致シマシタナラ
バ、歸ルマデハ欠伸ヲシテ、誰モ空イテ
居ルモノヲ使用スルト云フ如キコトハ
ナイ、事務ノ繁閑ニ依テ自動車ヲ使ッテ
居ルト云フコトハ大藏大臣モ申サレマ
シタケレドモ、私共ノ目カラ見ルナラ
バ局長ハ例外ナク殆ド自動車ヲ貰ッテ
居ル、事務ノ繁閑デハアリマセヌ、實際
ニ遠ザカル所ノ左様ナ御答辯ハ、官廳
ノ内部ノ關係ヲ知ラナイ議員デ以テ充
サレテ居ル時代デアッタナラバ兎ニ角
今日ノ如キ議會ニ於キマシテハ少シク
御慎ミアラシコトヲ希望致シテ置キマ
ス

○三輪委員長代理 次ハ村山君ニ質問
ヲ許シマス
○村山委員 成ベク時間ヲ節約スル意
味ニ於テ、簡單ニ政府案ニ對シテ疑點ノ
二三ヲ擧ゲテ質問致シタイト思ヒマス
ガ、一問一答ヲ避ケマシテズット一通リ
竝ベテ申上ゲマスカラ、ソレニ對シテ
御答辯ヲ願ヒマス、第一ニ御伺シタイ
コトハ、過日武藤金吉君カラ質問ニナッ
テ居リマスルニ對シテ、大藏大臣カラ
御答辯ニナッテ居ルノデアリマスガ、其
中ノ此個人所得、第三種ノ個人所得ノ
純益ノ算定ニ際シテハ、其借入金ノ利
息ヲ控除スルト云フコトニ對シテ何等
カ考慮ヲ拂ハレナカッタデアラウカ、斯
ウ云フ質問デアリマス、之ニ對シテ政
府ノ御答ハ現在ニ於テモ其確證アルモ
ノハ之ヲ控除シテ居リマス、斯様ナ風
ニ御答ニナッテ居リマス、但シ法人ヨリ
受ケル配當ニ對シテハ四割ヲ控除シテ
居ルカラハハナイガ、其他ノモノハ確

證アルモノニ對シテハ控除シテ居ルト
云フコトデアリマシタカ、私共モ現行
所得税法ノ精神ハ、必要經費トシテ當
然其利益ヲ得ル爲メ借入レタル利息ハ
控除スルノガ當然デアルト思ッテ居リ
マス、併ナガラ所得稅調查會等ニ於テ、
稅務行政ノ實際ニ付テ之ヲ眺ムレバ、
私ノ知ッテ居ル範圍ニ於テハ殆ド是ハ
ナイト申シテ宜シイノデアリマス、而シ
テ事實私共ハ確ニ其借入金ノ其利息ヲ
現實營業、若クハ田畑、山林等ノ收益ヲ
得ル爲メ借入レテ支拂ヒタル利息ト雖モ
是ハ控除シナイガ、現實ニソレガアル
ト云フコトハ知ッテ居ッテモ、稅務官吏
ノ之ニ對スル御答ヲ聽ケバ斯様ニ言フ
ノデアアル、即チ其借入金ハ事業ノ爲メ
必要ナル借入金デアアルカ、又ハ其以外
ノ生活費ヲ支辨スル爲メ、若クハ其他
ノ理由ニ依ル借入金ノ利子デアアルカ、
是ハ判別スルコトガ出來ナイノデア
アル、斯様ニ申スノデアリマス、即チ私共
ハ是ハ如何ニモ左様デアラウト思フ、
吾々個人ノ財產又勤勞ニ依ル所得ト云
フモノハ、總テ生活費ニ其中ノ幾分ハ
消費サレルノデアリマスカラ、生活ヲ
離レテ個人ガ勤勞又ハ財產ノ所得ヲ別
ニスルト云フコトハ、頗ル實際ニ於テ
困難ナル狀態デアアル、併ナガラ借入レ
テアルト云フコトハ是ハ事實ト思フ此
事ハ一般所得稅ニノミ限定スル問題デ
ハナクシテ、現在今此處ニ政府ガ御出
シニナッテ居リマスル營業稅廢止ノ代

リニ、營業收益稅ト云フモノヲ置キマ
スル以上ハ、是ハ將來可ナリ所得稅調
査委員會ニ於テ大キナ問題ヲ惹起スデ
アラウト思フ、此故ニ私ハ之ヲ明確ニ
區分スルコトガ困難デアルト云フナラ
バ、株式配當ノ場合ニ於テ四割ヲ借入
金ノ利子ト見テ控除スルト云フノト同
様ニ、達觀的ニ五割トカ四割ヲ控除ス
ルト云フ規定ヲ設ケテハ如何デアラウ
カ、此點ニ對スル政府ノ御意思ハ何レ
ノ點ニ在ルカト云フコトヲ伺ヒタイノ
デアリマス、若シ又此規定ヲ設ケル必
要ハナイト云フナラバ、稅務行政ノ上
ニ於テ一般債務ト云フモノハ、生活ノ
爲ニセル債務カ、又ハ其事業ノ爲ニ必
要ナル債務カ、之ヲ明確ニスル方法ヲ
稅務行政ノ運用ニ依テ御圖リ爲サル御
意思ハナイデアラウカ、斯ウ云フコト
ヲ伺ヒタイノデアリマス、是ガ先ヅ第
一點デアリマス、第二ノ場合ニ於テハ
現在ニ於テモ此農業或ハ山林ノ所得、
若クハ配當賞與等ノ所得等ヲ調査スル
ノト、商賣其他ノ製造工業等ノ所得ヲ
調査スルノト、同ジ所得稅調查委員會
ニ於テ調査シテ居ルノデアリマスガ、
中ニ是ハ煩雜デアリマス、商工業ト他
ノ一般ノ營利產業ノ收益ノ調査ト云フ
コトヲ、一體一人ノ人ガ爲スト云フコ
トハ困難デアルカラ、吾々ハ現在ニ於
テモ之ヲ區分スル必要ガアルト思フテ
居ルノニ、更ニ營業收益稅ト云フモノ
ヲ實際ノ商賣、製造工業ニ關係スル收

益ノ調査ヲ、更ニ現在ノ所得稅調查委
員會ニ委セルト云フコトハ、果シテ尙
ホ一層ノ混亂ヲ惹起シハシナイカ、矢
張營業收益稅ハ營業收益稅調查委員會
ナルモノヲ別個ニ設置スルト云フコト
ガ、調査ノ妥當ヲ得ル所以デアルト思
フガ、此點ニ對シテ政府ハ如何ニ御考
ニナッテ居ルカト云フコトデアリマス、
第三ノ問題ハ矢張武藤君ノ御質問ニア
リマシタ如ク、營業收益稅ニ於テ個人
ト法人ト營業收益稅ヲ課スベキ營業ノ
種目ヲ異ニシテ居ル、ト申シマスルコ
トハ、個人ニアッテハ一ヨリ十九ニ至ル
迄、營業ノ種類斯ク——斯ク——ト云
フモノヲ明記シテ、之ニハ營業收益稅
ヲ課スル、法人ノ場合ニ於テハ此區分
デナクシテ、總テ法人ノ營業ニハ稅ヲ
課スル、但シ漁業及演劇興業ヲ除クト
ナッテ居リマスガ、之ニ對スル大藏大臣
ノ御答辯ヲ過日伺ヒマス、法人ハ總
テ營利行爲ナノデアアル、營利行爲ヲ目
的トシテ居ルノデアアル、且又擔稅力ア
ルガ故ニト、斯様ニ御答ニナッテ居リマ
スガ、私ハ擔稅力ト云フ問題ハ暫ク別
個ノ問題ト致シマシテ、若シ營利行爲
デアルト云フナラバ、個人ノ場合ニハ
營利行爲デナイト云フ御見解ハ聊カ私
ハ惑フノデアリマス、例ヲ申シマスレ
バ法人ニアッテ田畑或ハ山林等ヲ所有
シテ、其收益ヲ圖ル目的ヲ以テスル者
ハ即チ營利行爲ナリトシテ營業收益稅
ヲ受ケルノデアリマス、個人ノ場合ニ

於テハ田畑山林ヲ所有シテ、營利ヲ目
的トシテ小作ヲ爲サシメ、若クハ自作
ヲ爲サシメタ所デ、是ハ地租ト所得稅
デアッテ營業收益稅ト云フモノハナイ
ノデアアル、若シ法人ノ場合ニ於テハ營
利行爲ナルガ故ニト仰セナサルナラ
バ、法人ヲ組織シタト云フコトガ一ツ
ノ企業ナンデアアルカラ、ソレニ對スル
營業收益稅デアアル、斯様ニ私ハ解スル
ノ外ハナイ、左様ナラバ法人ヲ組織シ
タ場合ニノミ一回之ヲ納メレバ宜イノ
デアッテ、年々繼續シテ毎年度ニ納メル
ト云フコトハドウ云フモノカトモ考ヘ
ラレマス、是ガ第三點デアリマス、ソレ
カラ所得稅ノ場合ニ於テハ、今回ハ總テ
前年ノ收益ヲ基本トシテ、ソレヲ課稅標
準ト改メタト云フコトデアリマス、私
ハ是ハ一ノ進歩デアルト思ヒマス、又
田畑ノ場合ニ於テ從來ハ前三箇年ノ平
均ト云フモノ、其平均ヲ廢メテ前年度
ト改メタノデアリマス、是モ私ハ宜シ
イト思フノデアリマスガ、唯賞與又ハ
利益ノ配當ト云フ部分ダケハ前年ノ三
月一日ヨリ其年ノ二月末日ニ至ルト云
フ、此特殊ノ扱ヲスルト云フコトハ取
扱上却テ煩雜ヲ來サナイカ、總テ是ハ
前年ノ一月ヨリ十二月ニ至ル迄ト一體
ニ統一スルト云フコトガ課稅ノ取扱上
便宜デアラウト思フガ、特ニ三月ヨリ
二月迄ト云フ規定ヲ設ケタノハドウ云
フ理由デアラウカ、是ガ第四點デアリ

マス
○黒田政府委員 ソレデハ極ク簡單ニ
要領ダケ御答申上ゲマス、第一ノ御質
問ハ所得稅ノ場合ニ於テ、借入金ノ利
子ヲ控除スルコトニナッテ居ルノデア
ルカ、實際ニ於テ控除サレル場合ハ極
メテ稀デアアル、隨テ若シ總テ其所得ヲ
得ルニ必要ナル借入金デアアルヤ否ヤト
云フコトガ困難デアアルナラバ、歩合デ
以テ或ハ四割ナリ五割ナリノ控除ヲス
ルト云フコトハ出來ナイカト云フ御話
デアリマスガ、是ハ御述ニナリマシタ
通りデアリマシテ、今日控除致シテ居
リマスモノハ、其所得ヲ得ルニ必要ナ
ル借入金ノ利子ヲ控除スルノデアリマ
スカラ、場合ニ依リマシテ果シテ借入
金ガ其所得ヲ得ルノニ使ハレテ居ルヤ
否ヤト云フコトノ區別ガ困難ナ場合ガ
非常ニ多イノデアリマス、隨テ實際ノ
取扱ニ於キマシテモ控除サレル場合ガ
割合ニ少クナッテ居ルコトハ事實デア
ラウト思フノデアリマス、是ハ常ニ吾
々ハ注意致シマシテ運用ノ上ニ——最
後ニ御尋ニナリマシタヤウニ、運用ノ
上ニ於キマシテハ成ベクソレ等ノ點ハ
注意ヲシテ、苟モ所得ヲ得ルノニ必要
ナモノト認メ得ル根據ガアルナラバ、
成ベク是ハ控除スルヤウニ常ニ注意ヲ
致シテ居ルノデアリマス、其意味ニ於
テ今後施行致シタイ考ヲ持ッテ居ルノ
デアリマスガ、何割ト云フ割合デ控除
致シマスルコトハ、株式ノ場合ニ於テ

ハ四割ノ控除ガアリマスガ、是モ今日ノ現行法ニアリマスノニ、此法案ニハ觸レテ居リマセヌノデアリマスガ、是モ實際ニ於キマシテハ果シテ適當ナリヤ否ヤト云フコトハ十分疑問デアルノデアリマス、尙ホ是等ニ付テハ將來攻究シナケレバナラヌ點デアラウト考ヘテ居ルノデアリマス、同時ニ總テノ所得ノ利子ノ控除ヲ之ニ依リマスト云フコトハ餘リ宜シクナイト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、隨テ運用上ニ於テ十分ニ考慮ヲ致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋ハ、工業商業等ノ所得ニ於テ、色々ノ所得ヲ算出スルニ付テハ、ソレト専門的ニ見マスト云フト困難ナモノデアル、然ルニ今日所得調査委員ガ總テノ所得ヲ調査スル、ソレガ既ニ適當デナイト思ッテ居ルニ拘ラズ、營業收益稅モ尙ホ此度ハ所得調査委員會ノ調査ニ附スルト云フコトニナッテ居ルガ、分ケテハドウカト云フ御尋デアリマシタガ、是ハ御尋ノ通り、サウ云フ風ナコトモ多少アラウト思ヒマスルガ、併シ總テノ業體ニ通ジマシテ調査委員ヲソレトノ業體カラ選出スルト云フコトニナリマス、實際ニ於テ到底困難デアル、隨テ總テノ業體ノ者ガ選舉權被選舉權ヲ持ッテ居リマシテ、サウシテ選出スルト云フコトニナッテ居ルノデアリマシテ、是ハ已ムヲ得ナイ制度デアラウト考ヘルノデアリマス、又營業收益稅ヲ所得調査委

員ニ調査サセルコトニ致シマシタノハ、營業收益ト云フモノト所得ト云フモノノ間ニ、若シ調査委員會ノ都合ニ依リマシテ其見方違フト云フ風ナコトガアリマス、ソレト云フ、非常ニ妙ナ現象ヲ呈スルコトニナルノデアリマシテ、是ハ矢張其者ノ所得ニ致シマシテモ、收益ニ致シマシテモ、同ジ委員ガ之ヲ調ベルト云フコトガ最モ適當デアラウト云フ風ニ考ヘマシタノデ、營業收益稅ヲ納メル者、所得稅ヲ納メル者、或ハ双方納メル者、總テガ選舉權被選舉權ヲ持チマシテ、適當ナル調査委員ヲ選出致シテ、調査スル外ニ途ハナイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、第三ノ御尋ハ、營業收益稅ニ付キマシテ個人ト法人トノ間ニ其範圍ヲ異ニシテ居ルト云フコトニ付テノ御尋デアリマシタガ、之ニ付キマシテハ、過日大藏大臣ガ武藤サンノ御質問ニ對シマシテ御答ニナッテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ハ省略致シマスルガ、法人ニ付テ範圍ヲ廣クスル、法人ハ即チ營利法人デアリマス、營業ヲ目的トシテ居ルノデアアルカラシテ、總テ課稅スル、ソレナラバ是ハ企業ニ對スルモノデアッテ、企業創設ノ初ノ年ニ一回課稅スレバ宜イデハナイカト云フ御質問ガアリマシタガ、サウ云フ風ニ企業ニ對スル課稅ト云フ風ニハ見テ居ナイノデアリマス、即チ資産ヲ營業營利ヲ目的トスル仕事ニ投ジテソレヲ運用シテ得

テ居ル所ノ所得ニ對シマシテ、補完稅トシテノ目的ヲ達スルヤウニサセヤウト云フ趣意カラ來テ居ルノデアリマス、法人ヲ若シ個人ノヤウニ業體ヲ分ケマシテ列舉致シマシタナラバ、其列舉致シマシタ仕事ノ外ニ營業致シテ居リマス者ニ對シテハ、何等カ外ニ補完稅ヲ設ケマシテ、ソレノ配當ニ對スル資本利子稅ヲ設ケマシテ、補完作用ヲ致スト云フ結果ニナルノデアリマス、此資本利子稅ヲ設ケテ補完作用ヲ致スト云フコトハ、實行上極メテ困難デア

ル、詳細ニ申上ゲマス、ト長クナリマス、ケレドモ、困難デアルノデアリマス、隨テドウセ補完稅ヲ掛ケルノデアリマシタナラバ、寧ロ營業法人營利法人デアリマスレバ、總テノ營利法人ノ營業所得ニ對シマシテ收益稅ト云フ補完稅ヲ課ケルト云フコトガ、寧ロ適當デアルト云フ風ニ考ヘタノデアリマス、隨テ企業デハナクシテ、其營業ノ收益ニ對スル補完稅ノ働キヲサセヤウトスルノデアリマス、總テ營業收益稅ヲ掛ケルノデアリマス、個人ノ場合ニ於テ、田畑山林等ヲ經營シテ居ルト云フ場合ニ於テハ、地租ト所得稅ノ外ナイト云フ御話デアリマシタガ、其通りデアリマス、ソレハ其場合ニ於テハ、其資産ト云フモノヲ個人ガ田畑山林ト云フ經營ニ投ジテ利益ヲ舉ゲテ居リマスナラバ、ソレニ地租ト云フモノヲ掛ケテ補完ノ作用ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレカ、若シ法人ト致シマシテ經營致シテ居リマシタナラバ、所得稅ノ外ニ營業收益稅ト云フ今度ハ補完稅ヲ掛ケテ、其代リ地租ト云フモノヲソレカラ控除シタモノヲ以テ、營業收益稅ヲ以テ補完ノ作用ヲシヤウト云フノデアリマス、個人ノ經營致シテ居リマス場合ト、法人ノ經營致シテ居リマス場合トガ權衡ヲ得ルコトニナッテ參ルノデアリマス、第四ノ御尋ハ、第三種ノ所得稅ニ付テ配當賞與等ニ付テ前年ノ三月一日ヨリ翌年ノ三月末日マデト云フコトニシテ居ル、是ハ他ノ所得ト同ジヤウニ曆年ニ依タガ便利デハナカ、タカト云フ御話デアリマシタ、是ハ洵ニ御尤ト考ヘルノデアリマス、曆年ニ依リマスコトガ統一シテ洵ニ結構ト思ヒマス、非常ニ歲入ノ減少ヲ來スノデアリマス、約一千萬圓程ノ減少ニ相成ルノデアリマス、是ハ永久ニ負擔ノ輕減ト云フコトニナッテ參ルノデアリマス、實際ニ於テ曆年ニ變ヘルト云フコトハ其點ニ於テ問題デアルノデアリマス、御承知ノ通り今日デハ四月一日ヨリ三月末日トナッテ居ルノデアリマシテ、之ヲ一時ニ曆年ニ變更致シマス、云フト、サウシテ所得稅ノ調査時期ヲ五月ニ切上ゲマシタ結果、ソレヲ一月繰上ゲマシテ二月ノ末日マデト致シタヤウナ次第デアリマス、左様ナ次第デ其點ダケハ曆年ニ依ラナイト云フコトニ致スノ已ムヲ得ナイ次第デアルノデ

アリマス

○三輪委員長代理 次ハ嶋居君ノ質問
アラムコトヲ望マス

○嶋居委員 私ノ質問シタイト存ジテ
居リマシタコトハ大部分同僚諸君ノ質
疑應答デ了解致シタノデアリマスガ、
マダ三四點ノ點ニ付テ疑義ヲ有シテ居
リマスノデ御尋致シタイト思ヒマス、
私ノ第一ニ御尋致シタイト思ヒマスノ
ハ、營業收益稅ニ付テデアリマスガ、是
ハ極ク小サク限ツテ御尋致シタイト存
ジマスルカラ、其點ニ付テ御答辯ヲ戴
キタイト思ヒマス、サウシナイト又重
複スル嫌ガアリマス、即チ私ガ第一ニ
御尋シタイト思フノハ販賣營業者、即
チ小商人ノ立場カラ此營業收益稅ニ付
テ御尋シタイトデアリマス、勞働者或
ハ農民、小作人ト云フ立場カラハ同僚諸
君モ尋ネラレマシタガ、小商人ノ立場
カラ營業收益稅ト云フモノヲ考ヘル點
ニ付キマシテ先ヅ第一ニ御尋シタイト
ハ、營業ノ課稅標準タル純益ノ計算ハ、
是ハ法文ニ規定シテアリマスルガ、稅
務ノ實際ニ於テ果シテ如何ナル方法ヲ
御執リニナツテ居ルノカ、即チ所得ノ標
準ハ如何ニシテ御調査ニナルノカ此事
ヲ第一ニ御尋ネシタイトデアリマス、
此點ニ付テモウ少シ詳シク御説明致シ
マスレバ即チ所得稅法ノ十三條ニ「申告
ナキトキ又ハ申告ヲ不相當ト認ムルト
キハ政府ノ調査ニ依リテ政府ニ於テ之
ヲ決定シ個人ノ純益金額ハ所得稅委員

會ノ調査ニ依リテ政府ニ於テ之ヲ決定
ス」トアリマス、ソレデ所得稅調查委員
會ニ附スルノハ即チドンナモノヲ附ス
ルカト云フト、稅務署長ハ毎年個人ノ
納稅ノ義務アリト認ムル者ノ純益金額
ヲ調査シテ、其調査ヲ所得稅ノ調査委
員會ニ出スト云フコトニナツテ居リマ
ス、實際ノ實務ニ當リマスト署長ガ先
ヅ此調査書ト云フモノヲ出スト、ソレ
ニ依テ大部分販賣營業者、小サナ商人ノ
所得ヲ定ムル、是ガ根本ヲ爲ス、大部分
ハ之ニ依テ決定スルノデアリマス、デ
アリマスカラ之ニ對シテ政府當局ハ今
後此所得稅ト同ジ方法ニ依テ收益稅ヲ
御取リニナルノデアリマスカラ、之ニ
對シテ如何ナル課稅標準ヲ御定メニナ
ツテ居ルカ、御腹案ガアレバ承ハリタ
イ

○黒田政府委員 只今御述ニナリマシ
タ通り申告ガアリマスナラバ、其申告
ヲ先ヅ審査ヲ致シマシテ、申告ガ不當
デアルト認メル場合、或ハ申告ガアリ
マセヌ場合ニ於テ、納稅資格ガアルト
考ヘタ時ニ於テハ、ソレ等ノ實際ヲ調
査致スノデアリマスガ、實際ノ調査ニ
付キマシテ、其營業ノ狀況等ヲ見マシ
テ、大體ドレ位ナ賣上ガアルダラウト
云フコトヲ大體調べテ、ソレニ賣上ニ
對シ、其業態ニ依テ凡ソ其地方ニ於テ
ハドレ位ナ收益ヲ得ル歩合ニナツテ居
ルダラウカト云フ事ヲ調査致シマシ
テ、純益ヲ決メルノデアリマス、是ハ從

來營業稅ガ外形標準デアリマシタ爲
ニ、一方ニハ營業稅調查委員會ニ於テ外
形標準ニ依テ決メ、所得稅ニ付テハ別
個ノ所得稅調查委員會ニ於テ決メル事
ニナツテ居ルノデアリマスカラ、多少其
間ニ調和ヲ缺キ、賣上ニ依テ爲ニ稍率
ガ多クナタリ、少クナタリ來ルヤウ
ナ場合ガ起リ得タノデアリマスガ、今
後ハ一ツノモノニナルノデアリマスカ
ラ、是等ノ點ヲ十分ニ調和致シマシテ、
一ツニナル結果トシテ稅務當局ト致シ
マシテハ、十分ニ力ヲ一年間是ガ調査
ニ盡スコトガ出來ル、所得ガ終ルト云フ
ト營業ノ賣上ノ調査ニ著手スル、又ソ
レガ終ツタナラバ更ニ所得ノ方ニ進ム
ト云フ風ニシテ、從來ハ一年ヲ區別シ
テ居ッタノデアリマスガ、今度ハ一ツノ
業態ニ依テ、一年間全力ヲ擧ゲマシテ、
成ベク周到ナル調査ヲ致シテ、ソレト

適應シタ順位ニ決メタイト考ヘテ居ル
ノデアリマスガ、多數ノ營業デアリマ
スカラ、特殊ノ事情ノナイ者ニ付テハ、
大體其地方ノ歩合ヲ算出致シマシテ、
ソレヲ適用スルノデアリマスガ、併シ
特殊ノ事情アル場合ニ於テハ、勿論之
ヲ審査シテ適切ナ決定ヲ致シタイト云
フ考デソレゾレ計畫ヲ立ツテ居ル次第
デアリマス、サウシテ稅務署ガ之ヲ決
メマシテ之ヲ調査委員會ニ出シテ、サ
ウシテ之ヲ決定スルニハ、調査委員會
ノ決定ニ基イテ政府ハ決定致スノデア
リマス、調査委員會ガ若シ決議ヲ致サ

ナイ場合ニ於テハ、政府ノ見ル所デ決
定致スノデアリマスガ、無論サウ云フ
場合ハ極メテ稀デ、調査委員會デ決定
シタモノヲ稅務署長ガ決メル次第デア
リマス

○嶋居委員 私ノ御尋シタノハ政府ノ
方ニ於テ所得標準ヲ如何ニシテ御定メ
ニナツテ居ルカ、先ヅ大體ノ標準ガアレ
バ其標準ヲ御示シ願ヒタイトデアリマ
スガ、御答辯ニ依テ見マスルト、結局其
標準ト云フモノガ政府ニハナイ、推定
的ニ之ヲ定メル、地方ノ事情ニ應ジテ
斟酌シテ之ヲ定メルノデ、當局ニ於テ
ハ何等其標準トスベキモノハナイ、斯
ウ云フ風ニ承ハリマシテ宜シウゴザイ
マスカ

○黒田政府委員 大體標準ハ作ツテ居
ルノデアリマス、併シ是ハ各地區々ニ
互テ居ルノデアリマシテ、其地方ニ於
テ標準トナルヤウナ個人ニ付キマシ
テ、比較的詳細ナル調査ヲ致シマシテ、
大體此位ガ宜イダラウト云フ標準ノ調
査ヲ致スノデアリマス、又一方ニハ同
業組合等モアリマス、又同業組合ニ非
ズシテ、個人ノサウ云フ營業者ニ對シ
テ參考ニ諮問致シテ居ルノモアリマス、
サウ云フ風ナモノニ依テ大體其地方ニ
アリマスル所謂普通ノ狀態ニ於テ、ド
レ位ナ歩合ノ利益ガアルモノデアアル
メ云フ標準ヲ作ツテ居ルノデアリマス、ソ
レヲ適用シテ差支ナイ場合ニハソレヲ
適用シマス、ソレヲ適用スルニ、特殊ノ

事情アル者ニ對シテハ斟酌加減ヲ致シテ居ルト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○嶋居委員 標準ガ大體定メテ居ルト云フ事デアリマスガ、實ハソレヲ承リタイノデアリマス、是ハ長クナルヤウデゴザイマスレバ、茲デ口頭デ御答辯ヲ願ヒマセヌデモ、書面デ御答辯願フモ宜イノデアリマスガ、私ノ考デハ其大體ノ標準ト云フモノガ甚ダ實際ニ行ウ上ニ困難ナモノデアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、收益課税ト云フモノガ机上論トシテハ立派ナモノデアアルケレドモ、實際論トシテハ洵ニムツカシイ課税方法デアルト私ハ考ヘル、寧ロ外形標準デアル營業稅デアリマスレバ、其課税ガ比較的都合好ク行キマスルケレドモ、之ヲ收益稅ニ代ヘタ爲ニ事實之ヲ適用スル上ニ付テハ非常ニ困難ヲ生ズル、デアリマスカラ只今ノヤウナ御答辯シカ出來ナイダラウト思ヒマス、結局此營業收益稅ト云フモノガ推定的ナ課税デアッテ、現實的ノ純益トハ餘程遠ザカッタ結果ヲ生ズルノデアリマス、サウシテ其結果ト致シマシテハ營業稅ニ於ケル缺點ト見ラレサウシテ、課税ノ均衡ヲ失スルト云フ此營業稅ヲ改メテ、營業收益稅ニ直シタト言ハレマシタガ、其缺點ハ同ジク營業收益稅ニ於テモ事實ニ於テ現ハレテ來ルノデアアルカラ、私ハ此點ニ於テ決シテ左様ナ商人ニ有利ナ方法ニ改正サレタ

モノトハ考ヘナイノデアリマス、私ハ此程度ニ打切りマシテ、第二ニ御尋シタイノハ、此營業收益稅ノ免稅點ヲ四百圓ニ定メタ點デアリマス、私ハ此營業收益稅ノ免稅點ヲ四百圓ニ御定メニナッタト云フノハ、即チ一ノ營業者ガ其營業カラ上ッテ來ル純益以外所得ノアル者ノ爲ニ作ラレタモノデアッテ、營業ノミデヤッテ居ル者ニ對シテハ、何等ノ效果——恩惠ヲ蒙ラナイモノデアルト云フコトヲ私ハ考ヘルノデアリマス、此四百圓ノ免稅點ト云フモノヲ定メテ居ラレバ、所得稅ノ免稅點ハ千二百圓デアアル、是ハ生活ノ限度ト云フコトカラ此千二百圓ト云フモノヲ政府當局デハ御定メニナッタモノト見ルノデアリマス、サウスルト此營業收益稅ノ方デ一ノ營業者ガ營業シテ、四百圓ノ營業收益ヲ取ッタ者ハ——即チ四百圓以下ノ者ハ所得稅ノ方デモ免ゼラレマスカラ、是ハ全部免稅サレルコトニナルノデアリマス、所ガ四百圓以上千二百圓マデノ收益ノアル營業者ハ、即チ營業收益稅ノ方カラ課稅ヲ受ケル事トナリ、政府ハ生活ノ限度ニ於テ所得稅千二百圓以下ノ收入ニ對シテハ免稅サレテ居ル、其程度ノ者ニ課稅スルノハ不都合ダト云フ趣旨カラ、政府ハ所得稅ノ千二百圓以下ノ者ニ對シテハ免稅サレテ居ルノデアアル、然ルニ此小商人販賣業者ノ如キモノハ、即チ千二百圓以下六百圓以上ノ營業收益ヲ得ル者ハ所

得稅ノ方デハ免稅サレテ居リマスルケレドモ、營業收益稅ノ方ニ於テハ課稅ヲサレル結果トナリマスルカラ、是ハ小商人、販賣業者ニ對シテハ特ニ其生活限度以下ノモノニモ課稅ヲサレル結果ニナルノデアリマスガ、此點ハ政府ハ御認メニナリマスカドウデアリマスカ

○黒田政府委員 營業收益稅ノ免稅點ヲ四百圓ニ致シマシタコトハ、所得稅ノ免稅點ヲ千二百圓ニ致シマシタコトトハ趣旨ガ全ク別デアアルノデアリマス、所得稅ニ付テハ只今御述ニナリマシタ通りノ趣旨デアリマスカラ申上ゲマセヌガ、營業收益稅ノ免稅點ノ四百圓ト申シマスルモノハ、是ハ補完稅ト致シマシテ、其以下ノモノヲ免除致シマス、即チ生活ノ必要ト云フ風ナ趣旨カラ免除致シタノデモナイノデアリマス、四百圓以下ノ者ハ地方稅トシテ之ヲ取ラレルノデアリマス、唯現今ノ販賣業者ニ付キマシテハ、二千圓ト申シマスルモノヲ四百圓ニ改メマシタ結果ト致シマシテ、詰リ免稅點ノ變更ノ結果ト致シマシテ、二百萬圓ノ差違ガアルト云フコトハ、過日申上ゲタノデアリマスガ、是ハ全然其者ノ負擔ヲ輕減スルト云フ趣旨デハ必シモナイノデアリマス、地方稅ノ方ニ移リマシテ相當ナ負擔ヲ又スルト云フコトハ當然免レナイノデアリマス、隨テ此四百圓ニシマシタ結果、二百二十萬圓ノ國稅トシテハ減收ニナリマスルガ、是ハ大藏

大臣モ色々社會政策的ノ施設ダト云フコトヲ御舉ゲニナリマスルトキニハ何時モソレハ省イテ居ラレルノデアリマシテ、所得稅ノ免稅點ノ引上トハマルデ別個ノモノデアリマス、即チ補完稅ト致シマシテハ資本利子稅ニ致シマシテモ、其所得ガ幾ラデアリマシテモ、ソレニ對スル相當ナ補完稅ヲ掛ケラレマス、營業收益稅ニ致シマシテモ相當ナ負擔ヲスル、唯或ル程度ノモノハ是ハ地方稅ニ讓ル方ガ適當デアルトシテ、ソレハ地方稅ニ讓ッテ居ルノデアリマス、地租ノ二百圓ノ免稅ト云フモノハ是ハ田畑ニ付キマシテ別個ノ見方カラ來テ居ルコトハ、屢大藏大臣ノ御述ニナッテ居ル通りデアリマス、大體ニ於キマシテ補完稅ト致シマシテハ、其所得ニ依テ生活ヲシテ居ルヤ、否ヤト云フコト、即チ生活ノ必要ナ限度デアアルヤ否ヤト云フ所得稅ノ見方トハ全ク別個ノ見方カラ參ッテ居リマスカラ、左様ナ差違ガアルノデアリマス、御尋ノ通りソレノミヲ以テ假ニ生活ヲシテ居ル者ガアルト致シマスレバ、所得稅ヲ納メナイデ、營業收益稅ヲ納メル者モ勿論生ジテ參ルノデアリマス

○嶋居委員 大體御答辯ニ依テ見ルト、私ノ御尋致シタコトヲ御是認ニナクヤウデアリマス、私ハソレハ左様デアラウト存ジテ居リマス、次ニ御尋致シタイコトハ酒精含有飲料稅ノ中ニ付テ御尋致シマス、政府ハ今度酒造稅ヲ御

設ケニナル折ニ、大體政友會主張デア
ル從價稅ニ致サヌ方ガ理想論トシテハ
宜イト云フコトヲ御答辯中ニ於テモ略
御認メニナッテ居ルヤウデアリマス、併
シ實際課稅上ニ於テ甚ダ困難デア
事實ニ於テ造石稅ヲ課セラレテ居
デアリマスカラ酒ノ方ニ於テハ十分ニ
均衡ヲ保ツヤウニ、今度稅制整理ヲ行
ハレル場合ニ御訂正ニナル筈ノモノデ
アラウト私ハ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、所ガ此含有飲料稅ノ中ニ二ツノ含
有飲料ノ製造業者ガアル、ソレハ一ツ
ハ酒精ヲ自分ノ宅造リマシテ、サウ
シテ之ヲ含有飲料トシテ發賣スルモ
デアリマス、モウ一ツハ其酒精タル原
料ヲ他ヨリ買入レマシテ、含有飲料ヲ
製造スル業者ト二ツアルノデアリマ
ス、自家ニ於テ酒精ヲ製造シマスル場
合ニハ、例ヘバ是ハ二十四度ノモノノ
含有飲料ヲ製造スルト致シマスルト、
現行法ニ於キマスルト、ソレニ約三十
五圓ノ課稅ヲサレテ居ルノデアリマ
ス、ソレデ宜イ譯ナノデアリマス、所ガ
他ヨリ其酒精原料ヲ買入レテ含有飲料
ヲ造ル者ハ、即チ其含有飲料ニ付テ二
十四度ノモノト此處ニ假定致シマス
ト、ソレニ對シテ矢張同様ニ三十五圓
ノ課稅ヲ受ケルノデアリマス、サウシ
テ原料ヲ買入レタ其酒精ニハ矢張別ナ
稅ガ掛ル、例ヘバ其酒精ガ九十四度ノ
酒精デアルト假定致シマスルト、ソレ
ガ現行法ニ依ルト百四十一圓ノ稅ガ

掛ッテ居ルノデアリマス、デアリマスカ
ラ其二十四度ノ含有飲料ニ造ッテ三十
五圓ノ課稅サレル、ソレニ割出シテ見
マスルト三十四圓五十錢程ノ稅ガ二重
ニ掛ッテ居ルノデアリマスカラ、其合計
ハ六十九圓何ガシト云フ課稅ニナルノ
デアリマス、同ジ含有飲料ヲ製造スル
業者ガ一方ニ於テハ三十五圓ノ課稅デ
濟ム者ガ、一方他ヨリ原料ヲ買入レテ、
之ヲ含有飲料トシテ製造サレル場合ニ
ハ、六十九圓五十錢ト云フ多額ノ課稅
ニナルノデアリマス、今度改正サレタ
ノハ三十五圓ガ四十一圓カ四十二圓ニ
私ハ上ルト思フノデアリマス、サウス
ルト此總計ノモノガ又其率ニ於テ増
稅サレテ行クノデアリマス、是ハ全ク
同ジ含有飲料ヲ、原料ヲ自家製造スル
業者ト、他ヨリ原料ヲ買入レテ來ル業
者ト、茲ニ二重課稅ヲ——同一ノモノ
ニ一方ニハ二重ノ稅ヲ掛ケラレテ、一
方ニ於テハサウ云フ課稅ガナイト云フ
結果ニナル、斯様ナ事ハ此稅制整理ヲ
行ハレル場合ニ於テ、政府當局ハ十分
ニ此點ニ付テハ御改正アッテ然ルベシ
ト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、此
點ニ付テハ政府當局ハ如何ナル御考デ
アリマスカ

コトハ到底出來ナイノデアリマス、隨
テ從來含有飲料稅法ノ八條ニ同一製造
場內ニ於テ造ッタモノニ對シテハ酒精
ノ上カラハ造石稅ヲ免除致シテ居リマ
スガ、他カラ持ッテ參ルト云フヤウナ風
ノモノニ對シテハ御尋ノ通り二重ニ相
成ルノデアリマス、是ハ取締上已ムヲ
得ナイノデアリマス

○黑田政府委員 御尋ノ通りデアリマ
ス、左様ナ結果ガ生ズルノデアリマス、
是ハ酒精含有飲料ハ其製造ガ極メテ容
易ナノデアリマシテ、取締上カラ見マ
シテ、サウ云フ場合ニ戻稅スルト云フ

○嶋居委員 已ムヲ得ナイト云フコト
ノ御答辯デアリマスガ、是ハ其製造サ
レタル者ニ對シテ、戻稅手續ヲ御執リ
ニナリマスレバ、私ハ簡單ニ此問題ハ
解決スルト思フノデアリマスガ、ソレ
以上ハ議論ニナリマスルカラ、私ハ此
程度ニ止メマス、序ニ是ハ甚ダ聯關致
シテ居ラヌカモ分リマセヌガ、政府ニ
御尋致スノデアリマスガ、朝鮮ニ於ケ
ル酒造稅令ノ改正ヲ此際政府ニ於カレ
マシテハ御改正ヲ御加ヘニナル御見込
ガ有ルカ無イカト云フコトハ、是ハ或
ハ稅制整理ノ此場所デ御問スルノハ問
題ガ違フカモ分リマセヌガ、朝鮮ノ酒
造稅令ニモ改正ヲ加ヘルト云フ御見込
デアアルカナイカト云フコトヲ、此際序
ニ御尋致シマス

○嶋居委員 次ニ御尋致シタイノハ、
織物消費稅ノ問題デアリマスガ、政府
ハ此綿織物ニ對シテ免稅サレタノデア
ツテ、絹ニ對シテハ全然免稅サレナイ
ト云フコトハ、是ハ繰返サレタ御答辯中
デ明デアリマス、然ルニ織物消費稅ノ改
正案ヲ見マスルト、其一條ノ二ノ二項
ニ現レテ居リマスノニ、「絹紡紬絲、芭
蕉絲其ノ他命令ヲ以テ定ムル原料ヲ以
テ組成スル織物ニシテ命令ノ定ムルモ
ノハ之ヲ綿織物ト看做ス」ト書イテア
リマス、私ハ此點ガ寔ニ解シ兼ルノデ
アリマスガ、絹紡ト云フモノハ純然タ
ル絹デアリマス、是ハ眞綿、繭カラ作
タモノデアリマシテ此絹紡ガ絹デナイ
ト云フコトハ如何ナル點デ政府ハ御考

○黑田政府委員 御尋ノ通りデアリマ
ス、左様ナ結果ガ生ズルノデアリマス、
是ハ酒精含有飲料ハ其製造ガ極メテ容
易ナノデアリマシテ、取締上カラ見マ
シテ、サウ云フ場合ニ戻稅スルト云フ

○嶋居委員 政府トシテノ御答辯ハ伺
ハレマセヌカ

○濱口國務大臣 何レ總督府ニ於テ考

○濱口國務大臣 何レ總督府ニ於テ考

○濱口國務大臣 何レ總督府ニ於テ考

○濱口國務大臣 何レ總督府ニ於テ考

ニナッテ居ルノデアリマセウカ、私ハ此
點ニ付テ特ニ御説明ヲ願ヒタイノデア
リマス、殊ニ絹紡ハ名古屋方面デ非常
ニ産額ガアルト云フコトデアリマス、
特殊ノ事情カラ是ガ許サレテ居ルト云
フヤウナコトヲ頻リト噂ヲ致シテ居ル
ノデアリマスガ、政府ニ於テハ此點ハ
如何ナル御考ヲ御持チニナッテ居リマ
スカ

ニ付テ申上ゲマシタ通り、是ハ大體ニ
於テ價格モ安イ下級品デアリマスルト
同時ニ、其用途モ考ヘテ居ルノデアリ
マス、其用途ガ大體庶民階級ニ使用サ
レルコトハ恰モ綿織物ト同ジャウナ狀
態ニアリマスモノデアリマスカラ、之
ヲ綿織物ト同ジャウニ取扱ッタノデア
リマス、單ニ價格ガ安イト云フダケニ
ハ參ラヌト思フノデアリマス、此處ニ二
項ニ「絹紡細絲、芭蕉絲其ノ他命令ヲ以
テ定ムル原料ヲ以テ組成スル織物ニシ
テ命令ノ定ムルモノハ之ヲ綿織物ト看
ス」トアリマスガ、是等モ其趣旨ヲ以テ
一定致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、即チ
大體其格ノ方面カラ考ヘマシテモ、亦
用途ノ方面カラ見マシテモ、綿織物ト
大體同ジャウニ取扱フ、是ガ適當デア
ラウト思ハレルモノニ付テ致スノデア
リマス、芭蕉布ノ如キモ、是モ沖繩縣ニ
於テハ氣候ノ關係カラ致シマシテ、殆
ド内地ノ綿織物ト同ジャウニ芭蕉絲ヲ
以テ織ッタモノガ使ハレテ居ルト云フ
ヤウナ狀態カラ鑑ミマシテ、玆ニ掲ゲ
マシタヤウナ次第デアリマス、其點ヲド
ウゾ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○三輪委員長代理 ソレデハ引續イ
テ……
○嶋居委員 成ベク早く致シマシテ午
後ニ廻ラヌヤウニヤリタイト思ヒマ
ス
○嶋居委員 ソレデハ私ハ御尋致シタ
イノデアリマス、絹紡ハ非常ニ低廉ナ
モノデアッテ、サウシテ是ハ綿織物ト同
一ナモノデアアルカラ、其方法デ之ヲ免
税シタト、斯ウ云フ御答辯ノヤウニ承
リマスガ宜ウゴザイマスカ——サウ致
シマスルト、今度免税——廢稅ナサツタ
ト云フコトハ、價格ノ安イモノニ對シ
テ今度ハ免税サレマシテ、サウシテ質
ノ問題デハナイト云フコトニ私ハ承ハ
レルノデアリマス、即チ是ガ本綿デア
ルカ絹デアアルカト云フコトノ爲ニ、木
綿ダケヲ今度ハ許シタノデアッテ、絹ニ
ハ許サヌ、斯ウ云フヤウナ御見解デナ
クシテ、假令絹デアッテモンレガ屑デア
ルトカ何トカ云フヤウナコトニナレ
バ、即チ價格ガ安ケレバ今度ハ免税サ
レルモノデアッテ、即チ質ノ問題デナ
ク、價格ノ問題ニ依テ今度ハ免税サレ
タト云フヤウニ御答辯ヲ承リマシテ宜
シウゴザイマスカ

○嶋居委員 ドウモ御答辯ハハッキリ
致シマセヌノデアリマスケレドモ、私
ハ此程度デ打切りマス、綿織物ハ此度
四月一日カラ免税サレルノデアリマス
ガ、四月一日以降ニ賣ラレルモノデアリ
マシテ、四月一日以前ニ既ニ課稅ヲ受
ケテ居ル商品ニ對シテ、是ハ戻稅ノ手
續ヲ御執リニナル御考ハナイノデアリ
マセウカ、是ハ質問應答ノ中ニアリマ
シテ、政府デハ豫算ノ都合上左様ナ事
ハ出來ナイト云フヤウナ風ノ御答辯ノ
施行當時ニ考ヘテ見マスルト、其當時
此課稅ノ稅法ヲ布カレマシタ折ニハ、
既ニ其以前ニ造ラレタル製品モ、其後
ニ在ルモノニハ全部課稅サレテ居ル、
即チ法律ハ遡テ課稅サレテ居ルノデ
アリマス、是ハ私ハ賣藥ノ問題ニ付テ
モ同時ニ御尋致シタイノデアリマス
ガ、ドウモ政府ハ稅金ヲ掛ケル折ニハ、
即チ其日カラ後ノモノニハ全部稅金ヲ
掛ケテ置キナガラ、今度稅金ヲ廢スル
折ニハ是ハ都合上ヤラナイ、斯ウ云フヤ
ウナコトハ、ドウモ私ハ理論上甚ダ面
白クナイト思フノデアリマス、ソレデ
私ハ此點ニ付テ政府ハドウ云フ風ナ御
見解デアリマセウカ、即チ政府ハ現在
ノ財政狀態ニ於テムヅカシイト仰シヤ
リマスガ、此綿織物ニシマシテモ、煙
草ニ致シマシテモ、既ニソレダケノ金
ト云フモノハ國民カラ政府ガ取上ゲテ
居ルノデアリマス、取上ゲテ居ッテソレ
ガ四月一日以降ニ販賣サレルモノデア
ル、其以降ニ販賣サレルモノハ、即チ政
府ハ其稅ヲ取ラナイト、斯ウ云フノデ
アリマスカラ、其中間ニ課稅ヲ受ケタ
ルモノハ政府ニ於テ當然免税サレルコ
トガ理論上正シイト信ズルモノデアリ
マス、併ナガラ財政上色ミナ御都合モ

○黒田政府委員 絹紡、細絲ヲ以テ拵
ヘマシタ織物ハ此一條ノ二項ノ規定ニ
依リマシテ、綿織物ト看做シマシテ免
稅致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、絹紡細
絲ハ御承知デモアリマセウガ、絹紡紡
績ノ工程中ニ生ジマスル廢物ヲ利用シ
タモノデアリマス、其廢物ヲ利用シ
テ拵ヘマシタ織物デアリマシテ、概シ
テ低廉ナ下級品ニ屬シテ居ルノデアリ
マス、大體ニ於テ庶民階級ノ常用品ニ
ナッテ居リマスルコトハ、恰モ綿織物ト
同様ナ狀態ニアルヤウニ考ヘルノデア
リマス、勿論絹紡細絲ヲ以テ拵ヘマシ
タモノデモ、細イ絲デ拵ヘマシテ相當
價格ノアルモノモアリマス、併シ大部
分ハ屑ノ絲ヲ用ヒマシテ拵ヘルモノデ
アリマシテ、其大體カラ見マシテ今申
上ゲマシタヤウニ、下級品ニ屬スルヤ
ウニ考ヘルノデアリマスカラ、是ハ綿
織物ヲ免税致シマシタ同一ノ趣旨ヲ
以テ取扱フコトガ適當デアラウト云フ
ヤウナ考ヲ持チマシタ次第デアリマ
ス

○黒田政府委員 御尋ノ趣旨トハ少シ
違フト考ヘルノデアリマス、絹紡細絲
ニ付テ申上ゲマシタ通り、是ハ大體ニ
於テ價格モ安イ下級品デアリマスルト
同時ニ、其用途モ考ヘテ居ルノデアリ
マス、其用途ガ大體庶民階級ニ使用サ
レルコトハ恰モ綿織物ト同ジャウナ狀
態ニアリマスモノデアリマスカラ、之
ヲ綿織物ト同ジャウニ取扱ッタノデア
リマス、單ニ價格ガ安イト云フダケニ
ハ參ラヌト思フノデアリマス、此處ニ二
項ニ「絹紡細絲、芭蕉絲其ノ他命令ヲ以
テ定ムル原料ヲ以テ組成スル織物ニシ
テ命令ノ定ムルモノハ之ヲ綿織物ト看
ス」トアリマスガ、是等モ其趣旨ヲ以テ
一定致シタイ考ヲ持ッテ居リマス、即チ
大體其格ノ方面カラ考ヘマシテモ、亦
用途ノ方面カラ見マシテモ、綿織物ト
大體同ジャウニ取扱フ、是ガ適當デア
ラウト思ハレルモノニ付テ致スノデア
リマス、芭蕉布ノ如キモ、是モ沖繩縣ニ
於テハ氣候ノ關係カラ致シマシテ、殆
ド内地ノ綿織物ト同ジャウニ芭蕉絲ヲ
以テ織ッタモノガ使ハレテ居ルト云フ
ヤウナ狀態カラ鑑ミマシテ、玆ニ掲ゲ
マシタヤウナ次第デアリマス、其點ヲド
ウゾ御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

アリトシマスレバ、是等ノ事ニ依テ此理論上正シイ戻稅ヲサレト云フ立場ニアル國民ハ、此場合ニ非常ニ苦痛ナル状態ニ在ルト云フ現狀ハ、政府モ御存ジデアラウト思フノデアリマス、之ニ對シテ政府當局ハ相當ナル緩和策ヲ講ジラレル、即チ織物ニ對シテハ、此三圓或ハ二圓ニ於ケル製品ニ限ッテ免稅スル、戻稅スルト云フヤウナ方法ヲ御執リニナリ、ソレカラ賣藥ノ方ハ全部戻稅シナイデモ、其幾割カラ戻稅シテヤラウト云フ風ナ緩和の方法ヲ御執リニナル御意思ガアルノデゴザイマセウカ、國民ハ既ニ其稅ヲ拂ッテ居ルノデアリマス、此法律ガ實施サレタ當時ハ既往ニ遡ッテ居ルノデアリマスカラ、今度モ既往ニ遡ッテ四月一日以降ト云フモノハ戻稅サルベキデアラウト私ハ考ヘ

ルノデアリマスガ、此點ニ付テ政府ノ御考——大藏大臣ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 既ニ廢稅前ニ引取ラレテ居ルモノデアッテ、サウシテマダ市場ニ殘ッテ居ッテ處理サレテ居ナイ所ノ織物ニ對シテハ、之ヲ拂戻スノガ相當デハナイカ、斯ウ云フ御議論デアリマス、ソレニ對シマシテ政府ノ御同意ガ出來ナイト云フ理由ハ、單リ財政上困ルト云フ理由ノミデハアリマセヌノデ、財政上モ無論困リマスガ、又第二ノ理由ト致シマシテ、取締上非常ニ困難デアルト思ヒマス、例ヘバ只今御話ノ

如ク二月以降ニ引取ラレタ物ニ付テハ、是ハ消費稅ヲ拂戻スト云フコトニ對シマス、其織物ガ果シテ二月以降ニ引取ラレタモノデアルカ、或ハ二月以前ニ引取ラレタモノデアルカト云フ區別ヲスルコトハ、到底不可能デアリマス、市場ニ殘ッテ在リマス所ノ織物ニ對シマシテ、是ハ織物ノ製造場カラシテ、何月ニ出タモノデアアル、何時稅ヲ拂ッタモノデアアルト云フ區別ヲスルコトハ到底出來ナイコトデアラウト思ヒマス、サウ云フヤウナ狀況デアリマ

スガ故ニ、第一ニハ財政上ニ困ルト云フ理由ト、第二ニハ其區別ガ到底困難デアルト云フ、其二ツノ理由ヲ以テ是ハ拂戻ヲシナイト云フコトニ致シタ次第デアリマス

○嶋居委員 御答辯ハ困難ダト云フコトニアルヤウデアリマスガ、併ナガラ二月三月ニ於テハ其織物ノ機業家ノ方デハ納稅致シテ居ルノデアリマスカラ、其納稅ノ帳簿ヲ御調べニナレバ、ソレハ明ニ分ルコトデアリマス、其織物ニ對シテ其帳簿ヲ御調べニナッテサウシテ之ニ戻稅ヲ行ハレテ——其織物業者カラ他ニ轉ジテ行ッテ居ルノデアリマスカラ、其方ニ順次戻稅ノ方法ヲ行フト云フコトニナレバ、私ハ是ハムヅカシイ問題デナイト思フノデアリマ

スカラ、是ハ政府ガ御覽ニナッテ、印紙ノ貼ッテアルモノハ直ニ之ニ對シテ戻稅サレルト云フコトハ私ハ別ニムヅカシイ手續ヲ要スルモノデハアルマイト考ヘルノデアリマスガ、ソレ以上ハ或ハ議論ニナルカト思ヒマス、併シソレニ付テノ御答辯ガアリマスレバ承リマ

ス ○黒田政府委員 織物ニ付キマシテハ大藏大臣カラ御話申上ゲマシタ通りデアリマス、即チ取締カ——今嶋居サンノ御話デハ出來ルデハアリマセヌカト云フ御話デアリマスガ、現實市場ニ在リマス物ガ果シテ免稅後ニ出タノデア

ルカ、免稅前ニ同ジ何處ノ製造場カラ出タト云フコトハ分リマシテモ、其時期ヲ見ルコトハ非常ニ困難デアリマス、殊ニソレガ色ミナ加工ヲ施サレテ居リマスカラバ、一層困難デアッテ、又何レニ如何程ノ稅ヲ掛ケルト云フコトヲ見ルコトモ相當困難デアラウト思フノデアリマス、隨テ或物ガ假ニ分ッテ、之ニ返ス、或物ハ分ラナイカラ返サナイト云フコトニナリマス云フト、非常ニソコニ負擔ノ不公平ト云フコトヲ生ズルノデアリマス、其爲ニ是ハ其點カラ見マシテモ實行ハ困難ト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、賣藥ニ付キマシテハ、印紙ガ貼ッテアルカラ分ルデハナイカト云フ御話デアリマス、成程賣藥ニ付テハ印紙ガ貼ッテアルカラ能ク分リマス、分リマスカラ單リ賣藥ガケ

ハ印紙ガアルカラ是ハ返ス織物ハ困難デアアルカラ返サナイト云フヤウナコトニナッテ參リマス云フト、非常ニ不公平ノ結果ヲ來スノデアリマスカラ、其點カラ見マシテモ、詰リ負擔ノ不公平ト云フ點カラ見マシテモ、是ハ實行ガ困難デアルト云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙ホ先程御話ガアリマシテ、織物消費稅ヲ課稅シタ場合ニ於テ、市場ニ在ル場合ニ總テ印紙ヲ貼ラシタ、洵ニ其通りデアリマス、是ハ又取締ノ方カラドウシテモサウ致サナケレバナラヌノデアリマシテ、市場ニ在リマス物ガ課稅サレテ居ルカ、脫稅サレテ居ルカ否ヤト云フコトヲ後ニ調べルト云フコトハ困難デアリマス、其爲ニ課スルコトニナッタノデアリマス、今度ノ骨牌稅法ニ於キマシテモ、稅率ヲ引上ゲマシタガ、矢張市場ニ在リマス物ニ付テハ増徴サセルコトニシテ居ルノモ其趣旨カラ參ッテ居ルノデアリマス

○嶋居委員 是ハ織元ノ方デ納稅サレテ居ルノデアアルカラ、帳簿ハ政府ノ方デ御分リニナッテ居ルカラ織物ノ方モ明ニナッテ居ルト思フノデアリマス、併シソレハ議論ニナリマスカラ私ハ止シマス、次ニ御尋シタイノハ、今度政府ガ酒ヲ課稅シ、或ハ煙草ヲ値上シタト云フコトハ、實ハ私ハ或ル高遠ナル理想ノ下ニ此政策ヲ行ハレルト云フヤウナ必要ガ其處ニアルノデハナカラウカト思ウテ、心密ニ私ハ政府當局ニ敬意ヲ

表ス

拂ッテ居ッタノデアリマス、所ガ麥酒ノ
稅源涵養ノ爲ニ清涼飲料稅ヲ課スル一
段ニ至ッテハ、私ハ斯様ナル高遠ナル理
想ガ其處ニ潜シテ居ッタモノデナイト
云フコトヲ思ヒマシテ、深甚ナル敬意
ヲ私ハ塵屑籠ニ拾テナケレバナラヌヤ
ウナ心地ガ致スノデアリマス、此清涼飲
料稅ノ課稅ト云フモノハ、私ハ今回ノ
課稅中最モ惡イ課稅デアラウト思フノ
デアリマス、此點ニ付テ政府ハドウシ
テモ此清涼飲料ニ對シテ手加減モセ
ズ、或ハ免稅モシナイ、廢稅モシナイト
云フ御考デアアルヤ否ヤト云フコトヲ御
尋致シマス

午後零時二十三分休憩

三君カラ五割ニセラレタコトヲ御聞キ
ニナリマシタ、ソコデ政府ノ御說明モ伺
ヒマシタケレドモ、其御極メニナッタ標
準ト云フコトガ自分デハ未ダ了解ガ出
來ナイノデアリマス、大體政府ノ方デ
ハ其爲ニ御見込ニナッテ居ル所ノ金額
ハドレ程ニ御見込ニナッテ居ルノデア
リマスガ、餘リ過大ノモノノヤウニ考
ヘテ、サウシテ國庫ノ支出ガ高マルヤ
ウデハ困ルト云フ御見込ヲ以テ、少シ
無理ヲシテアルノデアアルマイカ、斯
様ニ考ヘルノデアリマス、私共ノ考ヘ
ル所ニ依リマスト云フト、從來二十圓
未滿ノモノハ八割、二十圓ヲ超加スル
モノハ八割五分還付シテアリマスカ
ラ、此場合ニ於テモ其程度ニ御改正ニ
ナルト云フコトハ適當デハアルマイカ
ト云フコトヲ考ヘテ居リマス、ソレヲ
特ニ五割ト云フコトニ御査定ニナッテ
居ルガ、其大體ノ御見込額ハ幾ラ位ニ
ナッテ居リマスカ、局長アタリカラ御辯
明ヲ得タイト思ヒマス

シテ、又其清涼飲料ノ中デモ、其品質竝
ニ其用途ノ如何ニ依テソレ／＼相當ニ
稅率ノ輕重ヲ設ケテ置キマシタカラ、是
ナラバ別ニ負擔ノ重キニ苦シムト云フ
コトモナクシテ、而シテ此稅ヲ設定致
シマシタ所ノ麥酒ノ稅源擁護、歲入ノ
缺陷ノ一部ノ補填ト云フ二ツノ目的ヲ
達スルコトガ出來ルデアラウト考ヘ
テ居リマス

午後一時三十五分開議

○三輪委員長代理 休憩前ニ引續イテ
開會致シマス、此場合高橋熊次郎君ノ
質疑セラレムコトヲ望ミマス

○嶠居委員 私人ハ是デ質問ヲ打切りマ
スガ、昨日カラ今日ノ新聞ヲ拜見スル
ト、色々ナ記事ガ出テ居リマス、私ハ迂
遠デ、何モ知ラヌ間ニ新聞デ知ルコト
ガアリマスカ、明ニドノ新聞ニモ載ッテ
居リマス、ソレニ依ルト、政府ト政友本
黨トノ案ニ一ツノ妥協點ヲ見出シテ、
義務教育費四千萬圓ノ本黨ノ主張ニ對
シテ、政府ハ三千萬圓ヲ出ス、サウシテ
其財源ヲ地租一步減、賣藥等ニ求メテ、
一ツノ案ガ出來上ッテ居ルカノ如ク傳
ヘラレテ居リマスカ、之ガ事實ト致シ
マスレバ、此財源ヲホジクルコトニ依
テ、稅制整理ノ根本ニ對シ、如何ナル影
響ヲ及ボスカト云フコトヲ承ッテ、私ノ
質問ヲ打切りタイト思ヒマス

○三輪委員長代理 大臣以外ニハアリ
マセヌカ

○石坂委員 本員ハモウ同僚ノ方カラ
餘程質問シ盡シテアリマスカ、極ク
簡單ニ、自分ノ腑ニ落チナイ所ダケヲ
伺ヒタイト思ヒマス、賣藥行政ニ付キ
マシテデアリマスカ、之ニ付キマシテ
福井君其他カラモ御聽キニナッテ居リ
マスガ、此廢止ニ付キマシテハ、吾々多
年ノ希望デアリマスノデ、洵ニ吾々ト
シテハ贊同シナケレバナラヌ案デアリ
マスガ、其附則ニアリマス、性効ヲ失シ
タ藥品ニ對スル既貼藥品還付金ノ事デ
アリマスカ、此金額ニ付テ、此前福井甚

○濱口國務大臣 是ハ屢説明ヲ申上ゲ
テ置キマシタ通り、清涼飲料稅課稅ノ
目的ハ二ツアリマス、第一ニハ稅制整
理ニ依ル所ノ歲入ノ缺陷ヲ補ハンガ爲
ト、第二ニハ麥酒ノ增稅ニ對シテ其稅
源ヲ擁護スルガ爲ト、此二ツノ目的ヲ
以テ行ッタ所ノ新稅デアリマス、若シ此
清涼飲料稅ト云フモノガ國民ノ生活ノ
必需品デアルト云フ物デアリマシタナ
ラバ、之ニ對シテ政府ハ相當ノ考慮ヲ
爲ス筈デアリマス、政府ノ信ズル所ニ
依リマスカ、是ハ國民ノ必需品ト云
フ程ノ物デハナカラウ、嗜好品ニ近イ
モノデアアル、斯様ニ考ヘマシテ、相當ノ
課稅ヲ致シマシタ、併ナガラ其稅率ハ
新稅ノコトデモアリマスカ、又其用途
ノ如何ヲモ顧ミマシテ、麥酒カラ比較
シマスト云フト非常ニ廉イ稅ヲ課シマ

○三輪委員長代理 午後ハ一時二十分
ニ開キタイト思ヒマス、懸値ガナイノ
デアリマスカ、左様御承知ヲ願ヒマ

テ見積ッテ居ルノデアリマスカ、併シ是

第五類第一號 所得稅法中改正法律案(政府提出)外二十七件委員會會議錄

第十二回

大正十五年二月十四日

第一五

一五

一五

ハ何レモ補充スルコトニナルト考ヘテ
居ルノデアリマス、若シ餘ルコトガア
リマシタナラバ、ソレニ應ジテ返ス積
リデアリマスガ、元々ハ賣藥紙稅ヲ
貼リマシタ所ノ賣藥ニ對シマシテ戻稅
ヲスルト云フ趣旨ハハナイノデアリマ
ス、是ハ先程モ申シマシタ通り、織物消
費稅等ノ關係モアルノデアリマシテ、
是ハ戻稅ヲ致サナイト云フコトニ致シ
テ居ルノデアリマス、失効賣藥ニ限
シマシテ實際致シテ居リマスモノヲ大
體標準ト致シマシテ、豫算ニ見積ッテ居
ル次第デアリマス

○石坂委員 戻稅デナイコトハ本員モ
能ク解ッテ居ルノデアリマス、私共ハ戻
稅ヲナサルベキモノト思フガ、ソレモ
他ノ稅トノ權衡ガアッテ出來ナイト云
フ思召ノアルコトモ分ッテ居リマス、併
シ本來カラ申シマスルト、織物消費稅、
醬油稅ノ如キ査定シタ後ニ徵稅ヲ致シ
マシテ、サウシテソレガ更ニ廢稅後ニ清
算サルモノト混淆サレル場合ニ於キマ
シテ、如何ニ戻スカト云フヤウナ分ラ
ナイモノト、賣藥ノ如キ確ニ印紙ヲ以
テ納メテ居ルノデアリマスカラ、明瞭
ニ分ルモノト同一ニ取扱ヒニナルト云
フコトハ、頗ル不公平デハナイカト考
ヘマスガ、併シ其點ハ忍ブト致シマシ
テ、從來賣ラナイモノニ對シテ課稅ヲ
スルト云フ性質ヲ失ッテ居ル、廢藥ニ屬
スルモノニ課稅ヲスルノハ宜シクナイ

ト云フノデ、印紙稅ヲ還付シタ、其率ハ
廢稅ニナッテモ其取扱ヲ變更スベキモ
ノデアアルマイ、斯ウ性質論カラ行ク
ノデアリマス、ソレデ唯此間政府ノ御
辯明ニ依レバ、今マデハ印紙ヲ以テ返
シタ、ソレデアルカラ更ニ用キル所ノ
印紙ノソレヲ貼用スレバ宜イノダカ
ラ、政府ニ於テモ還付シタモノガ更ニ
亦租稅ニナッテ返ッテ來ルカラ大シタコ
トハナイ、今回ハ現金デ返スノデア
ル、サウシテ當業者ノ取り得ニナルカラ五
割デモ宜シイト云フ風ナ、漫然ト御計
算ニナッテ居ルヤウデアリマス、ケレド
モ當業者ニ取リマシテハ、從來八割乃
至八割五分ヲ失効賣藥ニ對シテ還付シ
テ貰ッタモノガ、今回ハ五割ニナルト云
フコトニナレバ、矢張從前ノ如ク配置
賣藥ノモノガ各戸ニ配置シテアリマ
ス、其値打ガ違ッテ來ルノデアリマス、
ソレニ此二箇年間ニ於ケル賣藥業者ハ、
此割引サレタ爲ニ非常ナ打撃ヲ受ケル
ト云フコトニナリハシナイカト考ヘマ
ス、賣藥稅廢止ニ付テハ色々異論ノ方
モアリマス、或ハ之ニ依テ廢稅サレテ
モソレダケハ決シテ安クナラヌト云フ
論者モアリマスガ、吾々デハ左様ニ考
ヘテ居ラス、廢止シタト云フコトニナ
ルト大變ニ競争ガ加ッテ來ル、即チ容量
ヲ多クスルトカ、或ハ其他ノ改正ヲス
ルトカ致シマシテ、成ベク得意ヲ多ク
スルト云フヤウナコトヲ考ヘルノデア
リマスカラ、自分ノ商品ヲ高クシテサ

ウシテ人ト競争ガ出來ヌノデアリマ
ス、其點ニ於テハ少シモ心配ハナイノ
デ、當業者ハ何所マデモ改良致シマシ
テ、又其數量モ多クスル、或ハ安クスベ
キモノハ安クスルト云フコトニスレ
バ、減稅サレタヨリ、ヨリ以上價額ノ方
ガ減ッテ行クダラウト考ヘマス、デアリ
マスカラ此免稅サルノヲ以テ立トコロ
ニ當業者ガ一割ダケ高イモノヲ賣ッテ行
クモノダト云フ計算ハ立タヌト思ヒマ
ス、立タヌト思フノデアリマスカラ、從
來ノ如ク失効賣藥ニ對シテハ同ジ取扱
シテヤラナケレバナラヌモノデハナイ
カト考ヘマスガ、其點ニ付テ政府當局
ハ如何ニ御考ニナッテ居ルカ、今一應御
辯明ヲ願ヒタイ、ソレカラ序ニ簡單ナ
コトデアリマスカラ御尋ラ致シタイ、
是ハ過日來大藏大臣ト小川君トノ間ニ
於テ數回意見ノ交換ガアッタコトデア
リマスガ、手續ノ上カラ一應御聽キス
ルノデアリマスガ、ソレハ資本利子稅
ノコトデアリマス、資本利子稅ナルモ
ノヲ御設ケニナッテ居リマスガ、此資本
利子稅ノ稅目——稅ノ科目ト申シマス
モノハ全ク第二種所得稅ニ符合シテ居
ル、唯異ッテ居ルモノハ第三種所得稅ノ
中ノ非營業課稅ト云フモノニ加ッテ居
ル、ソコデ社債公債ニ屬スルモノハ同
ジ場所ニ於テ同ジモノニ拂ハサレテ居
ル、ソレハ唯資本利子稅トシテ取ラナ
ケレバ稅ノ體系ヲナサヌ、斯ウ云フコ
トデアリマスガ、課稅ヲ受ケルモノハ

稅ノ體系ガドウデアラウト、矢張自分
ノ懷ロカラ出スノデアリマスカラ、是
ハ第二種所得稅トシテ取ラレル、此分
ハ資本利子稅トシテ取ル、斯ウ取ルモ
ノハ言譯ヲシテ取ッテモ取ラレルモノ
ハソソナコトハ考ヘテ居ナイ、ソレダ
ケ稅ガ餘計ニナッタト思ッテ居ル位ノモ
ノデアアル、處ガ小川君モ言ハレタ如ク、
第二種所得稅ヲ第三種所得稅ニ綜合ス
ルト云フコトニナリマスナラバ、別
ニ御取リニナルト云フコトハ宜カラウ
ケレドモ、今日ノ如キ狀態ニ於テ更
ニ資本利子稅ヲ取ラレルト云フコトハ、
徒ニ手數ヲ増スバカリデハナイカト考
ヘマス、私共ハ稅ノ徵收法ノ手續ノコ
トカラ申シマスト如何ニモ複雑ナ手數
ニシナケレバナラヌデハナイカト云フ
コトヲ考ヘルノデアリマス、總理大臣
ハ色々ニ稅目ヲ分ケテ取ルガ、要スル
ニ公平ニシテ取漏レノナイヤウニシタ
イト云フノガ主眼デアアル、國稅ト云ヒ、
地方稅ト云ヒ、色々ニ名義ヲ變ヘテモ、
最後ニ於テハ納稅者ニ對シテ負擔ノ均
衡ヲ取ルヤウニスルト云フ御趣意ニ於
テ説明サレテ居リマス、併ナガラ斯ウ
王樣ガ中央ニ居ッテ、金、銀、飛車、角、本
稅カラ補充稅ト隊伍整々トシテ納稅者
ニ向ッテ行クノハ宜イカモ知レマセヌ
ガ、取ラレル方カラ云ヘバ根コソギ取
ラレルノデ、頗ル迷惑千萬、其點ハ取
者ト取ラレル者ト大變違フ點デアリマ
スカラ、出來マスナラバ之ヲ一ツニシ

稅ノ體系ガドウデアラウト、矢張自分
ノ懷ロカラ出スノデアリマスカラ、是
ハ第二種所得稅トシテ取ラレル、此分
ハ資本利子稅トシテ取ル、斯ウ取ルモ
ノハ言譯ヲシテ取ッテモ取ラレルモノ
ハソソナコトハ考ヘテ居ナイ、ソレダ
ケ稅ガ餘計ニナッタト思ッテ居ル位ノモ
ノデアアル、處ガ小川君モ言ハレタ如ク、
第二種所得稅ヲ第三種所得稅ニ綜合ス
ルト云フコトニナリマスナラバ、別
ニ御取リニナルト云フコトハ宜カラウ
ケレドモ、今日ノ如キ狀態ニ於テ更
ニ資本利子稅ヲ取ラレルト云フコトハ、
徒ニ手數ヲ増スバカリデハナイカト考
ヘマス、私共ハ稅ノ徵收法ノ手續ノコ
トカラ申シマスト如何ニモ複雑ナ手數
ニシナケレバナラヌデハナイカト云フ
コトヲ考ヘルノデアリマス、總理大臣
ハ色々ニ稅目ヲ分ケテ取ルガ、要スル
ニ公平ニシテ取漏レノナイヤウニシタ
イト云フノガ主眼デアアル、國稅ト云ヒ、
地方稅ト云ヒ、色々ニ名義ヲ變ヘテモ、
最後ニ於テハ納稅者ニ對シテ負擔ノ均
衡ヲ取ルヤウニスルト云フ御趣意ニ於
テ説明サレテ居リマス、併ナガラ斯ウ
王樣ガ中央ニ居ッテ、金、銀、飛車、角、本
稅カラ補充稅ト隊伍整々トシテ納稅者
ニ向ッテ行クノハ宜イカモ知レマセヌ
ガ、取ラレル方カラ云ヘバ根コソギ取
ラレルノデ、頗ル迷惑千萬、其點ハ取
者ト取ラレル者ト大變違フ點デアリマ
スカラ、出來マスナラバ之ヲ一ツニシ

テ御取リニナル方ガ宜イヤウニ考ヘマ
ス、其點ニ付テ如何ニ御考ニナッテ居リ
マスカ此二ツニ付テ……

○黒田政府委員 賣藥營業稅ノ廢止ニ
伴ヒマシテ、失効賣藥ニ二箇年間五割
ノ交付金ヲ致シマスコトハ、前日申上
ゲタノデアリマスガ、重ネテノ御尋デ
アリマスノデ簡單ニ申上ゲマスルガ、
失効賣藥ニハ從來新印紙ヲ交付致シテ
居リマシタノハ、賣藥ガ失効致シマシ
テ、又ソレヲ廢棄致シテ代リノ賣藥ヲ
出ス、其場合ニ於テ更ニ稅ヲ課スルノ
デアリマスカラ、前ノ賣藥ノ印紙ヲ剝
ガシテ後ニ貼レト云フ趣旨カラ、失効
賣藥ニ付テハ斯ノ如キ勅令ガ設ケラレ
テ居ッタト考ヘルノデアリマス、處ガ其
賣藥稅ガ廢止サレタノデアリマスカラ
ラ、今度ハ新ニ出來マシタ所ノ賣藥ト
云フモノハ最早負擔ヲシナイ、印紙ヲ
貼ラヌコトニナルノデアリマスカラ、
此點カラ申シマスルト、殊ニ失効賣藥
ニ對シテハ返サナイデモ宜イト云フ議
論モ出テ居リマス、併シ實際ニ於テ失
効賣藥ニ對シテハ相當ノ茲ニ經過的ノ
規定ヲスルコトガ至當デアルト考ヘマ
シタノデ、五割ト云フモノニシタノデ
アリマス、此五割ト申シマスモノハ、印
紙デアリマスコトハ、今後用キナイノ
デアリマスカラ、寧ロ現金ノ方ガ便宜
デアラウ、ソコデ現金ナラバ多少之ヲ
割引シテモ宜カラウト云フ點ト、モウ
一ツハ歲出ノ方ノ關係モアルノデアリ

マシテ、其方モ考慮致シマシテ、大體五
割位ノ程度デ宜カラウト云フコトニ決
メタニ過ギナイノデアリマス、ソレカ
ラ資本利子稅ノコトデアリマスガ、資
本利子稅ハ成ベク御意見ノ通り、如何
ニモ二重ノ手數ヲスルヤウデアッテ、煩
雜ノヤウニナルノデアリマス、此點ニ
於テハ御尋ノ通りデアリマスガ、併ナ
ガラ御意見ノ中ニ御述ニナリマシタ通
リ、所得稅ニ對シテ資本利子稅ガ補完
稅ノ作用ヲシテ居ルノデアリマス、所
得稅ト全然同ジニハナッテ居ルガ、性質
ガ違ヒマス、元來ナラバ繰合シテ課稅
スベキモノガ手續上困難ナ爲ニ分ケテ
アルノデアリマスカラ、全然同ジ目的
物ニ對シテ課稅ハサレマスガ、其性質
ガ全然違フノデアリマスカラ之ヲ別個
ノ法律トシテ出スコトガ適當デアルト
考ヘル、手續上煩雜ノヤウデアリマス
ガ、決シテ煩雜デハアリマセヌ、取リマ
ス際ニ唯多ク取ル譯デアリマスカラ、
多少帳簿上ノ區別ヲスルダケノ問題デ
アリマス、納稅者ニ對シテモ複雑ナ手
數ヲ要スルコトデモナイト思ヒマス

○石坂委員 此場合大臣ニ御尋致シマ
ス、只今ノ資本利子稅ニ關聯致シマシ
テ私共考ヘマスニ、今回ノ稅制整理ハ
内地ノ方ヲ先キニセラレテ、植民地ノ
方ハ後廻シニナッテ居リマス、其結果資
本利子稅ノ如キハ植民地ニ掛ケテアリ
マセヌ、サウスルト北海道ノ者ガ樺太
又ハ朝鮮、臺灣ヘ行ッテ資本利子ヲ受取

ルト公然脫稅サレルコトニナル、サウ
云フコトハ減多ニ行ハレヌ、脫稅モ僅
ナモノデアルト御答ニナルカモ知レマ
セヌガ、利札ノ如キハ切ッテ封筒ニ入レ
テ持ッテ行ケバ何枚デモ受取ッテ來ラレ
ル、是等ハ連稅トシテ罰スルコトハ出
來マスマイト思ヒマス、ソレカラ所得
稅ニ對シテハ頗ル不公平ニナッテ居ル、
現ニ朝鮮ノ如キハ第三種所得稅ハ取ッ
テ居リマセヌ、最近取ッテ居ルカモ知レ
マセヌガ、近年マデ取ッテ居ナカッタ、ソ
レカラ臺灣ノ方ハ免稅點ガ千五百圓ニ
ナッテ居リマス、樺太ハ千圓、内地ハ八
百圓デアアル、ソレヲ今度内地法ニ於テ
八百圓ヲ千二百圓、即チ五割引上ゲテ
居リマスカラ、樺太ハ千五百圓位ニシ
ナケレバナラヌ、臺灣ハ二千二百五十
圓ニシナケレバナラヌ、斯ウ云フ點モ
少シモ考慮サレテ居リマセヌ、ソレカ
ラ先日申シマシタ醬油稅ノ如キモ一方
ニハ取リ、一方ニハ取ラヌト云フコト
ニナッテ居ル、内地ガ重ク植民地ノ方ガ
輕イト云フナラ聞エテ居リマスガ、稅
制整理ノ結果非常ニ不適合ニナルトス
レバ、内地ト同様ノ年度ニ於テ整理サ
レルノガ至當デナイカト思フ、大藏大
臣ハ植民地ヲ十六年度ニ整理スルト仰
セラレテ居リマス、所ガ朝鮮ノ方ヲ見
ルト稅制整理ノ爲ニ大仕掛ニ十五萬圓
ノ經費ヲ要求シテ居ラレル、是ハ豫算
會議ノ時ニ質問スル積リデアリマス
ガ、大藏大臣ガ稅制整理ヲスル時ニハ

五萬四千圓位ノ經費デヤッテ居ルノデ
アリマス、然ルニ朝鮮ニ於テハ僅ニ三
千七百萬圓ノ稅制整理ヲスルノニ、十
五萬圓ヲ投ズルコトニナッテ居ル、餘程
細密ニ御ヤリニナル御考デアリマセウ
ガ、左様ナ大キナ計畫デアルトスレバ
一年位デハ出來マイト思フ、サウスル
ト十七年度カ十八年度ニナルト云フコ
トニナル、内地ノ方ハ十七年度カラ地
租ノ徵收ノ方法ヲ賃賃價格ニ依テ課稅
スルコトニナルガ、ソレ迄待ッテナイ
デ、差當リ一分ヲ減ジ、田畑ニ對シテハ
地價二百萬圓マデノモノヲ免稅スルコ
トニナッテ居ルノニ、植民地ノ方ハ或ル
モノハ高クナル、ソレデ後ト一年位遲
ラセテモ宜イト云フコトハ吾ニハ合
點ガ出來ナイノデアリマス、殊ニ其中
デモ最モ吾ニノ腑ニ落チナイコトハ、
稅ヲ重クスル方ハ酒ノ稅ナドニ於テ明
ニ樺太ノ方ニ於テ實行サレテ居リマ
ス、サウナッテ來ルト或ルモノハ矢張内
地ト同様即時御實行ニナッテ居ルヤウ
ニ考ヘル、都合ノ好イ方ハ今年ヤル、都
合ノ惡イ方ハ後廻シト云フコトデハ、
國民ノ一部ニ不公平ナ待遇ヲ與ヘルコ
トニナリハセヌカ、此點ニ付テ御答辯
ヲ願ヒタイノデアリマス

○濱口國務大臣 第一ニ資本利子稅ノ
關係デアリマスガ、是ハ此法律施行地
外ニ於テ支拂ヲ受ケル所ノ資本利子ニ
對シテ稅ヲ取ッテモ宜イノデアリマス
ガ、例ヘバ朝鮮ニ於テ支拂ヲ受ケル資

本利子ニ對シテ稅ヲ取ルコトニナリマ
スレバ、其他ニモ之ヲ適用シナケレバ
ナラス、或ハ外國ニマデモ及ボスカモ
知レヌ、サウ云フ點カラ考ヘテ兎ニ角
此際ハ本法施行地ニ於テ支拂ヲ受ケル
者ニ止メル主義デアリマスカラ、朝鮮
デハ之ヲ免レルト云フコトハ已ムヲ得
ナイ結果デアルト考ヘマス、若シ將來
之ヲ惡用シテ脫稅ガ盛ニ行ハレル場合
ニ於テハ、又別ニ考ヘナケレバナラス
ト思ヒマス、第二ニ植民地ノ稅制整理
ノコトデアリマスガ、是ハ本會議ニ於
テモ申シマシタ通り、成ベク十五年度
カラ整理ヲ行ヒタカッタノデアリマス
ガ、御承知ノ通り植民地ノ稅制ハ大分
内地ト事情ヲ異ニシテ居リマスシ、殊
ニ朝鮮ハ財政ノ關係上同時ニ整理スル
コトハ困難ナ事情ガアリマス、殊ニ朝
鮮ノ織物ニ對スル輸入稅、綿織物ニシ
テモ此輸入稅ヲ廢シマス、年二百萬
圓バカリノ歲入ノ缺陷ガ生ジマス、十
五年度ニ於テソレダケ歲入ガ減少スル
ト云フコトハ、朝鮮ノ財政上甚ダ困難
ナ事情ガアル、旁々致シマシテ總テ植
民地ノ稅制整理ハ一年延シテ十六年度
ニ於テ之ヲ實行シャウト云フコトニ致
シタ譯デアリマス、樺太ニ於テ酒稅ヲ
上ゲマシタコトハ、是ハ此度ノ稅制ト
ハ關係無イコトデアリマス、内地整理
計畫ヲスル前カラ樺太ノ財政上必要ナ
手段トシテ、酒稅ヲ上ケル考ヲ持ッテ居
リマシタノデ、内地ノ稅制整理ノ一部

ヲ樺太ニ於テ行ッタ譯デアアリマセヌ、
其他大分内地トノ關係ニ於テ不揃ニ
ナッテ居ル所モアラウト考ヘマスガ、是
ハ明年度ニ於テ適當ノ整理ヲ致シタイ
ト思ッテ居リマス

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

今少シ其方針ガ確然トシテ居ッタモノ
デハナカラウカ、若シサウデナクッテ途
中デ止メヤウト思ッテ居ッタノデアアルケ
レドモ、餘リヤカマシイコトヲ言ッタカ
ラ元ノ通りニシタト云フコトデアアルナ
ラバ、是ハ甚ダ無定見ナ話デナイカト
思ヒマス、其點ヲ今一遍御説明ヲ願ヒ
タイノト、尙ホ此場合大藏大臣ニ伺ヒ
タイノハ、昨日撤廢セラレタ案ニ付テ
ハ確ニ手違デアッタト云フコトヲ申サ
レマシタ、其手違ト云フコトノ責ハ誰
ガ負フノデアアルカ、此場合大藏大臣ニ
御聽キシテ置キタイ

○濱口國務大臣 樺太ノ醬油稅ノコト
ニ付キマシテハ昨日説明ヲ申上ゲタ通
リデアリマス、是ハ樺太ノ稅制全體ニ
付テ能ク調査ノ上デ大正十六年度ヨリ
施行スル、斯ウ云フ方針ヲ持ッテ居ッ
タノデアリマス、其中醬油稅ノ調ベダケ
ガ先ヘ出來上ッタノデアリマスガ、併シ
ソレハ他ノモノトノ關係上——權衡上
十五年度カラ施行スルト云フコトハシ
ナイト云フ積リデ居ッタノデアリマス、
ソレガ手違ノ爲ニ提案ヲサレマシタ、
仍テ豫算ニハ醬油稅ノ收入ガアル如ク
ニ計上ヲ致シテ居ルガ、法律案ハ之ヲ
廢止スルコトニナッテ居リマス、ソレハ
即チ手違ノ致ス所デアッテ、提案スベカ
ラザルモノヲ提案シタト云フコトニナ
リマス、其手違ノ責任ハ内部ニ於キマ
シテハ政府ノ色ミノ關係モアリマス、
議會ニ對スル責任ト致シマシテハ政府

ヲ樺太ニ於テ行ッタ譯デアアリマセヌ、
其他大分内地トノ關係ニ於テ不揃ニ
ナッテ居ル所モアラウト考ヘマスガ、是
ハ明年度ニ於テ適當ノ整理ヲ致シタイ
ト思ッテ居リマス

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

今少シ其方針ガ確然トシテ居ッタモノ
デハナカラウカ、若シサウデナクッテ途
中デ止メヤウト思ッテ居ッタノデアアルケ
レドモ、餘リヤカマシイコトヲ言ッタカ
ラ元ノ通りニシタト云フコトデアアルナ
ラバ、是ハ甚ダ無定見ナ話デナイカト
思ヒマス、其點ヲ今一遍御説明ヲ願ヒ
タイノト、尙ホ此場合大藏大臣ニ伺ヒ
タイノハ、昨日撤廢セラレタ案ニ付テ
ハ確ニ手違デアッタト云フコトヲ申サ
レマシタ、其手違ト云フコトノ責ハ誰
ガ負フノデアアルカ、此場合大藏大臣ニ
御聽キシテ置キタイ

○石坂委員 只今ノ御説明デハ私ノ疑
ヲマダ解クコトハ出來マセヌノデアリ
マス、ソレデ殖民地ノ方ノ事ハ不揃ニ
ナッテ居ルカラ暫ク後ト云フコトデア
リマスルガ、昨日問題ニナリマシタ醬
油稅等ニ付キマシテモ、實ハ樺太ニ於
キマシテハ醬油釀造業者ト云フモノハ
至ッテ少ナカッタノデアリマス、漸ク大
正十年頃カラ課稅シ得ル狀態ニ這入ッ
タノデアリマス、中々此釀造業ナドト
云フモノハ仕事ヲ始メテ營業ニナルマ
デト云フモノハ相當ノ歲月ヲ要スルモ
ノデアアル、總テ他ノ仕事モ左様デアリ
マスルガ、殊ニ醬油ナドハ產物ガ出ル、
ソレヲ又販路ト云フモノヲ拵ヘル、販
賣スル者ト釀造スル者トシツクリ其所
ニ合ッテ來ルト云フコトニナリマスノ
ニハ、矢張相當ノ歲月ガ要ルノデアリ
マス、漸ク十年頃カラ課稅スルコトニ
ナリマシテ、内地ヨリ一圓五錢ノ開キ
ヲ取ッテ、内地ガ一圓七十五錢ノ時ニ七
十錢ノ課稅ヲシテ居ッタ、ソレガ内地ノ
方ハ課稅ガナイ、向フデハ課稅サレル
ト云フコトニナルト、向フノ釀造業者
ハ潰レテシマフノデアリマス、向フノ
釀造業者ガ潰レテシマウト云フト、内
地ノ方ハ今度ハ醬油ヲ造ルト云フモノ

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

今少シ其方針ガ確然トシテ居ッタモノ
デハナカラウカ、若シサウデナクッテ途
中デ止メヤウト思ッテ居ッタノデアアルケ
レドモ、餘リヤカマシイコトヲ言ッタカ
ラ元ノ通りニシタト云フコトデアアルナ
ラバ、是ハ甚ダ無定見ナ話デナイカト
思ヒマス、其點ヲ今一遍御説明ヲ願ヒ
タイノト、尙ホ此場合大藏大臣ニ伺ヒ
タイノハ、昨日撤廢セラレタ案ニ付テ
ハ確ニ手違デアッタト云フコトヲ申サ
レマシタ、其手違ト云フコトノ責ハ誰
ガ負フノデアアルカ、此場合大藏大臣ニ
御聽キシテ置キタイ

○濱口國務大臣 樺太ノ醬油稅ノコト
ニ付キマシテハ昨日説明ヲ申上ゲタ通
リデアリマス、是ハ樺太ノ稅制全體ニ
付テ能ク調査ノ上デ大正十六年度ヨリ
施行スル、斯ウ云フ方針ヲ持ッテ居ッ
タノデアリマス、其中醬油稅ノ調ベダケ
ガ先ヘ出來上ッタノデアリマスガ、併シ
ソレハ他ノモノトノ關係上——權衡上
十五年度カラ施行スルト云フコトハシ
ナイト云フ積リデ居ッタノデアリマス、
ソレガ手違ノ爲ニ提案ヲサレマシタ、
仍テ豫算ニハ醬油稅ノ收入ガアル如ク
ニ計上ヲ致シテ居ルガ、法律案ハ之ヲ
廢止スルコトニナッテ居リマス、ソレハ
即チ手違ノ致ス所デアッテ、提案スベカ
ラザルモノヲ提案シタト云フコトニナ
リマス、其手違ノ責任ハ内部ニ於キマ
シテハ政府ノ色ミノ關係モアリマス、
議會ニ對スル責任ト致シマシテハ政府

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

今少シ其方針ガ確然トシテ居ッタモノ
デハナカラウカ、若シサウデナクッテ途
中デ止メヤウト思ッテ居ッタノデアアルケ
レドモ、餘リヤカマシイコトヲ言ッタカ
ラ元ノ通りニシタト云フコトデアアルナ
ラバ、是ハ甚ダ無定見ナ話デナイカト
思ヒマス、其點ヲ今一遍御説明ヲ願ヒ
タイノト、尙ホ此場合大藏大臣ニ伺ヒ
タイノハ、昨日撤廢セラレタ案ニ付テ
ハ確ニ手違デアッタト云フコトヲ申サ
レマシタ、其手違ト云フコトノ責ハ誰
ガ負フノデアアルカ、此場合大藏大臣ニ
御聽キシテ置キタイ

○濱口國務大臣 樺太ノ醬油稅ノコト
ニ付キマシテハ昨日説明ヲ申上ゲタ通
リデアリマス、是ハ樺太ノ稅制全體ニ
付テ能ク調査ノ上デ大正十六年度ヨリ
施行スル、斯ウ云フ方針ヲ持ッテ居ッ
タノデアリマス、其中醬油稅ノ調ベダケ
ガ先ヘ出來上ッタノデアリマスガ、併シ
ソレハ他ノモノトノ關係上——權衡上
十五年度カラ施行スルト云フコトハシ
ナイト云フ積リデ居ッタノデアリマス、
ソレガ手違ノ爲ニ提案ヲサレマシタ、
仍テ豫算ニハ醬油稅ノ收入ガアル如ク
ニ計上ヲ致シテ居ルガ、法律案ハ之ヲ
廢止スルコトニナッテ居リマス、ソレハ
即チ手違ノ致ス所デアッテ、提案スベカ
ラザルモノヲ提案シタト云フコトニナ
リマス、其手違ノ責任ハ内部ニ於キマ
シテハ政府ノ色ミノ關係モアリマス、
議會ニ對スル責任ト致シマシテハ政府

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

ハナイノデアルカラ、高イ物ヲ賣ルト
斯ウ云フコトニナルノデアリマス、是
等ノ關係ハ御考ニナラスノデアリマセ
ウカ、少シハ當業者ノ身ニナッテヤラス
ト分ラヌコトデアアル、ソレデ官廳ノ稅
ヲ取ッテ居ル者ハ机上ニ於テ拵ヘマシ
テモ、其課稅ヲ受ケル者ニハ非常ナ迷
惑ヲ受クルコトニナリマス、私ハ斯様
ナコトハ、延期スルトカドウスルトカ
云フコトハ、非常ニ不親切デハナイカ
ト考ヘルノデアリマス、殊ニ昨日ノ御
辯明ニ依リマス、其稅ハ取ルコトニ
決ッテ居ッタノヤラ、又取ラスコトニナッ
テ居ッタノカ、一向其點ニ於テハ不明瞭
デアアル、何ダカ取ルコトニシテモ宜イ、
取ラスコトニシテ見ルヤウニモアル、
至ッテ不明デアアル、ソレデ其點ニ付テ餘
リ管メシク申スコトモ要リマセヌケレ
ドモ、サウ云フコトガ確ニ十六年度ニ
ヤルト云フ始カラノ計畫デアッタノカ、
又中途デソレヲ御廢メニナッタノデア
ルカト云フヤウニ考ヘラレル、デ所得
稅ノ如キハ豫算デ現在ノ課稅通りニヤ
ルコトニシテ置イテモ、是ハ臺灣ノ律
令デアルトカ、町村其他樺太ナドハ命
令デ出來ルノデアルカラシテ、豫算ニ
決メテ置イタケレドモ、後デ命令デソ
レヲ變更シテ實施サルト云フヤウニ
モ取レル、此點ハ一向明瞭ヲ缺イテ居
リマスカラ、大藏大臣ノ今仰セラレル
通り、始カラ大正十六年度ニヤルト云
フヤウナコトニナッテ居ッタノナラバ、

今少シ其方針ガ確然トシテ居ッタモノ
デハナカラウカ、若シサウデナクッテ途
中デ止メヤウト思ッテ居ッタノデアアルケ
レドモ、餘リヤカマシイコトヲ言ッタカ
ラ元ノ通りニシタト云フコトデアアルナ
ラバ、是ハ甚ダ無定見ナ話デナイカト
思ヒマス、其點ヲ今一遍御説明ヲ願ヒ
タイノト、尙ホ此場合大藏大臣ニ伺ヒ
タイノハ、昨日撤廢セラレタ案ニ付テ
ハ確ニ手違デアッタト云フコトヲ申サ
レマシタ、其手違ト云フコトノ責ハ誰
ガ負フノデアアルカ、此場合大藏大臣ニ
御聽キシテ置キタイ

全體ガ之ヲ負フ譯デアリマス

○石坂委員 只今ノ其御説明デ私其點ニ付テハ便宜上質問ヲ別ナ機會ニ讓リマシテ、此場合之ヲ止メマスガ、ソコデ私地方税ニ付テ一言聽イテ置キタイ、地方税ニ付キマシテハ先般來赤間君カラモ餘程綿密ニ御聞キニナリマシテ、又政府ノ方カラモ根強キ御説明ヲシテ居リマスルガ、今少シ伺ヒタイコトハ、家屋税ヲ新設爲サツタ、此家屋税ナルモノハ府縣稅ノ戶數割四千五百萬乃至五千萬ノ肩代リニナルデアリマス、ソコデ其戶數割ノ四千五百萬乃至五千萬ノ肩代リニナルノデ、サウシテ家屋割ノ方ニ於テハ、三千萬、所得稅割ノ方ニ於テハ二千萬バカリ取ルト云フコトニナルデアリマスケレドモ、家屋税ノ賃賃價格ヲ定メルニ當リマシテハ、各縣ニ於テ別ニ行フデアリマスルカラ、政府全體トシテ三千萬圓ノ課稅標準ニナルト云フコトニ、之ヲ抑ヘテ行カレルコトハ私ハ頗ル困難デハナイカ、サウシマスルト課稅標準ノ賃賃價格ヲ全部纏メテ見タ時ニ、茲ニ三十億トカ五十億トカ云フコトノ政府ノ豫想以上ニナリマシタ時ニハ、之ヲ査定スルコトハ頗ル困難ナ問題デアル、是ニ於テ政府ニ於テ三千萬圓ト云フ豫想ヲセラレテ居リテモ、實際ノ結果ハ是ハ五千萬圓ニナルカモ知レヌ、斯様ナ疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ此戶數割ト家屋割ト云フモノヲ兩

方配置セラレルト云フコトハ、確ニ地方税ニ對スル一種ノ増稅ノヤウニ考ヘマスルガ、其點ハ如何デアリマセウカ、ソレカラ今一ツ雜種稅ノ關係デス、他ノ稅モ色々アリマスガ、皆是ハ御聞キニナッテ居リマス、雜種稅ニ付キマシテハ是ハ過日村上君カラモ御聞キニナリマシタ、其際ニ御述ニナッテ居リマスルガ、尙ホ私ノ方デ腑ニ落チヌコトガアル、ソレハ如何ニモ今回ノ整理ニハ雜種稅ヲ極メテ輕ンジテ居ラレルヤウナ傾ガアリマス、然ルニ地方税ニ於キマシテ、大正三年ヲ基準ニ取ッテ見マスルト云フト、雜種稅位ニ非常ナ率ヲ以テ膨脹シテ居ルモノハナイノデアリマス、殊ニ市町村——町村ノ附加稅ノ如キハ、六十三割カラノ増額ヲ來シテ居ル、増稅ニナッテ居ルノデアアル、町村稅ガ正三年ヲ基本ト致シマスルト、全體ニ於テ三十割ノ増加デアリマス、雜種稅附加稅ハ六十三割殖エテ居リマス、斯様ニ増加シテ居ルモノハ殆ド他ニ無イノデアリマス、此雜種稅ノ詰リ調節ト申シマセウカ、制限ト申シマセウカ、此負擔ヲ成ベク増大ニシナイト云フコトガ最モ必要デハナイカト考ヘマスルガ、政府ニ於カレマシテハ此雜種稅ニ付テ一切課目ノ如キモノヲ勅令ニ讓ッテシマツテ、法律ノ上デハ御構ナシニナッテ居ル、所デ今回御出シニナッテ附則ノ第二項ニ於キマシテ、十三年ノ第十六號布告、第十七號布告ト云フモノヲ

廢止セラレタ、此兩布告ハ我ガ地方稅制度ニ於テ地方ノ財政ノ上ニ非常ニ大ナル功勞ノアル布告デアツテ、此古色蒼然タル布告ト云フモノハ今ヤ全ク其影ヲ失フコトニナルノデアアル、所デ此雜種稅ノ課目ナルモノハ極メテマバラナモノデアアルガ、此第十七號布告ニ於テ大體其課目ト云フモノハ決ッテ居ッタ、所ガ今回全部ソレヲ廢止ニナッテ、勅令ニ御讓リニナルト云フコトデアアルガ、其勅令案ニハドウ云フ課目ニ於テ取ラレルノデアアルカ、腹案ガアツタラ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ營業稅ニ移スモノモアリマスルガ、何故斯様ナコトヲ申スカト云フト政府ノ課目ノ選定方ガ、頗ル杜撰ノヤウニ考ヘルノデ、雜種稅ノ中カラ營業稅ニ移スモノノ中ニハ理髮人稅ノ如キモノガ這入ッテ居ル、營業稅ト云フモノハ、政府ノ御主張ニナル所ノ營業收益稅ノ課目ニ相當スルコトニナッテ居リマス、サウスルト、此營業稅ノ稅目ノ中ニハ理髮人ナドハ入レルモ、デハナイト思フ、即チ理髮人ノ如キハ一種ノ技術デアツテ、斯様ナモノハ營業稅トナルベキモノデハナカラウト思フ、又調ベレバ其他ニモ二三點アルヤウデアリマスガ、斯様ナ譯デ政府ガ御調ベニナッテ居ル中ニモ、吾々ノ全ク信賴スルコトノ出來ナイモノモアルガ、而モ全部之ヲ勅令ニ委任スルト云フコトニナッテ居リマス、斯様ナ譯デアツテ、サウ云フモノハ立法府ニ於テハ

目ヲ通サスデモ宜カラウ、サウ云フコトハ一切此方デ心配シテヤルト云フヤウナコトデアアルガ、吾々ハ此點ニ多少ノ不安ガアル、仍テ雜種稅ノ如キハ如何ナル課目ノモノヲ設ケントセラレルノデアアルカ、此課稅標準及制限額モドノ程度ニセラレルノデアアルカ、ソレヲ承リタイガ爲ニ、勅令案ガゴザイマシタナラバ御廻シテ願ヒタイ

○田中政府委員 家屋稅ノ總體ノ額ニ付キマシテ、總計表ニ現シテ居リマスルノハ三千萬圓ニナッテ居リマスルガ、三千萬圓ノ程度デハナイト云フヤウナ場合ガ生ジハセスカト云フヤウナ疑デゴザイマスルガ、普通ハ御承知ノ如ク、家屋稅ヲ新設致シマシテ、又所得稅ノ附加ヲ増率致シマシテ、ソレニ依テ得タル所ノ財源ヲ以テ戶數割ガ廢止ニナルト云フ結果ニナルノデゴザイマス、而シテ所得稅附加稅ヲ二十四錢マデ上ゲルコトニ致シテアリマス結果、ソレニ依テ得タル所ノ府縣ノ收入ヲ見マスルト二千二百萬圓ニナッテ居リマシテ、殘リガ三千萬圓ニナッテ居ルノデゴザイマス、而シテ現在ノ各府縣ヲ見マスルト、何レモ國稅附加稅ヲ取りマサル場合ニ於テハ、大體ニ於テ其制限ヲ許シマシタ時ニハ其制限一杯ニ取ルコトニ致シテ居リマス、故ニ私共ニ於キマシテハ此法律改正ノ結果、府縣ニ於テハ所得稅ヲ二十四錢マデ一應取ルモノト認メマス、而シテソレヲ取ルモ

ノトシテ見ル場合ニ於テハ、此家屋稅ノ額ハ三千萬圓程度ニ止マリマスカラ、左様ナ推測ヲ致シタ次第デアリマシテ、又監督ノ上カラ申シマシテモ、家屋稅ノ附加額ニ付キマシテハ、一々内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ受ケサスコトニナツテ居リマスカラ、或ハ所得稅ノ率ガ一變致シマシテ、家屋稅ニ非常ナ大キナ額ヲ負擔サスト云フヤウナ場合ニ於テハ之ヲ取締リマシテ、三千萬圓程度ニ止メル考ヲ持ツテ居リマス、次ニ雜種稅ニ付キマシテハ、只今御意見モゴザイマシタガ、雜種稅ハ必シモ總テ惡稅ナリト云フ譯ニハ參リマセヌ、雜種稅ノ中ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク奢侈稅ニ屬スルモノガ澤山アリマスノデ、雜種稅全體ガ惡稅ナリトハ申兼ネルノデアリマス、而シテ其附加稅ニ付キマシテハ、今回勅令ニ於テ相當ノ制限ヲ設ケルコトデアリマスカラ、御話ノヤウナ御心配ハ將來ナクナルコトト考ヘラレマス、又其課目ニ付キマシテハ、地方稅規則ヲ廢シタコトヲ御非難ノヤウデアリマスルガ、現在ノ地方稅規則ハ勅令ヲ以テ改廢シ得ルコトニナツテ居リマシテ、故ラニ今度法律ヲ以テ之ヲ勅令ニ委ネタノデハナイノデアリマス、其課目ニ付キマシテハ大體勅令ヲ定ツテ居リマスルガ、全國各府縣ニ付テ同ジ課目ノ雜種稅ヲ取ルト云フコトモ如何ト考ヘマスルノデ、大體各府縣ニ於テ取ルベキヤウナ課目ハ殆ド總テ

一應舉ゲテ、然ル後ニ特ニ許可ヲ得テ、矢張内藏兩大臣ノ許可ヲ得マシテ、課目ヲ増設シ得ルト云フヤウナ仕組ニ實ハナツテ居ルノデゴザイマス、ソレカラ理髮人等ニ付テ御疑ガゴザイマシタガ、是ハ實ハ明治十一年初メテ地方稅規則ガ出來タ當時ニ於ケル立法上ノ沿革ニ基キマシテ、是等ノ稅ヲ營業稅ノ方ニ繰入レナイデ居ッタノデアリマスルガ、吾々共ニ於キマシテハ、此種ノモノヲ以テ營業稅ト見テ適當ナリト考ヘマシテ、營業稅ノ中ニ入レルコトニ致シテアリマス、勅令ニ付キマシテハ出來テハ居リマスケレドモ、尙ホ能ク此方デ相談ヲ致シマシテ、御示シヲ致スコトガ出來ルナラバ御示シヲ致スコトニ致シマス

○石坂委員 只今御説明ヲ得マシタガ、私ハ雜種稅悉ク惡稅ト云フコトハ決シテ申シテ居リマセヌ、唯雜種稅ノ取方ガ制限ノ設ケラレテナカッタガ爲ニ、非常ナ勢デ負擔ノ増加ヲ來シテ居ル、故ニ之ニ付テハドノ程度デ制限ヲ設ケラレルノデアアルカ、又其課目ニ付テモ實際ナク課目ヲ増設スルト云フコトモ宜シクナイコトデアアルカラ、之ヲ勅令ニ於テ委ネテ居ルト云フコトハ餘リ大難把ナ遣方ノヤウニ思ハレルカラ、若シ勅令ノ腹案ガアルナラバ、ソレヲ御示シヲ願ヘバ、又ソレニ對シテ意見ヲ申述ベテ見タイ、斯様ナ見地カラ申述ベタノデアリマス、ソレカラ尙ホ

雜種稅ノ中カラ營業稅ニ移スベキモノニ付テモ餘程吾々ノ考ニ違ッタコトモアリマスノデ、左様ナ見地カラシテ實ハ勅令ノ案ヲ拜見サシテ戴キタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ打切ッテ置キマス

○田中政府委員 雜種稅ノ附加稅ニ關シマシテハ相當ニ制限ヲ設ケ得ルト考ヘテ居リマス、ソレカラ勅令ヲ以テ改定シ得ルコトハ現在ノ立法ニ於テモ雜種稅ノ課目ニ於テ勅令ヲ以テ地方稅規則ヲ改廢スルコトガ出來マス結果、出來ルヤウニナツテ居ルノデゴザイマス、唯其事ヲ更ニ地方稅ニ關スル法律案ノ中ニ明ニ書キマシタダケデアリマス、尙ホ勅令案ニ付キマシテハ能ク上司ト相談ノ上ニ御示シガ出來レバ御示シ致シマス

○三輪委員長代理 諸君、幸ニ元田委員長ガ御出席ニナリマシタカラ此場合ニ御紹介致シマス

(三輪委員長代理委員長席ヲ退キ元田委員長代理著席)

○元田委員長 諸君一寸一言此席ニ於テ申述ベタウゴザイマスルガ、大切ナル稅制整理ニ關スル二十八件ノ委員會ヲ續行致シツツアル間ニ少シ發熱致シマシテ、玆數日缺席スルコトニナリマシテ、洵ニ諸君ニ對シマシテ申譯ナイ次第デアリマス、本日モマダ十分デゴザイマセヌガ、段々ニ日子ハ迫ッテ來ルシ、殊ニ今朝ハ大藏大臣ガ病氣ハドウ

云フ鹽梅カト云フ御尋ヲ被ッタヤウナ次第デアリマスシ、決シテサボッテ居ル考ハナイノデアリマスケレドモ、其結果ハ矢張委員會ニ私ガ數日間出ナイト云フコトニナリマスノデ不本意千萬デアリマス、ソレ故ニ今日ハ出マシテゴザイマス、併シマダ十分ト申ス譯デハゴザイマセヌカラシテ、此進行ニ付キマシテハ最早質問モ重ナッタコトデゴザイマスカラシテ、又ソレニ關聯シタ豫算審議ノ結了スルノモ遠カラヌコト存ジマスノデ、追々ニ二十八件ノ何レカニ歸着致シマスカ、最善ノ方法ヲ講ジテ當委員會ノ結果ヲ見ルヤウニ致シタイ積リデアリマス、ソレニ付キマシテ限ナキ質問モ連モ行ハレヌコトデアリマセウカラシテ、私ハ夜掛ケテモ平生ナラヤルノデアリマスガ、今日ハ少シ出來兼マスカラシテ、今日モマダ質問ヲ續ケル趣キニ承ッテ居リマスカラ、ドウゾ理事ノ御方ニ御願ニナラウシテ、十二時ニナラウガ、夜明ニナラウガ、私ハ其事ハ一向構ハヌノデスガ、サウシテ或ル程度ニ於テドウカ審查ノ運ビニナルヤウニ致シタイト考ヘマス、是マデノ缺席ヲ致シテ居ッタ事ニ對スル御挨拶ト希望ヲ述ベマシテ、暫ク此椅子ニ着クコトニ致シマス(拍手)

○山田委員 私ノ御尋申上ゲタイ事ハ、主トシテ政友會ノ地租委讓ニ直接若クハ間接ニ關係シタモノデアアルノデアリマス、既ニ質問應答ヲ重ヌル事十

一日、大抵ノ事柄ニ付テハ最早質疑モ御答モ濟ンデ居ルヤウニ思フノデゴザイマスカラ、私ノ御尋ヲ致スコトニハ或ハ一部又ハソコトヲ聽クカ、ト御立腹遊バヌヤウナコトガアルカモ存ジマセヌガ、私ハ大體質問ハ最早終ラ告グヤウトシテ居ル今日デアリマスカラ、今マデノ御答ニ付テ私共ノ頭ニ幾度カ御答ヲ戴キマシテモ、マダシツクリト這入ッテ居リマセヌ事柄ニ付テ極メテ簡潔ニ御尋致シマスカラ、ドウゾ簡潔ナル御答辯ヲ願ヒタイト存ジマス、第一ニ御尋シマスルコトハ、是ハ實ハ皆様ノ御笑ニナルヤウナ質問デアルト存ジマスガ、御互ニ考方ガ根本ニ於テ違ッテ居ルト云フコトハ、審議ノ上ニ極メテ不便デアリ、又違ッテ居ル考方ヲ正當ニ解釋シナイト云フコトハ、審議上ノ便利ヲ缺クコトト存ジマスカラ、又ソコトカト思召スガ如キコトデハゴザイマスルガ、出來マスルコトナラバ是亦簡潔ニ御答ガ願ヒタウゴザイマス、政友會ニ於カレマシテハ此度政府ノ提案ニ掛リマス地租所得稅ノ免稅並ニ營業收益稅ノ免稅、乃至其引上及消費稅ノ廢減稅等ニ對シマシテ、是ハ社會政策の意義ヲ備フルモノナル御觀察ニナッテ居ラレマスカ、社會的政策ノ意味ヲ備ヘテ居ルモノデアルト御覽ニナッテキラシヤルモノデゴザイマセウカ、先ヅ其一問ヲ發シマシテ、願ヒ得ルナラバ御答ヲ戴キタイト思ヒマス

○三土委員 政府ノ國稅ニ對スル整理ノ方針トシテ、社會政策ノ方針ヲ一ツノ稅制整理ノ方針ニ加ヘラレタコトハ確ニ認メマスガ、併シ其結果ニ於キマシテハ年來ノ政府ノ御趣旨ト反スルモノガ澤山アルト思ヒマス、即チ社會政策ト申スト云フト、租稅上カラ見レバ擔稅力ノ多イ所ニ多ク掛ケテ、擔稅力ノ弱イ所ニ少ク掛ケルト云フコトハ、租稅政策上ニ於ケル社會政策デアリマスカ、今回ノ政府ノ御提案ヲ細ク吟味致シマス、寧ろ減稅サレル方ハ主トシテ有產階級デアリマシテ、常ニ中産階級、無產階級、下ニ降ルニ從ッテ減稅ガ却テ增稅ニナッテ居ルヤウデアリマスカ、御趣旨ハ社會政策ニ副フカモ知レマセヌガ、結果ニ於テハ社會政策ニ副ハスコトガ多クアルコトヲ私ハ遺憾ニ存ジマス

○山田委員 只今ノ御答ハ私が質問申シタコトト少シ的ガ外レテ居ルカト存ジマス、今回ノ稅制整理ノ種々ナル事柄ヲ想像シテ御研究ニナリマシタナラバ、私ハサウ思ヒマセヌケレドモ、政友會ノ方デハ左様ナ御結論ガ出ルカモ知レマセヌ、併シ私ハサウ云フコトヲ御尋シタノデハナク、地租二百圓以下ニ免稅、是ハ社會政策ノ意義ニ適フモノト云フ御肯定ナサルノデアアルカドウカ、所得稅ノ八百圓ノ免稅點ヲ千二百圓ニ引上ゲルト云フコトツレ自身ガ、社會政策ノ意義ニ反スルヤ、若クハ適フ

ヤ、其何レニ御觀察ヲナサツテ居ラシヤルカ、通行稅ノ廢止ハドウ御考ニナルカ、又醬油稅ノ廢止モ是ハ社會政策ニ適フモノト御考デアアルカ、乃至ハ適ハナイモノト御考ニナルカ、斯ウ云フコトデアアルノデアリマス

○三土委員 廢減稅ニ屬シマスルモノハ大體ニ於テ社會政策ノ趣旨ニ適フテ居ルト思ヒマス

○山田委員 次ニ洵ニ如何ナル質問ト御笑ニナル節ガアルカモ存ジマセヌガ、酒ノ稅率ノ引上、煙草ノ値上ハ既ニ致シタノデアリマスカ、此兩種目ハ嗜好品デアルト云フコトヲ御確認遊バスノデゴザイマセウカ、如何デゴザイマセウカ、簡單ナ質問デゴザイマスカラ「イエス」「ノー」ダケノ御返答ヲ願ヒマス

○三土委員 是ハ理窟カラ申セバ嗜好品デアリマス

○武藤委員 只今山田君カラ吾々政友會ニ向ッテ御質問ガアリマシタガ、吾々政友會ハ市町村稅地租法案ニ付テ、又施行法ニ付テモ提案ノ質問ニ答ヘル責任ガアルト思ヒマス、マダ大分質問者モ殘ッテ居リマスノニ、政府案ニ付テ政友會ノ意見ヲ求ムルト云フコトハ、討論ニ等シクナッテ來マスカラ、討論ノ場合ニハ意見ヲ交換スルコトハ宜シイガ

政友會提出ノ案ダケノ御質問ナレバ宜シカラウト思フガ、斯ウ云フ造方デハ議事ノ進行ニ支障ヲ生ズルト思ヒマスカラ、委員長ニ御參考マデニ、御注意下サルヤウニ願ヒタイ

○元田委員長 只今ノ武藤君ノ御注意ハ地方稅ノ質問中デアアルノニ、横合カラ政友會ノ提案ニ……

○武藤委員 サウデハナイ、政友會ノ提案ニ對スル御質問ナレバ答ヘテ宜シイガ、政府案ニ付テ政友會ハドウ云フ考ヲ持ッテ居ルカト云フ質問ハ、此場合ニ御遠慮ヲ願ヒタイ、其方ガ議事ノ進行ニナリマス

○山田委員 能ク分リマシタ、御尤ト思ヒマス、故ニ私ハ若シ御答ヲ願ヘルナラバト御遠慮申シテ居ル、幸ニ三土君ノ御答辯ニ依テ二枚ノ確ナル手形ヲ戴イタコトヲ感謝致シマス、次ニ今度ハ地租委讓案ニ對シテ御尋ヲ申上ゲタイト思ヒマス、是モ度々繰返シテ私共ノ同僚ヨリ質問ヲ申上ゲタコトデアリマスカラ、又カト云フ御叱リガアルカモ知レマセヌガ、地租委讓ノ財源ヲ一通リ簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ、ト申シマスノハ、甚ダ御無禮ナ申方デアアルカモ知レマセヌガ、或時ハ公債ニ依テモ宜イト云フ御言葉ヲ御發シマシタコトモアリ、又其財源ノ中ニハ稅制、行政、財政ノ整理ニ依テ餘シ得タ金ヲ十八年度以後ハ之ニ振向ケルコトガ出來ルカト云フ御話モアリマシタ、或ハ先日誰カノ質問ノ中ニ、政府案ヲ全部否決シテシマヘバ七千四百萬位ノ金ハ出ルデハナイカト云フ御言葉モアッタ

ノデアリマスガ、何レデモ宜シウゴザ
イマスガ、單純ニ是ダケノモノヲ以テ
財源ニ充テ、其財源ヲ豫想シ得ルガ故
ニ、此案ヲ出シテ中央ノ歳入ニ缺陷ガ
生ジナイ見込デアルト云フコトノ御釋
明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○三土委員 只今仰シヤッタコトハ全
部誤解デアリマス、左様ナコトヲ申上
ゲタコトハアリマセヌ、ソレカラ財源
ニ付キマシテハ屢御質問ガアリマシ
テ、私ハ決シテ御答ヲスルノヲ否ムノ
デハアリマセヌガ——委員長ニ御斷リ
致シテ置キマスガ、開會以來屢私ハ御
答シテ居ルノデアリマスカラ、サウ云
フコトヲ繰返シマス時間ガ長ク掛リ
マスカラ御免ヲ蒙リタイト思ヒマス

○元田委員長 山田サン如何デアリマ
スカ、私久シク缺席致シタノデアリマ
スガ、財源ニ付テハ隨分御尋ニナッタコ
トデハナイカ、御同列ノ御方カラモ先
達モ餘程手酷シイ御尋ガアッテ、七千四
百萬圓ニナルトカ、二千萬圓ダケデ足
ルトカ、足ラヌトカ云フコトモ大分ア
リマシタシ、私ノ居ラヌ中ニモ出タカ
モ知レマセヌガ、御分リニナルナラバ
ドウカ議事ノ進行ヲ速カナラシムル爲
ニ、御辛抱下サッテ、已ムヲ得ヌ間ダケ
斯ウ云フコトヲ言フノハ相濟ミマセヌ
ガ——山田君

○山田委員 何レ三土サンノヤウナ御
返事ガアリハシナイカト思ヒマシタ

ガ、念ノ爲ニ伺ッタノデス、併シ答辯セ
スト仰シヤレバ已ムヲ得マセヌガ、幾
度力御繰返シニナッタノデアアル、御答辯
ノ中ニハ全部誤解デアルト仰シヤッタ
事柄ガ、私ハ速記録ヲ御覽ニナレバアッ
タト存ジテ居リマス、其財源ガ徹底シ
テ居ラヌト云フコトハ私共同僚一致ノ
意見デアアルノデゴザイマス、併ナガラ
答辯セヌト仰シヤレバ是ハ已ムヲ得ヌ
コトデアリマス、唯是モ財源ニ關係シ
マスカラ、答辯ガ願ヘヌカモ知レマセ
ヌガ、酒、煙草ノ此度ノ増收ヲ地租委讓
ノ財源ニ御見込ニナル御積リデアリマ
セウカ、如何デアリマセウカ、此一點ダ
ケノ御答辯ヲ願ヒマス

○三土委員 私ハ改メテ申上ゲテ置キ
マスガ、先日來委員諸君並此室内ニキ
ラシヤッタ方ハ、御覽ノ通り私ハ努メ
テ丁寧ニ、親切ニ答辯致シテ居ルノデ
アリマス、私ハ或ハ政府委員ノヤウダ
トマデ言ハレル位洵ニ丁寧ニ申上ゲテ
居ルノデアリマス、唯私ハ議事ノ進行
ヲ切望シマスガ、御質問ナサリタイ御
方ガ澤山アリマスカラ、成ベク時間ヲ
差繰リタイト思ヒマスノデ、此邊ハド
ウゾ惡カラズ御諒承ヲ願ヒマス、ソレ
カラ酒ノ増税、煙草ノ値上ヲ認メルカ
ト云フコトト、之ヲ地租委讓ノ財源ニ充
テテ居ルカト云フコトデアリマスガ、
是ハ先達モ申上ゲタ通り、總テノ税制
整理案ハ只今審議中デアリマス、或ハ
進ンデ政府ノ御意見ノアル所ヲ質問致

シマシテ、其上ニ態度ヲ決スル積リデ
アリマス、只今ノ行程ニ於キマシテハ
唯一般ノ質問デアリマシテ、酒ニ付キ
マシテモ、所得稅ニ付キマシテモ、煙草
ノ値上ニ付キマシテモ、尙ホ聞カナケ
レバナラヌ問題ガアルノデアリマスカ
ラ、此御答辯ナラバ後日ニ致スコトニ
致シマス

○山田委員 別ニ議論ヲ申ス積リデハ
アリマセヌガ、苟モ是ダケノ大法案ヲ
御出シニナル以上ハ、私ハ初カラ是ダ
ケノ財源アリト、確定的ノ財源ヲ備ヘ
テ御提出ニナルベキモノデアリ、又御
説明モ少ナクトモ初カラ爲サルニ足ル
ベキダケノ御準備ガ必要ダト存ジマ
ス、翻ッテ斯ノ如キコトガ政府デアッテ
御覽ナサイ、政友會ノ諸君ハ何ト之ヲ
仰シヤルデアリマセウ、斯ノ如キ法律
案ヲ出ス以上ハ政府カラ出サウガ、政
黨カラ出サウガ、其責任ハ私ハ同様デ
アルト存ジマス、併シ是以上ノコトハ
議論ニ互リマスカラ追第ハ致シマセ
ヌ、次ニ御尋申シタイコトハ、地租委讓
ハ嘗テ三土サンノ御演說中ニモ屢仰シ
ヤッタガ、殆ド十年一日ノ如クニ七千四
百萬圓トカ何トカ云フコトニ決ッテ居
ル、洵ニ固イ財源デアリマスガ、地方ニ
委讓シ、而モ市町村ノ——政友會ノ御
計畫ニ依レバ、中心財源トナッタ曉ニ
ハ、私ハ割合ニ不安ナ財源ニナリハセ
ヌカト思ヒマス、ト申シマスノハ我國
ハ大陸諸國ト違ヒマシテ、極メテ天變

地妖ノ多イ國デアリマス、殊ニ例年各
黨カラ旱害、水害ノ爲ニ御見舞ノ黨員
ヲ御遣シニナルノデモ分リマス、毎年
決ッテ三件、五件、各郡ニ互リマシテ、廣
イ町村ノ範圍ニ於テ是ガ爲ニ免稅ヲシ
ナケレバナラヌ所ガ出テ參ッテ居リマ
ス、中央ノ財源トシテ一括シテ扱ハレ
タ曉ニハ、五十萬ヤ百萬ノ財源ノ相違
ハ是ハ何デモゴザイマセヌガ、之ヲ地
方ノ重要財源トシテ獨立ノ財源トシテ
御委讓ヲスルナラバ、是ハ大變不安ナ
財源デハナカラウカト思フノデアリマ
ス、天災、地妖、水害、旱害ノ時ハ今日デ
モ免稅ヲシテ居ル、其免稅ハ附加稅ニ
於テ矢張市町村ハ困ッテ居ルデハナイ
カト御答ニナルカモ知レマセヌガ、今
日マデハ中央ニ稅ヲ納メタカラ附加稅
ダケデ濟ミマシタ、今後旱水害若クハ
大震災ト云フヤウナ不幸ナコトモ想像
スルコトガ出來マス、明治ノ歴史ヲ御
覽ニナッテモ、大震災ハ岐阜、愛知ノ二
縣ニ互リ尾張、美濃、飛驒、越前、近江、
三河ノ六ヶ國ニ互リ、或ハ磐梯山ノ破
裂、櫻島ノ大火、最近ニ於キマシテハ關
東ノ大震災、播但地方ノ大震災、川ノ多
イ日本デハ毎年ノヤウニ水害ガアル、
又旱害ノアルコトハ言フマデモナイ、
斯ノ如キ場合ニ於テ地租ヲ市町村ノ財
源トシテ委讓シタ時ニ、其度毎ニ市町
村ハ大ナル財源、今日マデハ少ク濟ン
ダデアリマセウケレドモ、附加稅ノ何
倍トナリマス此財源ヲ失フト云フ不便

ヲ見ナケレバナラヌガ、私ハ斯ウ云フ風ノモノヲ地方ノ中心財源ニスルト云フコトハ、一見洵ニ結構ノヤウデ、洵ニ不安ナ財源デアアル様ニ信ジマスガ、此點ハ一口ニ仰シヤレバ水掛論ニナル譯デアリマスガソレ等ノ點ニ付テハ御氣付ニナツテ、何カ御研究爲サタノデアルカ、其點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○三土委員 天變地異ヲ考ヘマスレバ、現在ノ附加税デモ同ジデアリマス、所ガ今度吾々ノ提案致シマシタモノハ縣稅ノ上ニ國稅ノ地租ヲ持ッテ行クノデアリマスカラ、若シ天變地異ガアリマシタ時分ニハ今迄ヤッテ居ルヤウニ土地ニ對スル課稅ガ出來ナケレバ、一時戶數割ヲ増ストカ云フヤウニ、便宜ノ處置ヲ致シマシテ、非常ニ災害ガ大キケレバ、國ガ從來ヤッテ居リマスヤウニ縣債ヲ發行シ、ソレニ對シテ利子ヲ國デ補給シテヤルト云フヤウナ方法ヲ執ッテモ宜イト思ヒマスカラ、左様ナ御心配ハナカラウト思ヒマス

○山田委員 私ハ災害ノ善後策ヲ伺ッタノデハアリマセヌ、只今迄ハ附加稅ダケシカ取レナイ市町村ガ、地租ヲ委讓シマストモット大キナモノガ取レナクナル、斯ウ云フ缺陷ガアリハシナイカト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、他ノモノデモサウダト仰シヤイマスケレドモ、地面ニ水ガ被ッタリ、或ハ旱魃ノ爲ニ取レナカタモノハ、直接地

面カラ上ル稅ヲ免除スルヨリ他ナイト思ヒマス、他ノ例デモサウダト云フコトハ一寸例ニハ引ケナイト思ヒマス、如何デアリマスカ

○三土委員 他ノ例デト云フ譯デハアリマセヌ、縣稅ノ地租ノ附加稅ダケデ大體市町村ヲ賄ッテ居ル、其國稅ノ地租ガ行キマスレバ今ノ附加稅ノ上ニ多少増加致シマシテ、其増加シタダケ戶數割ヲ減シテ居ルノデアリマス、サウ云フ場合ガ起リマシタナラバ、便宜ノ應急策トシテ一時戶數割ニ依ルヨリ仕方ガアルマイト思ヒマス

○山田委員 此問題ハ此位デ止メマス、次ニ御尋申シタイノハ、外國ノ地租ニ對スル立法例デアリマス、斯ウ云フ事ハ私ハ初メ御尋致ス考ハナカタノデアリマスガ、昨日政友會ノ深遠ナル調査研究ニ依ル所ノ外國ノ立法例ガ、而モ八田君ヨリ此席ニ御發表ニナリマシタ、併シ其御言葉ハ今日未ダ速記録ハ出來テ居リマセヌケレドモ、私ノ記憶シテ居ル所ニ依ルト、ソレヲ御讀上

ゲニナリマシテ、世界何レノ國カ地租ヲ委讓シテナイ所ガアラウカ、斯ウ云フヤウナ御説明ガアッタヤウデアリマス、大藏大臣ノ申サレマシタル當時ノ御言葉ニハ、外國ノ事ハ外國、日本ノ事ハ日本、日本ハ日本特有ノ事ヲヤレバ宜イト云フ御話、私ハ初カラ其考デ居タノデアリマスガ、外國ノ立法例ヲ左様ニ重大視シテ茲ニ明示サレマスコト

ハ、是モ一應ハ御尤ナコトデアッテ、政友會ノ御考モ當然ナコトと思フ、三土君ハ長ク教育界ニ御經驗ノアル方デアリマスガ、教育上ノ諸制度、並ニ教育訓練ノ方法等ニ付キマシテモ、遺憾ナガラ我國ハ模倣ト申シマスルカ、或ハ他ノ長ヲ採ッテ吾ガ短ヲ補ッテ居ルコトガ澤山アル、稅制整理ノコトニ於キマシテモ亦昨日外國ノ例ヲ御出シニナリ、諸國ノ立法例ヲ引テ以テ此長ヲ採リ、我短ヲ補フト云フコトハ頗ル宜イコトデアルト存ジマス、然ルニ昨日ノ御説明ハ私ハ能ク拜聽致シマシタケレドモ、分リマセヌデシタガ、歐米ノ先進國ノ中ニ於キマシテ、政友會ノ只今提案ヲ致シテ居ラレマスルガ如キ地租ヲ地方ニ委讓スルト云フ立法例ガ、何レノ國ニアルデアリマセウカ、此研究ノ結果ヲ茲ニ一ツ御返事願ヒタイト思ヒマス

○三土委員 昨日八田君ガ世界何レノ國ニ地租ヲ國稅トシテ作ッテ居ル所ガアルカト云フヤウナ御話デアリマシタガ、委員會ノ質問ニ於テ事理ヲ明瞭ニスル爲ニ、各個人ノ意見ヲ言フコトガアリマスガ、ソレヲ一々黨ノ持論ト御考ニナラヌヤウニ願ヒマス、或ハ酒ノ稅ニ對スルノデアッテモ、其缺點ノ點カラ舉ゲテ行クカラ反對ト認メル、サウ云フコトハ始終アルコトデアリマス、ソレヲ一々黨ノ持論トシテ御考ニナラヌヤウニ、色々一々例ヲ申スコトハ如

何カト思ヒマスガ、一番顯著ナ例ハ獨逸ノ「プロイセン」例デアアル、「プロイセン」ガ十九世紀ノ終リニ於キマシテ、「プロイセン」ノ國稅ヲ地方稅ニ移シタト云フ歴史ガアリマス、他ノ聯邦モサウデアッタと思フ、ソレカラ英國ノ如キハ昨日八田君モ言ハレマシタヤウデアリマシタガ、確カ一千七百九十八年デアリマシタカ、是ハ地租ヲ永遠ニ免除スルト云フコトデアリマシタ、一時公債ノ整理ノ爲ニ公債ノ若干額ヲ引受ケレバ、永久ニ地租ヲ免ズルト云フヤウナコトガアリマシタ、爾來大體ニ於キマシテ地租ハ無クナツテ居ル、一部分ガ殘ッテ居ルガ、一時ソレヲ稅法ニ於キマシテ、所謂特別稅ト致シマシテ、一般所得稅ノ外ノ不動產ノ所得ニ對シテ特別稅ヲ課スル、是ハ地租ト云フ名目デアリマセヌガ、所得稅ノ中ニ入ッテ居ル、私ハサウ云フ例ヲ段々申セバ澤山アリマスガ、一々申スコトハ如何デアリマスカ——私モ是ニ付テハ矢張濱口藏相ノ言ハレマシタヤウニ、世界各國ハドウデアッテモ、日本ハ日本デ考ヘテ宜カラウト思ッテ居ル、外國ガヤルカラ自分等モヤル、斯ウ云フ考ハアリマセヌ

○山田委員 只今ノ三土君ノ御説明ニ依テ其參考資料ナルモノガ、遺憾ナガラ政友會ノ地租委讓ヲ爲スベカラズト云フ參考資料ニナルコトと思フ、昨日御發表ノ八田君ノ材料ガ黨ノ材料デナクシテ、個人ノ材料デアルト仰セニナリマスナラ

バ、私ノ質問ノ後デ、若シ八田君ヨリ私ノ先刻三土サシニ致シタル質問ニ御答ニナレバ満足シマスガ、只今ノ三土サシノ御答ノミニ依テ見ルト、成程千七百九十九年ニ「プロイセン」ガ地租ヲ委譲シタル云フコトハアリマス、是ハ財政經濟調査會ノ「レポート」ニモ唯一ツノ例トシテ載セテアリマスガ、此例ハ最近ニ於キマシテ千九百十八年ニ地租ハ國稅ニ還元ヲ致シテ居ルサウデアリマス、併シソシナコトハドウデモ宜イ、千八百九十三年ニ地租ヲ委譲シタ、其「プロイセン」ノ委譲ハドウシタカト云ヘバ、三土君ナドガ委員トシテ御調査ニナツテ御報告ニナツテ居リマス、財政經濟調査會ノ第一案ノ如ク、所得稅ノ外ニ完全ナル財產稅ト云フ補完稅ヲ掛け、地租カラモ自ラ稅ガ入ルヤウニシテ置イテ後ニ委譲ヲシタ、政友會案ノ如ク、地租ニハ何等役目ヲサセナイデ、後ノ財源ニ付テノ御説明モアリマセヌ、斯様ニシテ地租ヲ唯徒ニ地方ノ便宜——私ハ便宜ト考ヘマセヌガ、政友會ノ言ヲ藉リテ言ヘバ便宜ノ爲ニ委譲スルト云フガ如キ事情デハナイ、御舉ゲニナツタ例ノ如キハ、全ク地租委譲スベカラズト云フ立證、若クハ參考資料ニ過ギナイト存ジマス、英國ノ例ノ如キモサウデアリマス、英佛戰爭ノ軍資ニ充ル爲ニ左様ニ取計ラッタノデアアル、地方ニ委讓シテ地方ノ振興ニナツタト云フ例ハナイ、其外列國ノ歴史ナリ事實ヲ御覽

ナサイ、私ハ今日左様ナ事ヲ舉ゲル時聞ヲ持チマセヌガ、八田君ノ言葉ヲ藉リテ言ヘバ、世界何レノ國ニカ政友會ノヤウナ——三土君ノ言葉ニ從ヘバ思ヒ切ツタ、吾々ノ言葉デ言ヘバ奇想天外ヨリ落チルヤウナ地租委譲ノ立テ方ガ何所ニアルカト云フコトヲ申上ゲタイ、併シ討論ノ場合デアリマセヌカラ、是以上ハ申上ゲマセヌ

○元田委員長 ドウカ討論ハ成ダケ止メテ頂キタイモノデスナ

○山田委員 私ハ最後ニモウ一ツ伺ヒタイ、通俗的ノコトデアリマスカラ、御答モ通俗的ニ願ヒタイ、政友會諸君ノ地租委譲ニ對スル天下ノ輿論ハ段々細ツテ居ル、恰モ春ノ日向ヘ雪達摩ヲ出シタヤウナ觀ガアルト云フコトヲ御認メニナリマセヌカ、前ニハ兩派提携デ三百名ニ依テ出シタモノガ、今日ハ一派單獨百六十名ノ主張ニ減ジテ居ル、帝國農會ナリ、又ハ全國町村長會ナリニ於テモ、事實ニ於テ之ヲ主張スル人が段々減ツテ居ルト云フコトハ、私確メテ居ル事實デアリマス、併ナガラサウ申セバ此問題デ解散シテ見ロ、二百八十名、三百名取ツテ見セルト仰シヤルカ知レマセヌガ、之ヲ主張シテ以來二年ノ間ニ於テ、智慧ノアル本黨ナドハ止メテシマツテ、殘ツテ居ル諸君ダケ孤城ノ落日、地租委譲ノ孤壘ヲ守ツテ居ルノデアツテ、輿論ハ地租委譲ニ日ニ月ニ背キツツアルト云フコトヲ御認ニナルカ否

カ、質問シタイ

○元田委員長 私ハ卑見ヲ述ベタウゴザイマスガ、憲政會ノ諸君ト政友會ノ諸君ト、何カ此間カラノ問答ニ付テノ問題ヲ捉ヘテ討論スルコトニナレバ、際限ガナイト考ヘマスガ、如何デゴザイマセウカ、成ベク早ク……

○山田委員 ソレデヤ私ハ止メマス

○元田委員長 御議論致シタイコトモアリマセウケレドモ、只今ノヤウナ議論ヲ吹掛ケルコトダケハ少シ御忍耐下サツテ……

○三土委員 只今ノコトニ付テ一寸……

○元田委員長 ソレデハ三土君、成タケ議論ニナラヌヤウニ……

○三土委員 私ハ唯一點申上ゲテ置キマス、私ハ初カラ申ス通り、我國ノ近時ノ如ク、地方稅ガ非常ニ膨脹シテ來タ時代ニ於テハ、國稅ハ國稅トシテ體系ヲ保タシメル、地方稅ハ地方稅トシテ別個ノ體系ヲ保タシメルト云フヤウナ、學究的理論ニ因ハレルノハ、却テ負擔ノ公正、均衡ヲ保タシメル所以デハナイト信ズルノデアリマス、地租ヲ委譲シテモ、所得稅ニ對スル補完稅ト云フ任務ハ果スノデアリマス、此點ヲ御了解ヲ願ヒタイ ソレカラ地租委譲ニ對スル世間ノ輿論ガ段々細リツツアル、春ノ日ニ雪達摩ヲ出シタヤウダト云フコトデアリマスガ、私ハ其正反對デアリマス、昨今ノ世間ノ識者ノ意

見、新聞雜誌等ニ現レテ居ル識者ノ意見ハ、多ク地租委譲ヲ了解セラレテ、段段賛成ヲスル人が多イノデアリマス、唯政黨ノ立場、政治的ノ立場、或ハ其他ノ事情ノ爲ニ地租委譲ニ賛成ヲシナイ人モアリマスケレドモ、ソレハ別個ノ問題トシテ、黨派關係ヲ離レマシタ意見ト致シマシテハ、段々ニ吾々ノ主張ガ了解サレテ、是デナケレバナラスト云フ人が段々出テ參ツタ、私ハ地租委譲ニ對スル世間ノ輿論ハ、春ノ日ノ芽生エノ如ク、生ミト仲ビツツアルト思ヒマス

○八田委員 今ノ質問ニ付テ私カラモ辯明致シテ置キタイ——只今山田君ハ、私ガ昨日引例シタ各國ノ地租委譲ノ事ヲ、奇想天外ヨリ落ツルガ如キモノデアルト、私ガ如何ニモ根據ノナイコトヲ一場ノ漫談ニ供シタカノ如ク御考ニナツタコトヲ甚ダ殘念ニ考ヘル私ハ各方面カラ調べ、的確ナル材料ヲ提供致シマシタ、此事ハ速記録ニ載ツテ居リマスカラ、ソレヲ見レバ分ル管デアリマスケレドモ、私ハ茲ニ繰返シテ申上ゲタイ、英國ノ事ハ三土君カラ御話ニナツタ如ク分ツテ居ル、米國ハ地租ヲ取ツテハ居リマスガ、日本ノ金ニシテ六百萬圓シカ取ツテ居ラス、アトハ人民ガ土地賠償法ニ依テ土地ヲ所有シテ居ル、國家ハ地租ヲ取り得ナイ狀態ニナツテ居ル、一種ノ地租委譲デアアル、伊太利ハドウデアアルカト云フト伊太利モ

○元田委員長 速記録ニ載ッテ居レバ
.....

タ、其理由ハ何處ニアルノデアルカ、曁
ハ歴史ノ證明スル所デアル、地價修正
ハ十五箇年毎ニヤル、ケレドモ煩累ニ
堪エナイカラ、之ヲ地方ニ移シテ地方

○元田委員長　只今八田君ガ御熱心ニ御討論ニナルノモ奇想天外ト云フ質問カラ起ッタノデアリマス、三土君ハ地租委譲ハ天下ノ輿論ニナッテ居ルト申サレマシタガ、本黨ニ屬シテ居ル委員長カラ見マスト、自作農ノコトガ、天下ノ輿論ニナッテ居ルト考ヘマス、各其見ル

○高橋委員　私ハ大藏大臣ニ質問致シマス、大藏大臣ハ屢社會政策トカ、農村振興ノ爲トカ云フ言葉ヲ繰返サレマスガ、私共ハ其御言葉ト今回ノ税制整理

界的競争場裡ニ立ッテ居ル有様デアル、
 而シテ外國品トノ競争ニ對シ不利ナル
 位置ニ立ッテ居ル、ソレデ農産物ノ關稅
 問題モ天下ノ輿論トナリ囂々トナッテ
 居ル所以デアルト考ヘマス、又一方農
 村ニ於テ要スル生活必需品ノ多クハ自
 分デ調ベル經濟ノ狀態デナク、他デ製

負擔ノ方面ヲ見ルト農民ハ國家ニ對スル負擔ヲ非常ニ重ク受ケテ居ルト云フヨリモ、地方費ノ負擔ガ却ツテ大デア、是ガ爲ニ地方民ナリ農民ガ非常ニ

地方税ノ重キニ在ルト考ヘルガ、ドウ
カト云フ御尋デアリマス、ソレモ私ハ
同感デアリマス、併シ其負擔ノ重イノ
ハ地方税デアッテモ、中央税デアッテモ
同ジコトデアリマスカラ、隨テ地方税
ガ輕クナレバソレ丈ケ農民ノ負擔ガ輕
クナル譯デアリマス

ノ利得トナルト思ヒマス、之ニ對シ藏相ハソレハ一面ニ於テ自由競争ノ結果トシテ價格ガ低落スルノデアル、故ニ消費者ノ利益ニナルノデアル、又一方ニ

中間營業者ノ利得トナツテ大部分ハ消費者ノ利益トナルマイト考ヘマス、是等ニ付テモ御意見ヲ承リタイ、更ニ國民ノ輿論、消費者ノ宣傳、或ハ國民ノ威力ト云フヤウナモノハ、如何ニシテ之ヲ現ハス途ガアルノデアルカ、營業者ノ方面ニハ「ツラスト」トカ、之レハ我

國デハ餘リ實例モナイヤウデアリマスガ、「カルテル」ト云フ方法ニ依テ消費者ハ苦メラレテ居ル、商工業者ハ同業組合トカ、聯合會ノ組織ニ依テ、消費者ヲ威壓スルコトガ簡單ニ出來得ルト思ヒマスガ、消費者ガ自分ノ威力ヲ以テ、或ハ宣傳ノ力ヲ以テ新稅ノ效果ヲ現ハレ得ルカト云フヤウナコトニ付テハ、吾ミハ考ヘ及バナインデアリマス、マサカ藏相ハ消費者ガ直接行動ヲ取レト云フヤウナコトハ御考ニハナラナイデスアラウト思ヒマスガ、其意味ガ頗ル不鮮明デアリマス、先ヅ是等ノ點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ニ對シマシテハ是マデ屢御答ヲ致シテ置イタ通りデアリマス、大體ニ於テ政府ノ統制ノ範圍ニ在ルモノハ、政府ノ力ヲ以テソレヲノ値段ノ下ルヤウニスルコトガ出來マスガ、政府ノ統制範圍外ニ在ルモノ、即チ當業者ノ自由競争ハ消費者ノ輿論ニ依テ自然ニ價格ノ下ルヤウニスル外ナイト思ッテ居リマス、又サウアルコトヲ期待致シテ居リマス、尙ホ一言申上ゲテ置キマスノハ、稅ヲ下ゲマシタ所デ、其品物ハ稅ノ下ツタダケ、丁度ソレニ該當スル金額ダケ下ツテ居ルト云フコトハ、必ズシモ私ハ申サレマセヌ、其下ツタモノダケヲ中心トシテ或時ハ引上ゲ、或ハ引下ゲ、時ノ狀態ニ依テ變化スルモノデアリマスガ、大體

減ゼラレタル其金額ヲ標準トシテ變ルモノデアルト云フコトヲ申上ゲテ宜カラウト思ヒマス、若シ高橋君ノ御心配ニナル如キ事情ノ爲ニ、消費稅ヲ減免致シテモ、消費者ノ利益ニハナラズシテ、中間ノ商人ノ利益ニナルト云フコトヲ考ヘテ居リマシタナラバ、消費稅ヲ減免スルト云フコトハ何時迄經ッテモ出來マセヌ、サウ云フコトヲ心配シナイデ斷行スル外ナカラウト思ヒマス

○高橋委員 賣藥稅ノ如キハ、是ハ山村ニ居ル所ノ人民ニハ非常ニ利益デアルト云フコトヲ仰セラレタガ、併シ賣藥稅ヲ免除サレタコトハ必ズシモ惡ルイト曰ハヌガ、之ガ爲メニ吾ミハ山村ノ人ミノ健康ガ頗ル完全ニ保證サルルモノトハ思ハナイ、デアルカラ私ハ一千萬圓ノ此賣藥稅ト云フヤウナモノヲ廢シマスルト云フコトハ、寧ロ利益ハ中産階級以上ノ人ミガ嗜好品ニ求メラレルト云フヤウナ方面ニハ、大變利益ニナルケレドモ、其以外ニハ效果ガ薄イコトデアルト考ヘテ居ル、而シテ天下ノ輿論ト云フモノハ賣藥ト云フヤウナモノ、殊ニ藥劑師ノ手腕ト云フモノニ信賴ヲスルコトハ出來ヌ、ソレデアルカラ藥品ノ調合ト云フヤウナコトモ、醫者ノ處方ガナケレバ許サナイ方ガ宜カラウト云フノデ、昨年此法案即チ藥品法案ガ擱置シナッタノデアアル、左様ナコトデアリマスカラ、私ハ從來

世ノ中ニ在ル賣藥ト云フモノハ洵ニ効果ノ薄イモノデアルト思フ、例ヘバ藥品中最モ奇効ノアル劇藥ヤ毒藥ト云フモノハ、子供ガ飲ンデモ害ガナイト云フヤウナ程度ニ於テ是ハ調合サレル、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ル、子供ガ飲ンデ差支ナイト云フヤウナモノハ、相當ニ發育シタル成人ガ飲ンデ、サウシテ是ガ効果ガ現ハレルト云フコトハ、私ハ寧ロ奇蹟ニ屬スル事柄デハナイカト思フ、今日農村ニ於テ困ッテ居ルノハ醫者ノ不足ナルコトデ、醫者ノ診斷ヲ受クルコトガ出來ナイコトデアアル、ソレデアリマスカラ衛生ノ狀態ナドハ年々何等改善ノ跡ガナイノデアリマス、殊ニ流行病ヤ、傳染病ナドノ蔓延ニ依テ農村ガ困ッテ居ルコトハ、御承知ノ通りデアアル、殊ニ今日結核患者ナドハ都會地ノ非常ナ不景氣ノ爲ニ、サウ云フ者ハ農村ニ皆歸ッテ來ル、ソレガ爲ニ農村ハ非常ニ困ッテ居ル、是ガ賣藥デ以テ救済サレル、治療サレルト云フコトハ、是コソ奇想天外デアルト思フ、左様デアリマスカラ斯ウ云フヤウナルコトハ到底實現サレヌノデアアル、若シ是ダケノ財源ガアッテ、之ヲ社會政策的ノ意味ニ用ヒルト云フコトナラバ、寧ロ是ハ一萬二千ノ町村ニ貧富ノ程度ヲ計ッテ、矢張義務教育費ノ國庫負擔ト同ジヤウソレ等ノ困ッテ居ル町村ニ補助ヲシテ、衛生狀態ヲ改善スルト云フ方面ニ御用ヒニナッタ方ガ效果ガ十分舉

リ、大藏大臣ノ申サレルヤウナ社會政策的ノ效果ト云フモノハ認メラレルモノト思フ、左様デアアルカラ吾ミノ見地カラ見ルト、何等ノ效果ガ認メラレナイニモ拘ラズ、社會的效果ガアルトシテ、此貴重ナル財源ヲ廢サルルト云フコトハ、私共甚ダ腑ニ落チナイノデアアル、大藏大臣ニ於カレマシテハ、斯ウ云フ行詰ッタ財政ノ上ニ於テ、斯ノ如キ一千万圓ト云フ貴重ナル財源ヲサウ云フ具合ニ有效ニ使フヨリハ、矢張是ハ賣藥ノ免稅ヲ致シタ方ガ有效デアルト、今デモ固執サルルノデアアルカドウカト云フコトヲ伺ヒマス

○濱口國務大臣 賣藥ニ依テ山間僻地ノ住民ガ完全ニ健康ヲ保テルトハ、私ハ思ッテ居リマセヌ、只今高橋君ノ御述ニナッタ通り、醫者ノ不足ノ爲ニ困ッテ居ルガ、山間ノ地ニ在ッテハ賣藥ハ相當ノ必要品デアルト思ッテ居リマス、又一部ニ於テハ之ヲ嗜好品トシテ使ッテ居ル人モアリマスガ、是ハ大體ニ於テ生活ノ必需品ト認メテ、此廢止案ヲ止メルト云フ考ハ毛頭持ッテ居リマセヌ

○高橋委員 織物稅ヲ廢サレルニ付テ色々當業者トシテ不便ナコトガアル、又製造能力ヲ發揮スル上ニ於テ非常ニ困ッテ居ルト云フヤウナ事情ヲ、先程モ嶋居君カラ御述ニナッタヤウデアリマスガ、政府ハ致方ガナイト云フヤウナコトデ以テ、何等是等ノモノヲ救済スルト云フヤウナ途ヲ講ゼラレヌヤウニ思

フ、今ヤ織物界ト云フモノハ非常ニ困難ニ陥ッテ居ル際ニ當ッテ、尙ホ二重ノ困難ナ事情ニ在ルト云フコトハ、是ハ世間一般ニ見テ居ル所デアリマス、然ルニ此人ニガ——吾々ガ漏聞ク所ニ依ルト、大藏省ニ陳情ニ參ッタト云フコトデアアル、而シテ織物稅ト云フモノハ製造業者ガ販賣業者ニ其製造品ヲ引渡ス際ニ課稅サルルノデアリマス、此織物稅ガ無クナレバ、直ニ商品ニ障ル、價格ガ下落スル、サウ云フ危險ヲ慮ッテ、販賣業者ガ製品ノ引取ヲ躊躇スル、ソコデ製造業者ガ今製造ニ困ッテ居ル、サウ云フコトナラバ、寧ロ止メテ置イタラ宜イデハナイカト云フコトヲ、大藏省デ言ハレテ居ッタト云フコトヲ漏聞イタノデアリマス、斯ウ云フコトハナイト仰セラレルカモ知レヌガ、ソレハ恐ラク大臣デハナカラウトハ思ヒマシガ、餘リ是ハ社會政策トハ懸離レテ居ル御所見デナイカト思ヒマシカラ、サウ云フ場合ニ當業者ニ對シテドウ云フヤウナ御考デ御臨ミニナッテ居リマスカソレヲ一寸伺ヒマス

○濱口國務大臣 御話ノ如キコトヲ大藏省カラ申シタコトハ決シテアリマセヌ

○高橋委員 煙草ノ値上ノ問題ニ付テ少シ承リタイト思フノデアリマス、煙草ノ値上ト云フモノハ(發言者多シ)

○元田委員長 御靜ニ願ヒマス
○高橋委員(續) 他ノ廢減稅ノ財源ヲ

補充スル爲ニ上ゲタト仰シヤルガ、其煙草ノ値上ニ依テ生ジタル増加收入ト云フモノハ、十四年度ニ於テハ何等必要ノナイ金額デアアル、今迄ノ歴代ノ内閣ガ行ッタ値上トハ其性質ガ異ッテ居ル、只今迄ノモノハ其理由ハ色ミアリマセウガ、收入ノ増加ヲ目的トシテ値上ヲ致シタノデアアルガ、今度ノハ十五年度ニ必要ナモノデアッテ、十四年度ニ於テハ何等必要ノナイ經費ヲ増加シタコトハニナル、此事ノ是非ヲ論議スルコトハ別デアリマシカラ、別ノ機會ニ於テ申上ゲマスガ、其結果ニ於テ十四年度ニ於テ必要デナイ收入ヲ得ルト云フコトデアアルナラバ、何ヲ苦ンデ、此煙草ノ値上ヲ致シタト云フガ爲ニ、販賣者ニ不當利得ヲ營マシメル必要ハナイト考ヘル、即チ拂下ゲ原價ヲ以テ販賣サセテ差支ナイト思フ、若シ增收ヲ得ナケレバナラヌト云フ見地カラ値上ヲシタナラ理窟モアリマセウガ、十四年度ニハ何等必要ノ無イ値上ヲシテ居ルノデアリマシカラ、不當利得ヲ得セシメル必要ハ無イト思フ、ソレデアリマシカラ少シ手數ハ掛ッテモ、販賣人ヲシテ原價デ賣ラシメルコトハ、何等面倒ナコトハナカラウト思フ、然ルニ何故斯ウ云フコトヲ爲サレタノデアアルカ、是デモ負擔ノ公平トカ社會政策ト云ヘルノデアリマシカ、之ニ就テ御所見ヲ伺ヒマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ハ如何

ニモ御尤ナ御質問デアリマスガ、昨日モ申シタ通り、只今迄煙草ノ値上ヲシタコトハ前後五回、中四回ハ今回ト同様ノ處置ヲ執ッテ居リマス、申ス迄モナク煙草ハ定價ヲ以テ販賣スベシト云フコトニナッテ居リマス、ソコデ値上前ニ市場ニ出テ居ル煙草ト、値上後ニ出テ居ルモノト二ツノ値段ガアルコトハ、定價ト云フ觀念ニ相反スルノデアリマス、其間ニ如何ナル手段ヲ講ジテ國庫ノ收入ヲ全ウスベキヤト云フコトニ付テハ、前四回ノ値上ノ時ニモ研究サレマシタケレドモ、適當ナ方法ヲ發見セズ、四回トモ同ジ方法デヤッテ居ルノデアリマス、今回ノ値上ニ付テモ別ニ研究致シマシタケレドモ、適當ナ方法ガ發見出來ズ、前例ニ依テヤッタノデアリマス

○高橋委員 私ノ質問ニ一部ハ中ッテ居リマスガ、マダ神髓ニ徹シテ居リマセヌ、私ノ申上ゲルノハ只今迄ノ値上トハ性質ガ違フ、今迄ノハ增收ガ目的デアアルカラ、直ニ增收ヲ得ナケレバナラヌガ、今回ノハ十四年度ニ於テハ何等增收ノ必要ハ無イ、寧ロ今年度ニ於テ增收ヲ得ルナドト云フコトハ、憲法ノ精神ニ反スルデハナイカト云フ議論サヘアル、ソレデアアルカラ不必要ナ收入ヲシテ居ルノデアアルカラ、少シ手續ガ面倒デモ販賣人ニ不當利得ヲ得セシムルコトヲ避クルコトハ出來ナイコトハナカラウト思フ、今迄ノ値上トハ目

的ヲ異ニシテ居ルノデアアルカラ、サウ云フ見地ノ下ニ此問題ヲ御研究ニナタカドウカ、唯增收ヲ得ナケレバナラヌト云フコトダケヲ頭ニ置イテヤッタノデアアルカ、今年度ニ於テハ增收ヲ得ベキ性質ノモノデナイ、併シ今年直ニ行ハナイト、將來不當利得ヲ得ル者ガ多クナッテハ一層困難ヲスルカラ、直ニ行ウタノデアアルト云フ理由デヤッタノデアアルカ、私ノ言フ通り不當增收ヲ得ルノデアアルカラ、幾分ナリトモ消費者ニ迷惑ヲ掛ケナイト云フ用意ノ下ニ賣捌ノ方法ヲ御研究ニナッタカドウカ、此點ヲ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 能ク承リマシタガ、高橋君ノ御質問ハ全ク異ナル問題ヲ一緒ニ論ゼラレマシカラ、了解シ兼タノデアリマス、能ク承ッテ居リマス煙草ハ十五年カラ必要ナル歲入デアアル、ソレヲ十四年ノ十一月七日カラ上ゲタ、其事柄ト、煙草ノ値上ヲヤル時ニ元賣捌人、小賣人ノ在庫品ニ對シテ著シク儲ケシメル、其儲ヲサセヌデモ宜イデハナイカト云フ事柄ハ別問題デアアル、ソレヲ混同シテ考ヘルカラ分リ兼ねマシガ、要スルニ政府トシテハ十五年度カラ必要ナモノデアリマス、十四年度ニハ必要ガ無イケレドモ、此計畫ヲ發表スルコトハドウシテモ十五年度ノ概算ノ決定ヲ時ニ發表シナケレバナラヌ、ソレヲ發表スルト、發表カラ實行スル迄ニ期間ガアルト弊害ガ生ズルカ

ラ、發表ト同時ニ之ヲ實行シタノデア
リマス、第二ハ値上ノ時ニ賣捌人ノ持ッ
テ居ル品物ニ對シテ差額ヲ追徴スルト
云フコトハ、從來屢研究致シマシタ
ガ、妙案ヲ得ルニ至リマセヌ、同時ニ是
ハ定價制ノ結果トシテ値段ガ上ルカ
ラ、手持品ハ偶然賣捌人ノ利益ニナル
ト云フコトハ、前四回ノ値上ノ時ト同
様デアリマス、其點ハ前例ヲ追フタニ
止ッテ居リマス

○高橋委員 ドウモ私ノ間方ガ惡イカ
モ知レマセヌガ、前四回ノ例ヲ追フテ
ヤッタト仰セニナル、其所ニ私ノ疑問ガ
アル、前四回ノ値上ハ何レモ增收ガ目
的デアルカラ、其日カラ增收ヲ得ナケ
レバナラヌガ、今度ノ値上ハ十四年度
ニハ增收ヲ得ル必要ハナイ、出來得ベ
クンバ十五年四月一日カラ値上ヲスレ
バ宜シイト云フコトニナッテ居ル、ソレ
ヲ十四年十一月七日カラ値上ヲシタノ
デアルカラ、今迄トハ違ッテ前例ヲ踏ム
ベキデナイ、事情ガ違ッテ居ルト云フ前
提ノ下ニ之ヲ御ヤリニナッテ居アル、
然ラバ消費者ノ迷惑ヲ少シデモ避ケナ
ケレバ平素ノ御主張ト合ハナイ、ソレ
ダカラ消費者ニ迷惑ヲ懸ケナイト云フ
見地デ、賣捌人ノ「ストック」ニ付テ、之
ヲ如何ニシテ原價ヲ以テ賣ラシメルカ
ト云フコトニ付テ御研究ニナッテカド
ウカ、或ハ漫然只今申シタヤウニ前例
ニ依テヤッタト仰セラレルカト云フコ
トヲ承リタイ、私ハ其一點ダケデアリ

マス、前例ト云フモノハ前提ガ違ッテ居
ルノデアアル、別ナ目的デ今度ハ行ハレ
テ居ルノデアアルカラ、其見地ニ於テ消
費者ニ迷惑ヲ少クスル爲ニハ、如何ニ
シテ其「ストック」ヲ賣下原價ニテ賣捌カ
シムルカト云フコトヲ考ヘラレタガ、
サウデナイト世間デハ是ガ爲ニ賣捌人
ガ「ストック」デ非常ニ儲ケ過ぎ、之ニ依
テ非常ナ收入ヲ得テ、ソレガ爲ニ政府
關係筋ニテモ何カ利益ヲ得タナドト云
フコトヲ世間ノ人ハ言ッテ居ル、是ハ大
藏大臣ハ非常ニ御迷惑ナコトト存ジマ
ス、私ハサウハ信ジナイ、ケレドモ斯ウ
云フ別ナ前提ノ下ニヤラレタノデアリ
マスカラ、大藏大臣ハ其場合ニ當ッテ不
當ナル利益ヲ「ストック」ヲ有シテ居ル
者ニ對シテ得セシメナイト云フコトニ
付テ、特ニ御考ニナッテ居ルカ、矢張前
例ガサウデアアルカラヤッタト云フノデ
アリマス

○元田委員長 ドウモ其點ニ付テハ二
三度御答ニナッテ居ルヤウデアリマス
○高橋委員 私ハ委員長ニ御答ヲ求メ
テ居ルノデハアリマセヌ、大藏大臣ハ
私ノ問フ所ニ能ク合致シタ、徹底シタ
御答ヲシテ御出デニナリマセヌ
○元田委員長 イヤ、私ハ別ニ質問ヲ
壓迫シタリ、答辯ヲ遮ルモノデハアリ
マセヌ
○濱口國務大臣 煙草ノ値上ノ目的ト
云フコトデアリマスガ、煙草ノ値上ヲ
スル時ニハ詰リ定價ガ同時ニ上リマス

カラ、偶元賣捌人、小賣人ノ持ッテ居ル
在庫品モアルニ違ヒナイ、ソレヲ同
時ニ考ヘルト云フコトハ、ソレハ全然
別ナ問題デアリマス、ソレハ税制整理
ノ目的デアッテモ、或ハ其他ノ目的デ
アッテモ、元賣捌人ガ持ッテ居ル「ストッ
ク」ニ向ッテ如何ナル手段ヲ講ズベキカ
ト云フコトハ別問題デアリマス、前四
回ノ煙草ノ値上ノ時ニ財政上ノ目的デ
ヤッタコトモアリマスガ、書類ガ震火災
デ焼ケマシタカラ、記録ヲ以テ證明ス
ルコトハ出來マセヌ、恐ラク明治四十
年十二月二十八日決定セラレ、四十二
年一月一日カラ實行サレタアノ煙草値
上ノ目的ハ、財政上ノ目的デアッタト記
憶致シマス、其後二回ノ引上ノ場合ハ
是ハ明瞭デアリマセヌケレドモ、唯生
産費ガ上ッタカラ、煙草專賣ノ益金ガ減
少スル爲ニ値上ゲラシタト云フヤウニ
ハ考ヘマセヌガ、何分是ハ書類ガナイ
カラハッキリ申上ゲラレマセヌ、要スル
ニドウスレバ消費者ノ苦痛ヲ減ズルコ
トガ出來ルカ、ドウスレバ元賣捌人ニ
利益ヲ得セシムルコトガナイヤウニス
ルコトガ出來ルカト云フコトニ付テ、
重ネテ相當考究致シマシタケレドモ、
何分適當ナ方法ヲ發見スルコトニ參リ
マセヌカラ、已ムヲ得ズ前例ニ依テ從
來ノ通りノ遣方ニ致シタト云フコトヲ
申上ゲタノデアリマス

○濱口國務大臣 煙草ノ値上ノ目的ト
云フコトデアリマスガ、煙草ノ値上ヲ
スル時ニハ詰リ定價ガ同時ニ上リマス

○高橋委員 私ハ此問題ニ付テ十分ニ
満足スル答辯ヲ得マセヌ、併ナガラ私

ノ御問申スコトハ、大藏大臣ニハ徹底
ヲ致シテ御答ヲ得タコトト思ッテ居ル
ノデアリマス、ソレ以上御答ハムツカ
シイト思ハレルカラ求メナイ、尙ホ深
ク其意味ヲ申シマス、ソレハ議論ニ
互ルト云フ御叱リヲ受ケマスカラ、其
問題ハソレデ中止致シマス、少シ細イ
問題デアリマスガ、尙ホ承ッテ見タイト
思ヒマスノハ、私ハ營業收益稅ノ課稅
ノ標準ト云フモノニ付テ、純益ヲ御定
メニナルニ方ッテ所得稅ノ純益ノ計算
ト、ソレカラ收益稅ノ基礎ニナル純益
計算トハ多少方法ガ違ヒマスカラ、之
ニ付テ重複課稅ニハナラヌ、二重課稅
ニハナラヌ、斯ウ云フ言葉ガ大藏大臣
ノ御説明中ニアッタヤウニ理解致シテ
居リマスガ、其計算ノ方法ガ違フト云
フコトハ、如何ニ違フノデアアルカ、私ハ
ソレガ違ッテ居ッテモ極ク些細デアッテ、
營業收益稅ト所得稅ハ二重ニナル、要
スルニ是ガ二重課稅ノ狀態ハチットモ變
ラヌト云フヤウナ考ヲ私ハ懷イテ居リ
マス、簡單デ宜シウゴザイマスガ、御説
明ヲ願ヒマス

○濱口大藏大臣 或ハ其點ニ付テ私ノ
從來ノ説明ハ徹底シナイ點ガアッテ、偶
誤解ヲ起サレタノデハナイカト云フ
必配ガアリマス、營業收益稅ト所得稅
トハ重複課稅デハナイ、重複課稅ト云
フ意味ヲ以テ私ハ御答シタコトハナイ
ト思ッテ居リマス、申スマデモナク所得
稅ハ八稅デアアル、直接國稅デアアル、所ガ

所得稅ニハ固有ノ缺陷ガアル、即チ資
產重課ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナ
イ、所得ノ隱蔽ト云フ弊ガアル、斯ウ云
フ二ツノ缺陷ガアリマス、ソレヲ補完
スル爲ニ補完稅ガ必要デアル、其補完
稅ノ一ツトシテ營業收益稅ガ設ケテア
リマス、即チ所得稅ハ人稅デアッテ、補
完稅ハ收益稅デアル、收益稅ハ相當收
益ニ對スル計算ノ致方ニシテアリマ
ス、例ヲ舉ゲテ申シマス、補完稅ト云
フノハ人的ノ斟酌ヲ致サナイ、其純益
ノ計算ヲスルニ方ッテモ、例ヘバ扶養家
族ノ控除ト云フモノハ人稅タル所得稅
ニハ致シマスガ、收益稅タル營業收益
稅ニハ致サナイト云フヤウナ種類デ、
全ク是ハ稅種類ガ違フカラ純益計算ヲ
異ニシテ居リマス、若シ御必要ガアリ
マスレバ、其違フ點ニ付テ政府委員カ
ラ詳シク御説明申上ゲルコトニ致シマ
ス

○高橋委員 說明ヲ承リマセウ
○黒田政府委員 所得稅ノ方ニ於キマ
シテハ國債ノ利子ニハ課稅致シテ居リ
マセヌガ、營業收益稅ニ於テハ國債ノ
利子ニ依ル所得ト云フモノモ、矢張收
益稅中ニ入レテ計算致シテ居リマス、
又外國ニ於キマスル營業ノ利益ト云フ
モノニ付テハ、所得稅ニ於キマシテハ
之ヲ課稅致シテ居ルノデアリマスガ、
營業收益稅ニ於テハ施行地外ニ於ケル
營業カラ生ズル收益ト云フモノハ、除
外シテ計算致シテ居リマス、其他課稅

ノ業體ガ個人ニ付テ列舉シテアリマス
カラ、其點モ所得稅ト違フノデアリマ
ス、其他免稅點等ニ付テハ區別シテ居
リマスカラ、是等ハ其課稅ノ性質ガ異
ル結果トシテ、色々違フ點ガ設ケテア
ルノデアリマス、以上述べタヤウナ所
ガ大體其相違ノ點デアリマス
○高橋委員 サウスルト只今承ツタ所
ニ依リマス、唯所得稅ニアルモノハ
片一方ニ於テ收益稅ニハ加ヘナイ、或
ハ所得稅ニナイモノヲ加ヘタト云フニ
過ギナイノデアッテ、業體ト云フヤウナ
モノガ分ケテアルト仰シヤルケレド
モ、其業體ニ付テハ大體ニ於テ所得稅
ト云フモノニ付テアルヤウナ缺點ト云
フモノハ、最初ヨリ附イテ居リマス、又
其特長ダケガ收益稅ノ方ニハナカッタ
ト解釋シテ宜シウゴザイマス、先程
大藏大臣ノ御説明デハ、人的課稅デア
ル、其均衡ヲ得セシムルト云フ上ニ應
能主義ヲ完全ニスル爲メ、家族ノ累係
ニ對スル夫等ノ負擔ヲ輕減スルト云フ
ヤウナコトヲ目的ニ置イテ、ソレ

○黒田政府委員 苦痛ヲ感ズル點ガ多
クナルトハ認メテ居リマセヌ、併シ大
體ガ所得稅ニ限ラレマスモノト同ジヤ
ウナモノヲ捉ヘテ之ニ負擔重課ノ目的
ヲ達スルコトニハナッテ居リマス
○高橋委員 サウスルト云フト此收益
稅ト云フモノハ矢張吾々ハ二重課稅ノ
ヤウニ思フノデアリマスガ、補完稅デ
アルカラ、是ハ物的課稅主義デ以テヤ
ル、收益稅ト仰シヤルケレドモ、純益稅
デアッテ、決シテ眞ノ收益稅トハ私共ハ
認メナイ、言葉ノ上ニ於テハ收益稅ト
云フヤウナコトヲ仰シヤルカモ知レヌ
ケレドモ、實際ニ於テ所得稅ノ純益課
稅主義ト、今日ノ營業收益稅ノ收益課稅
主義ト云フモノハ同一デアッテ、營業收
益稅ノ方ガ所得稅ヨリハ少シ苛酷ニ其
純益ニ課稅セラレルト云フコトニナル
ノデアアルカラ、私共ハ從來ノ營業稅ヨ
リモ酷イト思フノデアリマスガ、御認
メニナラナケレバ、ソレ以上ハ議論ニ
ナルト思ヒマス、カラ控エテ置キマス
ガ、私ハ從來營業稅ハ外形標準ニ依テ
ヤラレルト云フ非常ニ惡稅デアル、其課
稅標準ハ洵ニ面白クナイト申シマシテ
モ、其中ニハ甲乙ノ區別ヲ致シテ、大量
ヲ取扱フテ利益ノ少イモノハ非常ニ少
率ノ課稅ヲ致シテ居ッタノデアリマス、
課率ガ小サカッタノデアアル、然ルニ今度
ハ一率ニ參ッタノデアアル、サウスルトソ
レハ純益デアアルカラ、相當ノ經費ハ差
引クノデアアルカラ差支ナイ、斯ウ云フ

ヤウニ御認メニナル、併ナガラ申告主
義ヲ採ルト云フヤウナ結果トシテ、而
モ此申告ト云フヤウナモノハ全ク私共
ハ從來ノ例ニ依ルト云フト、此申告ハ
深刻ニ通ズル、稅務署ノ役人ガ店先ニ
坐ッテ居ルノデ、仕方ナク申告書ニ判ヲ
押スト云フヤウナコトハ、是ハ地方ニ
於ケル常態デアアル、所得稅調査委員ナ
リ、營業稅調査委員ナリガ調査會ニ臨
ンダ場合ニ於テ、申告ハ是ハ重要視シ
ナケレバナラヌ、申告者ノ意思ヲ尊重
シテ、ソレニ背クヤウナコトハナイト
云フノガ多クノ場合デアアル、而シテ其
申告ヲ稅務署長ノ意見ニ副フベキモノ
ハ之ヲ採用シ、副ハザレバ申告者ノ意
思ヲ尊重シナイト云フコトニシテ、苛
歛誅求ノ具ニ供サレテ居ッタノデア
ルガ、今日モ矢張ソレト何等違フコトハ
ナカラウト思フ、今度ハ純益ヲ捉エル
ト申シマシタケレドモ、控除スル經費
ガ稅務署ニ於テノ御認メニナリ、申
告者ノ意思ガ通ラヌコトニナリマスレ
バ、依然トシテ苛歛誅求ノ外形標準ト
同ジコトダラウト思フノデアリマス、
デアリマスカラ、何等今迄トハ異ル所
ハナク、寧ロ重クナリハセヌカト申ス
ノハ、只今申上ゲタ甲乙ノ區別ノ廢止
ニナツタ結果トシテ大量、殊ニ大部分勤
勞ニ依リテ所得ヲ生ジ居ル、即チ只今
問題ニナッテ居リマス薪炭業者ノ如キ
ハ營業收益稅ニ依テ過重ナル負擔ヲ受
ケルコトニナル、即チ只今迄ハ甲ノ部

第五類第一號 所得稅法中改正法律案(政府提出)外二十七件委員會會議錄 第十二回

類ニ屬シテ居テ、而シテ安イ課率ニ依テ課稅ヲサレテ居ル、然ルニ今回ハ同率ヲ以テ課セラレ、サウ云フヤウナコトニナルト非常ナル増稅ニナルノデアル、而モ只今迄ハ從業者ト云フモノモ考慮ノ中ニ入レテ居ルノデアリマスケレドモ、今回ハサウ云フモノモ無クナッタト云フ結果トシテ、二萬圓ノ賣上ノモノガ一割二歩強増稅トナリ、或ハ五十萬圓賣上ノアル者ハ三割三歩強ノ負擔ヲ増加致スト云フヤウナコトニ相成ルト云フノデ、當業者ハ非常ニ脅威ヲ感ジテ居ルノデアリマス、サレバ斯ウ云フヤウナ資本ト勤勞ト二ツナガラ働イテ居リ、殊ニ此薪炭業者ノ如キモノハ主トシテ勤勞ニ依ル所得デ、運搬ニ非常ナル手數ヲ要スルノデアリマス、ソレカラ是等ノ人ミハ薪炭ヲ貯藏スルノニ非常ナル「スペース」、大キナ場所ヲ要スルノデアル、斯様ナ次第デアツテ、又積上ゲ、積下シト云フコトニ付キマシテモ非常ナル手數ヲ要スルノデアアル、尙ホ之ヲ小サク切碎クト云フヤウナ勤勞ガ、所得薪炭業者ノ主ナル收益トナツテ居ルト思フ、ソレデアルカラ此勤勞ニ對スル收益ト、資本ニ對スル收益ト云フヤウナモノニ付テハ、所得稅ノ方ニハ多少考慮ヲ置カレケレドモ、營業收益稅ノ方ニハ何等考慮ノ餘地ガナイト云フコトハ從來ヨリモ一層酷イコトニナルト思フ、隨テ此營業收益稅ハ所得稅ヨリモ亦從來ノ即チ現行營

業稅ヨリモ洵ニ苛酷デアルト云フヤウナコトニ吾々ハ感ゼラレノデアリマスルガ、サウ云フ意見ハ間違ッテ居ルト云フコトデアラナラバ、ソレ等ニ付テノ御意見ヲ承ツテ參考ニ供シタイト思フ

信ジマシタ、ソコデ外形標準ト、準益トノ中間ニ何カ相當ナル所ノ課稅標準ヲ發見シタイト云フノデ、百方調査研究ヲ致シマシタガ、ソレヲ發見スルコトハ困難デアリマス、外形標準ガイカストスル以上ハ、一步ヲ飛越エテ、直チニ純益ヲ捉ヘテ課稅標準トスル外ハナイト思フテ居ルノデアリマス、即チ是ガ此度營業收益稅法ヲ提案シタ所以デアリマス、其結果ト致シマシテ、從來ノ營業稅法ニ依ル所ノ負擔ニ比較ヲ致シマシテ、各營業者ガ或ハ其負擔ノ輕クナルモノモアリ、重クナルモノモアルト思ヒマスルガ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマス、即チ租稅ノ負擔ノ公平ヲ期スル上ニ於テ企テラレタル所ノ改正ガ、其改正ノ結果トシテ從來ノ負擔ノ不公平ガ匡正サレマスカラ、是迄ノ負擔ニ對シテ輕重ヲ生ズルト云フコトハ是ハ洵ニ已ムヲ得ナイコトデアラウト思ヒマス、只今例ニ舉ゲラレマシタ所ノ薪炭業ハ、是ハ勤勞ノ部分ガ多イデアリマセウ、併ナガラ數多イ所ノ營業者、商業モ工業モアリマセウガ、ソレヲ一々區分致シテ、ドノ營業ニハ勤勞ガ何割働イテ居ル、ドノ營業ニハ資本ノ働ガ何割アルト云フコトハ、一々區分ヲ致スコトハ到底出來ナイ事柄デアリマス、是ニ於テカ大體營業ト云フモノハ、資本ト勤勞トノ共同ノ働ノ結果デアルト云フ其主義ニ依リマシテ之ヲ一率ニ致シ、而モソレハ純益ニ比例シタル所

ノ一率ノ稅率ヲ設ケタト云フコトハ、洵ニ已ムヲ得ヌコトデアラウト考ヘルノデアリマス、多少ノ弊害モアリマセウケレドモ、ソレヲ匡正スル所ノ方法ト云フモノハ發見スルコトガ出來ナイト思ヒマスルニ依テ、大體上カラ致シテ提案ヲ致シタ營業收益稅ガ最モ適當ノ案デアルト思ヒマス、況ヤ屢說明致シマス通り、其全體ノ負擔額ガ從來ニ比シテ四百十數萬圓ヲ輕減スル計算ニナツテ居リマスカラ、其間ニ於ケル寬苛輕重ノアルコトハ已ムヲ得ナイ結果デアルト思ヒマス

○濱口國務大臣 大體高橋君ハ現行ノ營業稅ノ方ガ此度ノ政府ノ提案ヲ致シマシタ所ノ營業收益稅ニ優ルト云フ御考ヲ以テ、御質問ニナツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、サウナリマス、意見ノ相違デアリマスケレドモ、私共ハ今回ノモノノ方ガ現行法ニ比シテ優ルト云フ考ヲ以テ出シテ居ルノデアリマス、今日迄ノ營業稅ニ對スル久シキ間ノ非難ハ屢申シマス通り、外形標準ニ依ル所ノ課稅デアルト云フ點ニ存スルト思フテ居リマス、外形標準ニ依テ課稅ヲスル結果トシテ、其營業者ノ受ケル所ノ營業上ノ利益ニ應能シナイ、固ヨリ物品販賣業ニ付テハ甲乙ト云フヤウナ荒ッ

ボイ區分ガアリマスガ、ソレハ荒ッボイ區分デアリマシテ、現在ノ販賣業ト云フモノヲ甲乙ト云フ種類ニ區分シテ取扱ッテ居ルト云フノデハ、利底各營業者ノ負擔力ニ應能スル譯ニハ參リマセヌ、是ガ即チ營業稅ニ對スル從來ノ非難ノ中心デアッタト思ヒマス、其非難ヲ除クガ爲ニ、何ト致シテモ外形標準ノ課稅ノ方針ヲ根柢カラ覆シテ、サウシテ應能課稅ノ原則ヲ適用スル如キ新ナル組織ヲ設ケル外ニハ途ガナイト政府ハ

○高橋委員 只今ノ御答辯ハ御丁寧ナ御答辯デアリマシタケレドモ、私ノ伺ッテ居ル所ニハ餘リ觸レナイヤウデアリマス、此以上伺ヒマスルコトハ時間ノ經濟上控エタイト思ヒマス、他ノ場合ニ譲リマス、尙ホ此稅制ヲ通ジテ私ガ遺憾ニ思ヒマスノハ、非常ナル御決心ノ下ニ此稅制整理ヲ御ヤリニナツタト云フコトハ、濱口藏相ノ屢御聲明ニ依テ拜承シテ居リマス、殊ニ十數年來野黨ニ在ッテ鍛上ゲタル其決心ノ見ルベキモノガアル、左様デアルナラバ私ハ此稅制ヲ通ジテ、從來ノ問題ニナツテ居リマス、殊ニ社會ノ行詰リニナツテ居リマスル所ノ、近頃ノ思想ノ惡化ト云フコトヲ見マシテモ、勞働者ナドノ煽動モ非常ニ加ッテ居ルト思ヒマ

スガ、寧ロ其煽動者ト云フ者ハ多クハ教育ヲ受ケタ者トカ中產階級トカ、其

組組織ヲ設ケル外ニハ途ガナイト政府ハ

致シ、而モソレハ純益ニ比例シタル所

スガ、寧ロ其煽動者ト云フ者ハ多クハ

教育ヲ受ケタ者トカ中產階級トカ、其

落武者デアット云フ者ガ大部分ヲ占メテ居ルヤウニ見エルノデアリマス、ソレハ色ミナ事ノ結果モアリマセウ、併ナガラ多クノ人ミガ其營業ナリ産業ナリニ於テ、缺陷ヲ生ズル主ナル原因ハ、資本ノ充實ヲ缺イテ居ルト云フコトニ歸スルト思フ、資本ノ充實ヲ圖ルニハ銀行制度ノ改廢デアアル、普通銀行ガ今迄ノヤウナ貸付方法ニ捉ハレナイデ、社會ノ生産業者ノ要スル資本ヲ十分ニ供給スルコトデアルヤウニ思ハレル、今ノヤウニ有價證券ヲ放資物ノ唯一ノ目的トスルト云フヤウナコトヲ、モウ少シ緩和スルコトニ在ルダラウト思ヒマス、ソレハ稅制トハ關係ハナイガ、私ノ伺ヒマスノハ、ソレニ付テ中産階級ヲ擁護スルト云フコトハ、濱口藏相モ御聲明ニナッタ事デアリマス、私ハ中産階級ノ者デ只今困ッテ居リマスノハ借金デアアル、負債デアラウト思フ、其負債ノ利子ヲ此稅制ノ上ニ於テ重大ニ取扱フコトガ出來ナカッタト云フコトハ、私ハ全體ヲ通ジテ非常ナル遺憾ニ思ッテ居ルノデアリマス、稅制ニ付テ非常ナル理想ヲ持ッテ居ラレマス所ノ濱口藏相ハ、是等ノ點ニ付テ在來ノ慣例ヲ破リ、而シテ一大經綸ヲ行ハレルナラバ、私ハ先ヅ此問題ヲ解決シナケレバナラヌト思フノデアリマス、必ズヤ是等ノ問題ハ大ニ講究セラレテ居ルコトト思フノデアリマス、無論多少ハ其見地ガ顯ハレテ居リマセウ、併ナガラ

是ハ極クホンノ香ガ何處カニアッタカト云フヤウナモノデ、大體ヲ通ジテ私ガ申シタヤウナ意味ノ事ハ何等認ムル所ガナイノデアリマス、左様デアリマスカラシテ、私ハ是等ニ付テ、負債ノ利子ト云フモノハ所得ノ方面、殊ニ所得ヲ構成セル分子ノ中ノ負債利子ト云フモノハ之ヲ如何ニ取扱フタカ、又此負債利子ト云フ事ニ付テ改メテ居ラヌノハドウ云フ譯デアアルカト云フコトヲ承ッテ置キタイ、是ハ重大ナル問題デアアル、詰リ負擔ノ權衡ヲ得ナイト云フヤウナモノハ、是等ガ大ナル原因ヲ爲スモノト思フ、負擔ノ權衡ヲ得ナイト云フコトハ不平ニナル、不平ガ即チ思想ヲ惡化スル所以デアアルト私ハ考ヘル、斯様ナ重大ナル事項ヲ非常ニ輕ク御取扱ニナツタカノ如キ疑問ヲ懷イテ居ルノデアリマス、此疑問ヲ解イテ頂キタイ

○黒田政府委員 所得稅ニ於テ一般ノ負債ノ利子ヲ控除スルト云フコトハ、是ハ一ツノ問題デアラウト思ヒマス、御說ノ通り所得ノ中カラ一般ノ負債利子ノミナラズ、一般生活費等ニ要シタ負債ノ利子等モ控除スルト云フコトハ是ハ稅制ノ上ニ於テ一ツノ大キナ問題デアラウト思フ、之ニ付キマシテハ今回ノ整理ニ於キマシテモ相當講究ヲ盡シタノデアリマスガ、併ナガラ一般ノ負債ノ利子ヲ控除スルト云フコトハ、實行上ニ於テ餘程困難ナノデアリマステ、ソレヲ致シマスと云フト所得ノ中

カラ一般ノ生活費ヲ控除スルト云フマデニ行キマセヌト、本當ノ目的ハ達シナイノデアリマス、一般ノ生活費ヲ控除シ、負債ノ利子ヲ控除スルト云フコトヲシナケレバ十分ニ目的ヲ貫徹スルコトガ出來ナイト思ヒマス、是ハ實行上ニ於テモ非常ニ困難ナルノミナラズ、歲入ノ上ニモ非常ナル影響ヲ及ボスコトニナリマス、是ハ到底實行スルコトガ困難デアリマス、困難デアルト云フ一例トシマシテハ、負債ノ利子ト云フ如キモノハ隨分銀行等ノ間ニ於テモ附ケテ居ルノデアリマス、是ハ一方ニ於テ銀行ニ對シテノ檢査ヲシ、稅務行政ノ上カラモ檢査ヲシナケレバナラヌト云フ風ナコトモ生ズルノデアリマス、實行上困難デアリマス、之ヲ公平ニ行ヒマスル上ニ於テハ非常ナ困難ヲ生ズルノデアリマス、ノミナラズ非常ニ歳入ニ影響スルト思ヒマスカラ、到底困難デアルト云フコトニナツタ次第デアリマス

○高橋委員 ソレ以上ハ議論ニナリマスカラ控エマスガ、政府當局ニ向ッテ最後ノ質問ヲ試ミタイト思ヒマスノハ、此稅制案ヲ討議致シマスノニ、參考資材トシテ必要ダト思フノデス、ソレハ從來ハ稅務署ノ調査會ニ於ケル調査ト云フモノヤ、其標準ノ立方ト云フモノガ隨分常識ヲ逸シタヤウナコトガ多イノデアリマス、例ヘバ土地ノ所得ヲ計算スルニ當ッテ、田地ノ所得ヲ計算スル

ニ當ッテ米價ヲ標準トスル、其米價ヲドウ云フ事デ定メルカト云フト、月々ノ最高價格ヲ捉ヘル、ソレハ商人ノ手ニアル相場表ヲ睨ンデ、其最高價格ヲ捉マシテソレヲ加算ヲ致シテ、十二箇月ヲ十二ト云フ數字デ割ッテ、平均シテ其年ノ平均米價ナリト稱ヘル、之ニ依テ田地ノ所得ヲ計算スル、然ルニ地主ト云フモノハ大小ノ區別ガアリマス、而シテ大ナル地主ニ致シマシテモ、殊ニ中農以下ト云フモノハ多クハ出廻期ノ終マデニハ大半賣盡シテ居ル、從來ノ例ニ依リマスと此時期ニ於テ多クハ廉イノデアリマス、廉ク賣ッテ居ルニ拘ラズ、其米價ト云フモノハ高イ時分ニ端境期ニ近イ米價ノ、毫モ賣ラザルモノヲ賣ツタモノトシテ基礎條件ニ御置キニナルト云フコトハ、隨分非常識モ甚シイト思フ、此事ヲ昨年主稅局長ニ御尋致シマシタガ、其ノ機會ニ於テハ遺憾ナガラ御答辯ガナカッタノデアリマス、併シ斯ウ云フヤウナ不條理ナ事ヲヤッテ、ソレデモ恬トシテ耻デナイ、之ガ公平デアルト、斯様ニ言ハレテ居ルノデス、斯ウ云フ事ハ單ニ一例ニ過ギマセヌガ、コンナ例ヲ色々列舉致シマシタラ隨分有リマセウ、斯ウ云フ弊害ト云フモノヲ御認メニナッテ、之ニ付テ是カラ大ニ御注意ニナルト云フヤウナ御方針デアアルカドウカト云フコト、又稅務署、殊ニ地方ノ稅務署ニ於ケル弊害ト云フモノハ、恐ラク先ヅ其一ツノ原

困ト云フモノハ、所謂豫定額ニ達シタ、豫定額以上ニナッタナラバ賞與金ヲ増スト云フヤウナ事ガ從來アッタヤウニ思ハレル、サウ云フ事ハナイト仰シヤルダラウケレドモ、其賞與金ハ事務ノ繁簡ニ依ルト云フヤウナコト御定メニナル、俸給ノ餘ツタモノヲ御分チニナツタト云フヤウナ御説明ガアリマセウケレドモ、實際ニ於テハサウ云フ事ガ地方ノ稅務署ナドニハ非常ニ多イノデアリマス、ソレデアリマスカラ如何ニ收入ヲ舉ゲルカト云フヤウナ事ニバカリ意ヲ用ヒテ居ル、ソレダカラ稅ノ見積方ガ惡イト云フヤウナコトデ、昨年ナドモ非常ニ議論ガアッタ大藏大臣ナドモ五六月頃ニナツタ案外租稅ノ收入ガ多クッタナツト云フヤウナコトヲ言ハレテ居ッタヤウデアルガ、サウ云フヤウナコトモ又一ツノ原因ヲナシテ居ル、サウ云フヤウナ弊害ヲ此際除去サレルト云フヤウナ思召ノ上ニ、此稅制ノ整理案ヲ提出サレタノデアルカドウカト云フヤウナコトヲ 此際承ツテ置キタイ

○黒田政府委員 御述ニナリマシタヤウナ弊害ハナイト期シテ居ルノデアリマシテ、ソレニ付キマシテハ一方ニ於キマシテノ稅務官吏ヲ養成スルト云フコトモ、必要ト考ヘテ居ルノデアリマス、來年度ノ豫算ニモ更ニ此養成費ノ増加ヲ要求シテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、稅務官ノ方ニ於キマシテモ十分ニ是等ノ養成ヲシテ、決シテ苛察誅求ニ互ルト云フヤウナコトノナイコトヲ常ニ期シテ居ル次第デアリマス、今後ト雖モ十分ニソレ等ノ點ニ付テハサウ云フ過チノナイコトヲ期シタイト思ッテ居リマス、唯例ニ御取ニナリマシタ田畑ノ所得ト云フコトデアリマシガ、是ハ現行法ニ於キマシテハ前三年ノ平均ト云フコトニナツテ居リマスノデ、米價ヲ平均致シテ其收穫ニ之ヲ乗ジテ算出ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、是モ其地方ニ於キマスル農家ノ庭渡價格ト云フモノヲ調ベテ、平均ヲ取ルト云フコトニ致シテ居ルノデ、決シテ商人ノ賣價ト云フモノヲ標準ト致シテ居ルノデハナイノデアリマスガ、併ナガラ多クノ中ニハ多少時ニ依レバ間違ノナイコトハ圖リ難イノデアリマスケレドモ、併シサウ云フ手續ニ致シテ居ルノデアリマス、今回ハ是ヲ改メマシテ、所得稅法ニ於テ前年ノ總收入金額カラ必要ノ經費ヲ控除スルト云フコトニ致シマシタカラ、實際ソレ等ノ土地所有者ノ所得ト云フモノヲ標準ニ致スト云フコトニナツテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ過チノナイコトヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス、稅務官吏ガ徵收高ガ多イト云フモノニ對シテ、賞與ヲ多クスルト云フ風ナコトガアルヤウニ思フト云フヤウナ御話デゴザイマシタガ、此事ハ斷ジテアリマセヌ、決シテ收入高ヲ標準ト致スコトハナイノ

デアリマスカラ、此點ハ明ニ申上ゲテ置キマス

○高橋委員 政府御當局ニ對スル質問ハ是デ打切りタイト思ヒマスガ、最後ニ一ツダケ本黨ノ諸君ニ伺ヒタイト思フ、ソレハ本黨ノ諸君ガ熱心ニ義務教育費ノ國庫負擔額ヲ増加スルト云フコトヲ御議論ニナツテ居リ、又御提案モアッタヤウニ記憶シテ居ルノデアリマス、洵ニ結構ナコトト思フ、吾々地方民ハ結構ナコトト思フ、併ナガラ結構ナコトト思フケレドモ、出來ルカ出來ナイカト云フ利害關係ハ別個ノ問題デ、是ハ自分一人ノ考デスカラ是ハ誤解ノナイヤウニ願ヒタイ、而シテ私ノ伺ヒタイト思フノハ昨日アタリ岡本サンデアリマシタカ、色ミナル専門的ノ知識ヲ傾倒サレテ、我黨ニ對シテ御質問デアリマシタガ、其中ニ私ノ腑ニ落チナイコトガ一項アッタ、是ハ岡本サンニ御伺シテ居ルノデハナイノテスケレドモ、義務教育費ノ國庫負擔額ヲ——政府ノ支出額ヲ町村ニ分付スルニ當ッテ、大正十二年デアリマシタカノ改正ノ時分ニ、貧弱町村ニ向ッテ特別ノ交付ヲヤル、全部ノ十分ノ一デアリマシタカ、又其外ニ色ミナル計算ノ下ニモウ少シ殖エルダラウト思ヒマスガ、是等ノモノヲ分付致シマスニ付テ町村ノ能力ヲ計算スルニ、所謂外形標準ヲ以チマシテヤルノデアリマス、其結果トシテ貧弱ナル町村ト目サレルモノガ左様ニ貧弱デナ

クシテ、多クハ貧弱デアッテ、殊ニ其住民ガ負債ニ苦ンデ居ルヤウナ土地ニハ豪モ分付ヲ受ケナイ、貧弱町村ト見ラレナイ、即チ山間部ノ外形カラ見マスト云フト、國稅モ少ナシ、縣稅ノ負擔モ少ナイ、詰リ地價ナドガ非常ニ安イ部分ニ於テハ昨日三土君カラ説明ヲサレタヤウナ工合ニ、サウ云フ所ニハ外ノ收入モアッテ隨分富裕ナ所ガアル、優良町村ト目サル、多クハサウ云フ所ニアナル、平地ニ於ケル殊ニ都會ニ近イ所ノ町村ナドト云フモノハ是ト反對デ、地價ガ高イ、又不在地主ガ多イ、併ナガラ其處ニ納マル所ノ直接國稅ナリ、縣稅ノ戶數割ナドト云フモノハ平均シテ多額ニ上ル、サウ云フ所ノサウ云フ實情カラ致シマシテ、是等ノ町村ニ於テ此低部ニ於ケル所ノ町村ハ、貧弱ト目セラレテ居ナイデ、山間部ニアルヤウナ實力ノ負擔能力ノアル所ガ貧弱町村ト目サレテ、實際ノ目的ニ副ハナイヤウナ所ガ多イ、教育費ノ國庫負擔額ヲ論ズルニハ、是等ノコトハ十分ニ考究シナケレバナラヌト思フノデアリマスガ、本黨ノ諸君ハ是等ニ付テドウ云フ御所見ヲ御持チニナルカ、御提案ノ趣旨等ヲ討議致シマス上ニ必要ダト思ヒマスカラ、簡單デ宜シウゴザイマスカラ、御所見ノ一端ヲ御漏シヲ願ヒタイ

○小川委員 只今高橋サンカラ御尋ガアリマシタガ、本黨ガ小學校義務教育費贊國庫負擔金額ヲ増スト云フ場合ハ、

一ツハ教育改善ニ資シ、一ツハ以テ市

町村ノ財政ニ餘裕ヲ與ヘルト云フヤウ

ナ趣旨ヲ提案シタモノデアリマス、

ソレガドウ云フ風ニ分配致シマスカト

云フコトハ、是ハ稅制或ハ稅制整理ニ

關シ、小學校教育費國庫負擔額ヲ增

スト云フ根本主義ニ付テハ、是ハ關係

ナイコトデアリマス、勿論只今ノ分配

ノ仕方ガ善イ、惡イト云フ問題ハアリ

マス、御話ノ通りニ貧弱町村ニ特ニ惠

ンデヤッテ居ルガ、其貧弱町村ナルモノ

ハ現在ニ政府ノ分配シテ居ルノガ却テ

貧弱ニ非ズト云フヤウナコトガアル、

サウ云フ場合ガアルダラウト思ヒマス

ガ、是ハ吾々ノ提案ヲシテ居ル所ノ本

案ニ付テハ直接關係ヲ持ッテ居リマセ

ス、サウ云フコトガイカスト云フコト

ハ、現在ノ小學校教育費國庫負擔額ガ四

千萬圓デアアル、政府ハ今回六千萬圓ニ

スルト云フコトデアリマスガ、是ハ共

通シテ起ル問題デアリマス、デ吾々ノ

案ハ小學校教育費國庫負擔額ト云フモ

ノヲ八千萬圓ニスルト云フノデ、其間

ニソレヲ配分スルト云フコトニ付テ起

ル所ノ多少公平ナラザルト云フ點ニ付

テハ、今日ノ現行制度ニ於テモ、政府案

ニ於テモ、吾々ノ案ニ致シマシテモ、是

ハ等シク起ル問題デアリマス、成タケ

其配分ヲ公平ニシヤウト云フ考ハ私ハ

高橋君ト感テ同ジクスルモノデアリマ

ス

○高橋委員 時間ガ大分經チマシタカ

ラ、私ノ質問ハ是デ打切りマス

○元田委員長 次ハ宮島幹之助君デア

リマスガ、宮島君ニ申述ベマスガ、貴

方ノ御尋ニ付テハ衛生局ノ管轄ノコト

ガ多々多イデアラウト思ハレテ、政府

委員以外ニ山田君ト云フ御方ガ説明

ニ當リマシテ、尙ホ詳シクシタイト云

フ御申出ガアリマス、ソレダケヲ申上

ゲテ置キマス

○宮島委員 私ハ國民ノ保健ノ見地カ

ラ致シマシテ、特ニ賣藥稅ニ付テ大藏

大臣竝ニ內務大臣ノ御答辯ヲ御願スル

ノデアリマスガ、本日ハ內務大臣ガ御

出ニナリマセヌカラ、政府委員カラ御

説明ガアッテモ差支ナイ、過日ノ本會議

及此委員會ニ於テ度々大藏大臣カラ御

説明ガアリマシタガ、賣藥稅云フモノハ

細民ノ必需品デアアルカラ、之ニ課稅ス

ルノハ無情ナル政治デアアル、故ニ今回

ハ廢稅案ヲ出シタノデアアルト云フ御説

明デアリマス、此説明ヲ承ッテ私ニハ賣

藥及賣藥稅ト云フモノニ對シテノ意義

ニ關シテ、大ナル疑ヲ起シタノデアリ

マス

(元田委員長長席ヲ退キ三

輪理事代リ著席)

賣藥稅ト云フモノハ御承知ノ通り通行

稅デアルトカ、或ハ醬油稅、織物稅トハ

全ク性質ノ違ッタモノデアリマシテ、單

リ收稅ノ目的バカリデナク、一面ニ於

テハ此賣藥取締ノ爲ニ作ラレマシタ賣

藥法ト相俟テ賣藥ノ濫造、濫費ト云フ

コトヲ取締ル爲ニ設ケラレタト云フコ

トハ、是ハ今日ニ至ッテモ變ッテ居ラヌ

ト思フノデアリマス、現ニ明治十五年

ニ賣藥印紙稅規則ト云フモノガ設ケラ

レマシタガ、其後明治三十八年ニ於テ

賣藥稅法ト改メラレタノデアリマス、

當時政府委員トシテ現在ノ若槻總理大

臣ハ提案ノ趣旨ヲ説明ニ當リ、又委員

會等ニ於テハ委員ノ質問ニ對シテ應答

セラレタノデアリマス、此賣藥稅法ハ

明治四十三年、明四十四年、及大正十二

年ニ於テ改正セラレマシタガ、前後ヲ

通ジテ當局者ノ賣藥ニ對スル解釋ト云

フモノハ一向變ラナイノデアリマス、

即チ一貫シテ賣藥ハ効能書ノ通り實際

上左程ノ効顯ガアルモノデナイ、併ナ

ガラ又サウ害ノアルモノデナイ、且又

此賣藥ニ對シテ一割位ノ稅ヲ掛ケルコ

トハ、消費者ニ取ッテ著シク重キ負擔ニ

ナルモノデナイト云フヤウニ見ラレテ

居ルノデアリマス、所ガ今回急ニ賣藥

稅ト云フモノヲ廢止セラレマシタガ、

ドウ云フ理由デ政府ハ從來ノ見解ヲ御

捨ニナツタカ、其理由ヲ一應承リタイト

思ヒマス

○濱口國務大臣 此問題ハ從來屢御答

ヲ致シテ置キマシタ通りデアリマス

ガ、其要點ダケヲ申シマスルト、賣藥ハ

必ズシモ其効能書ニ書テアル如キ効能

ガアルトモ私ハ確信致シテ居リマセ

ヌ、併ナガラ賣藥ト云フモノガ國民ノ

間ニ消費サレテ居ル現在ノ實況カラ考

ヘマシテ、無論例外ハアリマスケレド

モ、大體ニ於テ細民ノ消費スルモノト

ナツテ居リマス、ソレ故ニ細民ノ負擔ヲ

輕減致シ、社會政策ノ一端ヲ行ハンガ

爲ニ今度ノ整理ニ當ッテ之ヲ廢止セン

トスル所以デアリマス、前ノ政府委員

ノ説明ヲ御引用ニナツテ、此度政府ガ方

針ヲ變ヘタノハドウ云フ理由デアアルカ

ト云フ意味ノ御質問モアリマシタガ、

只今御讀上ゲニナツタ當時ノ政府委員

ノ説明デモ明ナルガ如クニ、負擔ニ堪

ヘ難イ程ノ重イ稅デモナイカラト云フ

説明ガアッタノデアリマス、負擔ニ堪

難イトモ考ヘマセヌガ、苟モ社會政策

ヲ標榜シテ之ヲ實行スルガ爲ニハ、斯

ノ如キ稅ヲ廢スルノガ適當ナリト認メ

タ次第デアリマス、其賣藥ト云フモノ

ノ實體ガ果シテ完全ニ健康ヲ保ツニ適

スルヤ否ヤト云フ問題ハ、私ハ敢テ此

際論斷ヲ致シマセヌ、唯其賣藥ノ消費

ノ多キニ鑑ミテ、大體ニ於テ細民ノ負

擔ニ歸シテ居ル、ソレ故ニ其負擔ヲ輕

減スルガ爲ニ社會政策的見地カラ之ヲ

廢止セントスルモノデアリマス

○宮島委員 只今ノ御答辯デ大體大藏

大臣ノ御考ノ程度ガ分リマシタガ、更

ニ御尋致シテ見タイノハ、賣藥稅ヲ御

廢止ニナルニ付テ色々ナ取締上ニ於ケ

ル今日マデノ方法ヲ改正シナケレバ、

付テハ之ニ伴ッテ賣藥法ノ改正案ト云
フモノガ當然御提出ニナルコト期待
致シテ居ッタノデアリマス、併ナガラ今
日マデ何等御提案ガナイノデアリマ
ス、是ハ國民ノ保健上カラ考ヘマシテ、
吾々ノ大ニ心配シテ居ル點デアリマ
ス、例ヘテ申シマスナラバ賣藥稅法ト
云フモノガ廢止サレマス、斯ウ云フ
缺陷ガアルノデアリマス、即チ賣藥稅
法ノ第四條ニハ、必ズ印紙ヲ賣藥ニ貼
リマシテ、其印紙ヲ破ラナケレバ中ノ
藥ヲ出スコトガ出來ナイヤウニ規定シ
テアリマス、サウシテ之ヲ破ッタ物ヲ賣
ツタ場合ニハ嚴重ナ制裁ヲ受ケルコト
ニナッテ居リマス、今回賣藥稅法ガ廢止
サレマス結果、賣藥ノ性質ト致シマシ
テ色ミナ所ニ賣藥ガ轉々シテ販賣サレ
ルノデアリマス、其間ニ不正ナ商人ガ
アリマシテ其内容ヲ取替ヘ、信用ノアル
賣藥ノ包紙中ニ持ッテ行ッテ如何ハシキ
藥ヲ入レタ場合ハ、國民ノ保健上由々
シキ大事ヲ起スノデアリマス、是等ノ
例ニ鑑ミマシテモ何等カ賣藥法ト云フ
モノニ改正ヲ加ヘナケレバ、色ミナ故
障ヲ起スコト、吾々ハ考ヘテ居リマ
スガ、是ハ內務衛生當局ニ於テドウ御
考ニナルカ、ソレヲ御伺致シマス

ト受賣トガアリマシテ、受賣ハ調製者
ノ拵ヘタノヲ其儘受賣スルノデア
ルガ、自分ガ途中デ手ヲ加ヘル譯ニハ行
カスコトニナッテ居リマス、只今御話ノ
ヤウニ封ヲ壞ハシテ外ノ物ヲ入替ヘレ
バ、是ハ矢張現行法デモ違法ナ行爲ニ
ナルダラウト思ヒマス、現在デモ印紙
ヲ剝セバ——サウ云フコトガ出來ナイ
コトモアリマセヌガ、是ハ印紙ガアル
カラ少イト思ヒマスガ、將來デモサウ
云フコトヲスレバ此規則デ——藥ノ調
製販賣ノ許可ヲ得タ者デナケレバナラ
ヌノデアリマス、中ニ入ッテ居ルモノハ
他ノ物ガ入ッテ居レバ、ソレハ許可ヲ得
ズニ賣藥ヲ賣ッタモノト云フコトニナ
ッテ、是ハ罰シ得ルコトト思ッテ居リマ
ス、其他稅法ガ變ッタ直グ之ヲ改メナ
ケレバナラヌト云フ所ハ、差當リ發見
セヌヤウニ思ッテ居リマス

○宮島委員 只今ノ衛生局長ノ御答辯
ニ對シテハ私ハ甚ダ不満足ヲ感ズルノ
デアリマス、如何ナル點ニ於テ之ヲ取締
リ得ルカト云フコトヲ現行ノ賣藥法デ
一向差支ナイト云フノハ、甚ダ不親切
ナ答辯デアリマシテ、私ハ満足致サナ
イノデアリマス、此上御質問申上ゲマ
シテモ駄目デアラウト思ヒマスカラ、
此位ニ止メテ置キマス、更ニ御尋シタ
イノハ去ル三十一議會ニ於キマシテ、
現在ノ賣藥法ト云フモノガ提案サレマ
シタ際ノ政府委員ノ説明ニ依リマスル
ト、賣藥ト云フモノハ單ナル商品デナ

イト云フコトヲ繰返シ々々々々明言サレ
テ居ルノデアリマス、然ルニ今回ハ之
ヲ單ナル商品ト御覽ニナリマシテ、或
ハ醬油、或ハ織物ト一樣ニ大藏大臣ニ
於テハ御觀察ニナッテ居ルヤウニ私ハ
理解シタノデアリマス、是ハドウ云
フ譯デアリマセウカ、今日日本ニ行ハ
レテ居ル賣藥ト云フモノハ秘密藥デ
アッテ、其成分ヲ公示致シマセヌ、即チ
需要者側ニ於テハ何等其成分ヲ知ルコ
トガ出來ナイ、隨テ効能書ヲ讀ンデ之
ヲ用ユル外ハナイノデアリマス、即チ
賣藥ト云フモノハ、由ラシムベシ知ラ
シムベカラズ、式ノモノデアリマシテ、
文化ノ進ンダ今日存在ヲ許スコトノ出
來ナイ品物デアリマス、是ハ日本バカ
リデハナイ、外國デモ此秘密藥ト云フ
モノニ對スル取締ハ非常ニ嚴重デア
ル、衛生局長モ御存ジノ通り、佛蘭西等
ニ於テハ秘密藥ト云フモノハ販賣ヲ許
シテ居ラナイノデアリマス、英國ニ於
テハ秘密藥ニ對シテハ約一割ノ税金ヲ
課シテ居ルノデアリマス、即チ是等ノ
點カラ考ヘテ見マシテモ、此秘密藥デ
アル賣藥ニ於テハ、明治ノ初年モ大正
ノ今日モ何等其主義ニ於テハ變ッテ居
ラヌノデアリマス、隨テ今回賣藥稅ト
云フモノヲ御廢シニナルニ付キマシテ
ハ、賣藥法ニ改正ヲ施シ、其成分ヲ明記
セシムル所ノ方法ヲ御執リニナルノデ
アルカドウカ、醫者ハ患者ガ來テモ賣
藥ノ性質ガ分ラヌカラ、斯ウ云フ賣藥
ヲ飲ンダ宜カラウト、云フコトガ言
ヘナイ、患者カラ、斯ウ云フ賣藥ヲ飲ン
デ見タイガドウデセウト云フコトヲ相
談ヲ受ケテモ、明答ヲ與ヘルコトガ出
來ナイノデアリマス、果シテ現政府ハ
廢稅ヲ行ハルルトシマシタナラバ、此
秘密ニナッテ居ル所ノ賣藥ノ處方ヲ強
制的ニ公示セシムル手段ヲ講ゼラルル
御意思ハナイカ、此點ヲ御伺致シマス

○山田衛生局長 只今ノ御質問ニ御答
申上ゲマスガ、賣藥ニ付キマシテハ大
體斯ウ云フ考ヲ持ッテ居リマス、ソレハ
病氣ニナッタ場合ニハ良イ御醫者様ニ
早ク掛ルガ宜シイ、是ハ理想デアアル、併
シ中ニ理想通りニハイカヌ場合ガ多イ
カラ、現在ノ世ノ中トシテハ賣藥モ或
ル程度ニ於テ必要デアルト云フ考ヲ
持ッテ居リマス、只今御話ノ成分ヲ明記
スルト云フコトハ、是ハ事實ニ於テ賣
藥ヲ禁止スル近イ結果ニナリハシナイ
カト思フ、只今モ御話ノヤウニ、賣藥ヲ
獨逸デハ秘密藥ト云ッテ居リマス、英吉
利ヤ亞米利加デハ御承知ノ通り特許藥
ト稱シテ、醫藥ト區別シテ、醫藥ハ成分
ヲ明示シナケレバナラヌト云フコトハ
今日ノ日本ノ規則デモナッテ居リマス、
ソレハ醫者ナドガ成分ノ分ラナイヤウ
ナ藥ヲ使フ筈ハナイ、醫者ニ使ッテ貰フ
藥デアルカラ、其成分ヲハッキリ書イテ
賣出ス、併シ賣藥ニ付キマシテハ、此成
分ヲ明示セシムルト云フコトハ、結局
秘密藥ヲ無クスルコトニナルノデアリ

マスカラ、是ハ非常ニ重大ナ問題デア
ルト私ハ考ヘテ居リマス、ソレハ結局
家傳藥トカ、秘傳藥トカ云フモノヲ禁
止スルコトニナル、是ハ成分以上ノ問
題デナイカト考ヘル次第デアリマシ
テ、今日サウ云フモノヲ明示セシムル
ヤウニシタラ宜カラウト云フ考ハ持ッ
テ居ラヌデアリマス

○三輪委員長代理 諸君ニ申シ遅レマ
シタガ、發言中デアリマシタカラ御報
告ヲシナカッタノデアリマスガ、御覽ノ
通り元田委員長ガ亦病氣デ私ニ更代ヲ
求メラレテ、退席サレマシタカラ御承
認ヲ願ッテ置キマス

○宮島委員 只今ノ御答辯ニ依ルト、
賣藥ノ内容ヲ明示セシムルト云フ意思
ノ無イコトハハッキリ致シマシタ、併シ
只今衛生局長ノ申サレタ所デハ、賣藥
ニ内容ヲ明示セシムレバ禁止ニナルト
申サレタガ、現ニ「ミツワ」ノ賣藥ナド
ハ其内容ヲ明記シテ居リマスガ、決シ
テ發賣ヲ止メテハ居ラヌデアリマス
カラ、其點ハ私カラ申添ヘテ置キマス、
更ニ伺ヒタイノハ、水道ハ吾々ノ保健
上ニ極メテ重要デアルト云フコトハ、
私カラ特ニ申上ゲル必要モナイノデア
リマス、我國ニ於キマシテ、既ニ主要ナ
ル都市ニ水道ガ敷設セラレマシテ、其
結果死亡率ガ減退シタコトハ著シイモ
ノデアリマス、併ナガラ今日ノ現狀ヲ
見マスルト、悲シイ哉、財政ノ關係ヨリ
致シマシテ毎年支出サレル額ハ少ナ

イ、毎年新ニ認可サレル水道ノ數ト云
フモノハ二乃至三位ニ過ヌノデアリマ
ス、此勢ヲ以テ致シマスルト云フト、今
後二十數年ヲ經ナケレバ、今日市制ヲ
布イテ居ル所ノ市民全部ハ水道ヲ用ヒ
得ヌコトニナルノデアリマス、政治ノ
要道ハ國民ヲシテ病マザラシムルニア
リト云フコトハ、之ハドナタモ御考ニ
ナルデアリマセウガ、斯ル狀態デ水道
ノ費用ヲ増スコトナク、賣藥稅ヲ今回
御廢止ニナッタノハ、水道ヨリモ賣藥ガ
大事デアルト云フ御考デアルカ承リタ
イ、又モウ一ツハ内務省ニ於テハ震災
前デアッタト思ヒマスガ、各府縣知事ニ

命ヲシテ現在邊陲ノ地ニ於テ醫師ノ配
置ナキ所ニ公費ヲ以テ醫師ヲ配置シナ
ケレバナラヌ村ヲオ調べニナッタコト
ガアル、處ガ其調査ニ依リマスト云フ
ト、全國ニ於テ公費ヲ以テ醫師ヲ配置
シナケレバナラヌ村ハ、千三百有餘ニ
及ンデ居ルノデアリマシテ、其人口約
六十萬、是等ノ事ニ對シテ内務當局ハ
未ダ何等ノ施設モシテ居ラヌノデアリ
マス、即チ是等醫療ヲ受ケルコトノ出
來ナイ國民ノ多數、而モ是ハ諸君ノ大
事ニサレル所ノ農民デアリマス、此農
民ガ醫者ニ掛ルコトノ出來ナイ狀態ニ
ナツテ居ッテ、一方ニハ賣藥稅ヲ廢メテ、
恰モ是等ノ困ッテ居ル人達ニ向ッテ賣藥
デ我慢シテ居レト云ハヌバカリニ聞エ
ルノデアリマス、果シテ千十數萬圓ノ
賣藥稅ヲ廢スル餘裕ガアレバ、何故ニ

是等焦眉ノ急ニ追ッテ居ル水道ト、醫療
機關ヲ完備シナイノデアルカ、是等ガ
賣藥稅ヲ廢止スルヨリモ急デナイト云
フ御見込ニナツテ居ルノデアルカ、内務
當局ノ御答辯ヲ煩シタイ

○山田衛生局長 只今御質問ニナリマ
シタ上下水道ノ普及ト、醫療機關ノ普
及ト云フコトハ、是ハ衛生上ヨリ洵ニ
必要ナコトデアッテ、出來ルダケ此事ガ
早ク思フヤウニ現實ニナルコトヲ希望
シテ居ルノデアリマスガ、ソレト賣藥
稅ノ廢止トハ是ハ私共直接ニ關係ハナ
イモノデアアル、必要ナ事業ハ必要ナ事
業トシテ經費ヲ出シテ貰フ、收入ノ方
ハ收入ノ方デ適當ニ其收入ヲ圖ッテ貰
フ積リデ、別ニ兩方ヲ比較シテ出シタ
ト云フ譯デアアリマセヌ

○宮島委員 甚ダ要領ヲ得ナイ御答辯
デ、私ハ満足スル外ハナイ(笑聲)尙ホ
此上御尋シテモ内務大臣ハ居ラレマセ
ヌカラ、御答辯ハ出來ナイデアリマセ
ウカラ、更ニ大藏大臣ニ御願シテ御答
辯ヲ煩シタイ、今回政府ハ「サイダー」
トカ「ラムネ」等清涼飲料ニ對シ新シク
課稅セラルルコトニナルノデアリマス
ガ、御承知ノ通り賣藥ニハ一種ノ口中
清涼劑デ仁丹トカ清心丹トカ云フ如
キ、口中清涼劑ガアリ、ソレガ多額ニ消
費サレテ居ルノデアリマス、一面ニハ
同ジク清涼劑デアアル水ニハ課稅ヲシ、
一方ノ清涼劑デアアル所ノ仁丹、其他斯
ル類似ノ物ニ對シテハ無稅ニナサル、

其間ニ稅ノ不均衡ト云フモノガナイデ
アリマセウカドウカ、伺ヒタイノデア
リマス、現ニ仁丹ノ如キハ一種ノ嗜好
品トシテ下層社會ニハ用ヒラレナイノ
デアリマス、中流以上ノ社會ノ人ニ常
ニ用ヒラレル所デアリマスコトハ、是
ハドナタモ御承知デアアル、然ルニ昨年
虎列拉ノ流行シマスルヤ、此仁丹ノ如
キハ盛ニ廣告ヲシマシテ、虎列拉ノ豫
防ニハ仁丹ガ第一「ナドト云ッテ居ッ
タデアリマスガ、是ハ誰モ信用スル人
ハアリマセヌケレドモ、斯ル弊害ノア
ル、何等病ヲ治スニ關係ノナイ賣藥モ
中々多イノデアリマス、之ニ對シテ免
稅シテ恩典ヲ與ヘナガラ、一方ノ清涼
劑ニハ新シキ稅ヲ課セラレルト云フコ
トハ、是ハ矛盾ハシナイカト云フコトヲ
窃ニ疑フノデアリマス

○濱口國務大臣 清涼飲料稅ヲ新ニ設
ケマシタノハ、「ビール」ノ増稅ノ結果
「ビール」ノ飲用ガ清涼飲料ノ方ニ移ル
ト云フコトヲ恐レマシテ、其「ビール」
ノ稅源ヲ擁護スルト云フコトガ第一ノ
理由デアアルノデアリマス、即チ清涼飲
料ニ對シテ課稅致シマシテ、賣藥ノ中
ニハ清涼劑ハアリマセウガ、是ハ飲料
デナイニ依テ、「ビール」ノ代用ニハナ
ラヌノデ、此方ニハ政府ハ考ヘナカッタ
ノデアリマス

○宮島委員 御名答ニ感服致シマシ
タ、更ニ大藏大臣ニ御伺シタイノデア
リマスガ、大藏大臣ノ御説明ヲ伺ッテ居

リマスルト云フト、織物並ニ醬油稅ト共ニ賣藥ノ稅モ同ジク御廢止ニナツタノハ、政府ハ通行稅ナドト違フテ、是等ノ商品ト云フモノハ、政府トシテ之ヲ値下セシムル所ノ統制力ガナイト云フ御話デアッタノデアリマスガ、成程醬油織物ノ如キハ單純ナル商品デアリマシテ、使用スル者ニ於テハ大概織物トカ醬油トカノ質ヲ能ク辨ヘ、又其價値モ能ク知ルコトガ出來ルノデアリマス、所ガ賣藥ニ至ッテハ先程モ申上ゲマシタ通り、單純ナル商品デアリマセヌ

マス、之ヲチットモ御考ニナラヌヤウニ思フノデアリマスガ、此點ニ付テ御考ハナイノデアリマスガ、モウ一度御伺シタイノデアリマス

○山田衛生局長 賣藥稅ガ無稅ニナリマスレバ、申ス迄モナク賣藥營業者ハソレダケ樂ニナルノデアリマスカラ、一般需要者モ勢良イ物ヲ作レバ能ク買フト云フコトニナツテ自然値ガ下ルダラウト思ヒマス、併シ其他ノコトニ付キマシテハ私門外漢デアリマスカラ……

○宮島委員 只今衛生局長ハ私ノ問ニ對シテ不得要領ノ返事ヲサレタノデ、私ハ甚ダ了解ニ苦ムノデアリマス、ソレデ私ハ寧ロ大藏大臣ノ御説明ヲ願フタ方ガ適當デアラウカト思ヒマス、繰返シテ大藏大臣ヲ煩シマス

○濱口國務大臣 甚ダ失禮デアリマシガ、モウ一遍御質問ノ要點ダケヲ……

○宮島委員 要點ダケヲ申上ゲマセウ、即チ醬油、織物等ノ如キモノハ普通ノ商品デアリマスルガ故ニ、或ハ其質ヲ檢査シ其値打ヲ知ルコトガ出來ルノデアリマス、隨テ一割高ケレバ高イト云フコトガ直グ分リマス、隨テ購買者ノ方ニ於テ分ルモノデアリマスルカラ、營業者ノ間ニ競争ガ起リマシテ、自然免稅サレタ稅金ダケハ安クナルト云フ結果ヲ期待シ得ル、賣藥ニ至ッテハ全ク内容ガ不明デアリマス爲ニ、其品物ヲ吾々ハ値打付ケルコトガ出來ナイ、

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 賣藥ノ内容ト申シマスノハ、其成分ガ明記サレテ居リマセヌ爲ニ、何カラ成ッテ居ルカト云フコトガ分リマセヌ、隨テ素人デアアル需要者側ニ於テハ、其値打ヲ知ルコトガ出來ナイノデアリマス

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

隨テ需要者側ニ於テ其價段ヲ判定致スコトハムヅカシイノデアリマス、然ルニ法律ノ改廢ニ依リマシテ、其價段ヲ引下ゲシムルコトノ統制力ヲ政府ハ持ッテ居ラレルノデアリマス、現ニ他ノ細菌的ノ製品、例ヘバ血清デアルトカ、或ハ豫防疫デアルトカ、云フヤウナモノハ認可制度ヲ取ラレマシテ、其製造方法ナリ、其材料ナリ或ハ其代價ナリヲ一々届出デセシメテ、之ヲ不當ナリト認メマスレバ、之ヲ改正サセ、之ヲ認可スルノデアリマス、斯ル方法モアル

スルト云フト、ソレダケ賣藥ノ價段ガ下ルベキ筈デアアル、然ルニソレガ中間ノ商人ノ利益ニナツテ、消費者ノ利益ニナラヌ場合ガアル、若シ賣藥業者ト云フモノガ、其品質ヲ惡クシ或ハ其分量ヲ少ク致シテモ、ソレガ消費者ニハ能ク判斷ガ出來ナイ、ソレ故ニ結局消費者ハ從前ノ通り負擔ヲ受クルト云フ憂ガナイカ、斯ウ云フコトニ歸着スルト思ヒマス、其點ニナリマスルト云フト、是ハ何ト致シマシテモ、營業者ノ自由競争ニ依テ價段ガ印紙代ダケ下ルト云フコトヲ期待スル外ハアルマイト思ヒマス、其品質ノ十分ニ分ラヌト云フ點カラ申シマスレバ、是ハ其他ノ品物ニ於テモ、程度ノ差ハアリマスケレドモ、相當ニアリ得ルコトデアリマス、要スルニ問題ハ程度ノ問題デアリマス、尙ホ印紙ヲ廢メマシタ結果トシテ、其内容ニ付テ、或ハ保健衛生上有害ナリト思ハレルコトガアリマスナラバ、是ハ內務省ノ關係ニ於テ相當ノ取締ヲスルコトダラウト思ヒマス、要スルニ營業者ノ競争ニ依テ、印紙ノ無クナツタケ下ル傾向ヲ持ッテ居ルカト私ハ思ヒマス

○濱口國務大臣 只今ノ御質問ノ賣藥ノ内容不明ト申シマスルコトハ、ソレハ印紙ヲ取ッテ包紙ヲ明ケテ見ナケレバ分ラヌカラト云フ意味デアリマセウカ、ソレヲ明瞭ニ承テ見タイト思ヒマス

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

○濱口國務大臣 御質問ノ要點ハ斯ウ云フコトデアリマスルカ、賣藥稅ヲ廢

○宮島委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明ニ依リマシテハ、何等政府ハ此賣藥ト云フモノノ價段ヲ統制スルト云フコトニ付テ御考ガナイヤウデアリマスガ、若シ左様ニナツタナラバ、今日迄毎年取ッテ居ラルル所ノ一千十數萬圓ノ稅金ト云フモノハ、果シテ中間者ノ壟斷

ニ歸シナイカドウカト云フコトハ、國民一般ノ大ニ疑ヲ抱ク所デアラウト思フノデアリマス、現ニ賣藥稅ノ廢止ト云フコトハ、屢賣藥業者カラ叫バレテ居リマスガ、國民ノ間カラハ何等聞ク所ガナイノデアリマス、而モ此賣藥稅廢止案ノ議場ニ提出サレマスルヤ、日本全國ノ賣藥業者ハ、此廢稅ノ出來ルカ否カト云フコトハ、吾々當業者ノ死活ノ分ルル所ダナドト絶叫シテ居ルノデアリマス、益々吾々ハ以上ノ疑惑ヲ深クスルノデアリマシテ、此點カラ考ヘマシテモ政府御當局ニ於キマシテハ、親切ニ何等カノ方法ヲ講ジ、是等國民ノ疑惑ノ念ヲ御一掃ナサルコトガ必要デアラウト思フノデアリマス、而シテ折角免稅セテレモ或ハ印紙稅廢止ノ結果賣藥ノ濫造濫用ノ弊ガ起リ、國民ハ其弊害ヲ受ケ、一方ニハ折角免稅サレタケレドモ其一千十數萬圓ノ金ハ中間者ガ壟斷スルコトナリ、何等國民ノ負擔輕減ニナラヌト云フヤウナ結果ニナリマシタナラバ、政府當局者ハドウナサルノデアリマスルカ、ドウカ私ノ政府當局ニ向ッテ望ム所ハ、親切ニ考究ニ相成リ賣藥法ト云フ一ツノ立派ナ法律ガアルノデアリマスルカラ、之カ改正シテ完全ナルモノトシ、サウシテ其統制力ヲ發揮シテ、此弊害ヲ未發ニ防ギ、又國民一般ノ負擔輕減ニナルヤウニ御努ニナル方ガ當然デハナイカト思フノデアリマス、是ハ私ノ希望デ

アリマスルガ、ドウカ政府當局ニ於テモ篤ト御考慮ヲ煩シタイノデアリマス、私ノ質問ハ是デ終リマス

○濱口國務大臣 只今ノ最後ノ御發言ニ對シマシテ、私一言ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、宮島君ノ御心配ニナル如キ、結果ハ大體ニ於テナイダラウト思ッテ居リマス、若シ此廢稅ノ結果ト致シマシテ、御心配ニナルガ如キ結果ガ現ハルト云フガ如キコトガアリマシタナラバ、ソレハ十分ニ調査研究ヲ致シマシテ、相當ノ方法ヲ、若シアリマシナラバ講ズルト云フコトニ致シタイト考ヘマス、ソレカラ御話ノ中デ、斯ウ云フ御言葉ガアリマシタ、賣藥稅ノ廢止ト云フコトニ付テハ、賣藥營業者ノミノ聲デアアル、國民全體ハサウ云フコトヲ希望シテ居ルノデハナイト云フ御話ガアリマシタガ、其點ニ付テハ私ハ此稅制整理ノ立案者ト致シマシテ、一言ヲ申上ゲテ置カケレバナラヌ、賣藥ヲ多ク消費致シマス者ハ、無論屢申上ゲマス通り例外ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ細民ノ消費スル所デアル、殊ニ山間僻地等、醫師ヲ呼フニ暇ナイ場合若クハ醫師ノ乏シイ場所ニ消費サレルノデアリマス、サウ云フ部類ノ國民ノ消費ニ屬スルモノデアリマス、山間僻地ニ居ル所ノ細民、又山間僻地ニ限ラナイ、一般ニ全國ニ散在シテ居ル所ノ細民ト云フモノハ、例ヘ租稅ノ上ニ於テ、又其他ノ政治ノ上ニ於テ、自

分ノ不平ヲ訴ヘントシテモ、訴ヘル所ノ機關ヲ持ッテ居リマセヌ、又ソレダケ集團シテ居リマセヌカラシテ、散在シタル聲デアアルガ故ニ、其聲ハ往々ニシテ中央ニ徹底シナイ虞ガアリマス、ソレ故ニ若シ政治ヲ執ル者ガ、全國ニ非難ノ囂々タルト云フ理由ノミヲ以テ、ソレニ向ッテ改廢ヲ行フコトニ止メ、サウシテ非難ノ聲ガ聞ヘヌト云フ理由ヲ以テ、全國ニ不平ガ存在シナイモノト信ジテ、何等ノ改善出來ナイ場合ニ於キマシテハ、ソレハ由々敷問題ヲ生ズルダラウト思ヒマス、ソレ故ニ政治ノ局ニ當リマス者ハ、是ハ御互ニ能ク國民生活ノ實際ト云フコトニ十分ニ注意ヲ加ヘマシテ、縱令非難ノ聲ノ高イト低イト有ルト無イトニ拘ラズ、其民情ヲ洞察致シマシテ、適當ナル處置ヲ執ルト云フコトガ爲政者ノ務メダラウト思ヒマス、政府ガ賣藥印紙稅ノ廢止ニ依リマシテ、廢止ニ對スル所ノ國民ノ希望ト云フモノガ左程高クナイニ拘ハラズ、此度ノ稅制整理ヲ機會ト致シ、是ガ廢稅ヲ斷行致シマシタノハ其主義ニ出デルモノデアリマス

○宮嶋委員 只今大藏大臣ノ御話ヲ承リマシタガ、既ニ賣藥稅ヲ廢止スルニ付テ、色々ノ弊害ノ起ルト云フコトヲ吾々ハ國民保健ノ上カテ大ニ憂慮致シテ居ルノデアリマス、且又此賣藥稅ノ免ゼラレマシタ結果ドウナルカト云フコトモ、多クノ人ハ心配シテ居ルノデアリマス、カルガ故ニ之ヲ立派ニ防グ所ノ方法ヲ御講ジニナルト云フコトハ、私ハ忠實ナル政治家トシテ最モ必要ナルコト、思フ、何等ノ考慮モセズニ賣藥ノ稅ヲ廢スルノガ有情ナル政治デハ私ハナイト思フノデアリマス、ドウカ此點ヲ御考慮下サレテ、折角政府當局者ニ於テモ賣藥法ノ改正ト云フコトヲ先以テ御考究ニナッテ、吾々ノ心配ト思フノデアリマス

○三輪委員長代理 モウ宮島君宜シウゴザイマスカ——次ニ荒川君、原君、田中君ニ御尋致シマスガ、此委員會ノ終了ヲ速カナラシムル意味ニ於テ、質問ノ通告ヲ御放棄ニナッタト承知シテ宜シウゴザイマスカ

○荒川委員 宜シウアリマス

○三輪委員長代理 ソレデハ此三人ハ放棄サレマシタ、次ハ若尾君ノ質疑ヲ願ヒマス

○若尾委員 時間ヲ省キマス爲ニ要領ダケヲ申上ゲマスカラ、大藏大臣カラ簡單ナル御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、極ク要項ノミヲ申上ゲマス、併シハ稅制整理ニ關係ノアルコトデアリマスカラ、概論ヲ述ベマス爲ニ、飛々ノ御質問ノヤウニナルカモ知レマセヌガ是ハ御演說中ニアルコトデアリマスカ——此爲替ノ調節ニ付テ政府ハ昨年ノ九月以來、現金ヲ米國ニ輸送セラレタ、其金ハ政府ノ所有ノ金デアアル、此點

ニ付キマシテ政府ノ現在ノ所有セラレテ居ル所ノ正貨ハ、總額ガ幾ラデアルカ、而シテ此內譯ハ如何ニナッテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○濱口國務大臣 今日迄正貨ヲ送リマシタ金額ハ二千六百萬圓デアリマスガ、其殘額ハ幾ラアリマスカ、私只今正確ナ表ヲ持ッテ居リマセヌ、是ハ後カラ取調ベマシテ御答致シマス

○若尾委員 尙ホ關聯致シマシテ——正貨ノ內譯ガ如何ニナッテ居ルカト云フコトヲ御答ガ無イノデアリマス、之ニ付テ重テ御伺ヒ致シマス

○濱口國務大臣 ソレハ能ク調査致シマシテ、正確ナ數字ヲ以テ内容等ヲ御報告致シマス

○若尾委員 此點ハ餘程國家經濟上ニ及ボス關係重大ト思ヒマスノデ、此席ニ於テ敢テ御答辯ヲ求メマセヌカラ、文書ナリトモ出來得ル限リノ範圍內ニ於テ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、而シテ此度ノ稅制整理ガ、社會的經濟的又國力ノ發展等ニ付テ御考慮ヲ願ハレタコトニ付テ考ヘテ見マスニ、新シク清涼飲料ノ如キモノニ課稅サレテ、新稅ヲ設ケラレ、而シテ從來此消費稅ノ如キ既ニ何十年ニ及バンストル今日ニ於テ、消費稅ガ物價ノ中ニ含マレテ居ッテ、消費者ガ納稅ト云フコトデナクシテ、納メテ居ル所ノ消費稅、其消費稅ノ中ニ付キマシテ綿布ノ消費稅ヲ全廢セラレタト云フコトニ付テハ、只今迄國

費ヲ負擔スル者ヲ全ク免除シ、而シテ一方ニ於テハ未ダ納稅セザル者ニ對シテ課稅ヲスル、又相續稅ノコトニ付テ見マシテモ、其課稅點ヲ上ゲタト云フコトニ付テハ、社會的ニ是ハ宜イコトダト考ヘマスガ、其稅率ノ甚ダ多額ニ過ギマスコトハ、是ハ累進率ダカラ唯平ニハ申サレマセヌガ、凡ソ八割弱ノ課稅ノ率ニ上ッテ居ル、斯ウ云フヤウニナッテ居ル勿論負擔力ノ少イ者ニ負擔ヲ輕減シテ、負擔力ノ多イ者ニ此負擔ヲ重ク掛ケルト云フコトハ、是ハ社會政策ノヤウニ思ヒマスガ、今迄納稅シテ居ッた者ガ納稅シナクナリ、又負擔ヲシテ居ラナクッタ者ガ更ニ過重ナル負擔ヲスル、斯ノ如キ次第ニ此稅制案ガ定マリマスレバ、ナルノデアリマスガ、一方普通選舉ノ如キニ於キマシテハ、選舉權ノ擴張ノ結果、此國費ヲ負擔セザル者ガ國政ニ關與スルト云フヤウナコトモ玆ニ生ジテ來ル、此點ニ付テ及ビ此稅制整理ニ付テ、大藏大臣ハ社會的ニ如何ニ考ヘラレテ居ラレルカト云フコトニ付テ、御答辯ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○濱口國務大臣 ドウモ御質問ノ要領ヲ私ハ諒解シ兼マシタガ、稅制整理ニ依テ社會政策ヲ行ヒ、是迄慣レテ來タ所ノ其消費稅、ソレヲ免稅スルト云フ事柄ト、ソレカラ普通選舉ノ事柄トヲ合セテ御考ヘニナッタヤウデアリマスガ、租稅ヲ納メル納メヌト云フ問題ト、ソレカラ參政權ヲ與ヘル與ヘナイト云フ問題トハ、現代ノ思想ニ於テ全然別問題ノモノデアルト思ッテ居ルノデアリマス、假令租稅ヲ納メマシテモ納メナクトモ、ソレガ故ニ參政權ヲ與ヘル與ヘナイト云フコトニハ、何等影響ガ無イコトデアリマス、一方參政權ヲ擴張シ、普通選舉ヲ行ッタコトト、一面ニ於テ社會政策ヲ行フガ爲ニ、國稅ノ減免ヲヤルト云フコトトハ、何等矛盾ヲ致サナイ、何等ノ關係ガ無イコトデアルト思ッテ居リマス、若シ御質問ノ趣旨ニ私ノ御答ガ適當デアリマセヌナラバ、重テ御質問ヲ願ヒマス

○若尾委員 凡ソ一家ノ經濟ニ收支ガアリマスガ如ク、一國ノ財政、即チ其費用ハ稅ニ依テ之ヲ支辨シテ行クト云フ以上、政治ヲ行フニ只デハ出來ナイ、必ズ徵稅ニ依テ收入ヲ得ナケレバナラナイ、然ラバ此國ノ經濟ヲ處理スル者ハ、出來得ベクンバ國ノ經費ノ負擔ヲスベキ者ニ政治ヲ執ラシメルノガ、其要諦デハナイカト斯ウ思フノデアリマス、此點ニ付テ今ノ選舉權ノ關係ト、而シテ此納稅上ノ國費ニ關スルコトニ關聯シテ質問ヲシタノデアリマス、此點ニ付テノ御所見ヲ承リタイ

○濱口國務大臣 ドウモ參政權トノ關係ハ私ニハ能ク分リマセヌ、今御答シタ通りデアリマス、唯相續稅ノ稅率ガ非常ニ上ッタト云フ御質問ガアリマシタガ、是ハ詰リ擔稅力ニ應ジテ、又是迄負擔ノ不均衡ニナッテ居ルモノヲ正シマシテ、同時ニ社會政策的ノ政治ヲ行フガ爲ト、歲入ニ不足ヲ生ジマスル其不足ノ一部ヲ補填スルガ爲ニ、已ムヲ得ズ此改正ヲ爲シタノデアリマス、總テ此度ノ稅制ノ整理ハ、其納稅者ノ負擔能力ニ順應致シテ、公平ヲ得セシムルガ爲ニ行ッタノデアリマス、御質問ノ趣旨ニ矢張當ラヌカト思ヒマスガ、是以上御答ノ仕樣ガナイノデアリマス

○若尾委員 其問題ニ付テハ、其程度ニ止メマス、其次ニ政府ニ於テ此現金ノ使ヒ方、之ニ依テ外國爲替ニ變動ガ起ル、此外國爲替ノ變動ニ依テ——此爲替ノ上リマスコトハ、我國ニ於ケル輸出物產ヲ賣ルノニ不便ナルコトニナツテ來ル、又外國ヨリ買フノニ便利ナコトニナツテ來ル、デ今此綿布ノ消費稅ヲ全免セラレタニ付テ、此稅ガ減リマシタダケハ必ズ需要ハ殖エルモノト思フ、デ此綿布ト云フモノノ原料、即チ棉花ナルモノガ是ガ我國ニ於テ生産出來ルモノデアレバ、是ハ問題外デアリマスガ、遺憾ナガラ是ハ輸入品ノ太宗ヲナシテ居ル、而シテ此爲替ノ上ッタコトニ依テ、此原料ヲ入レルコトガ非常ニ便利ニナリ、一方ニ於テ我國輸出生産品デアアル所ノ太宗デアアル所ノ生絲、此生絲ハ爲替ノ變動ニ依テ、賣ルノニ甚シク不便ニシテ、例ヘバ三十八弗臺ニ於テ二千三百三十圓ト云フヤウナモノガ、今日ノ四十五弗臺ニナリマシテ、千

九百三十圓ト云フヤウナコトニナッテ居ル、例へば是カラ先キ十四年ニ造リマシタ殘品ヲ賣リマシテモ、此調子デ行キマスト二三千萬圓ノ損失ニナリハシナイカト云フ計算ガ出テ來ルノデアリマス、政府ハ一部ノ現金ヲ使ッテ而シテ爲替ガ直ッタト思ッテ居ラレルケレドモ、是等ノ損モ這入ッテ、此爲替ハ直リツツアル、而シテ原料タル棉花ハ輸入スルノニ便利ニナッテ、ソレヨリ製出シタル所ノ綿糸、綿布ノ輸出ハ不便ニナッテ、暴落ヲ重ネテ居ル、斯ウ云フ時代ニナッテ居ルカラシテ、果シテ爲替ノ調節ナルモノガ、此國產ノ發展ノ上ニ善イカ惡イカト云フコトモ判斷ノ中ニ入レテ、而シテ綿布ノ免稅ト云フモノハ、産業ノ關係ヨリシテ却テ國民生活上ノ勤儉等ノ美風ヲ傷ケルヤウナコトニナツテ來ルノデハナイカ、此點ニ付テ詰リ經濟的、社會的ノ觀察ニハ如何ニ考ラヘレテ居ルカ

○濱口國務大臣 爲替ノ問題ト税制整理ノ問題ト御一緒ニ御論ジニナッテ居リマスガ、爲替ノ方カラ申シマス、爲替ガ騰貴ヲ致シタ、其爲ニ輸入ニ便利ヲ與ヘ、輸出ニ不利ヲ與ヘル、其爲替ノ騰貴ヲ促シタ原因ハ、政府ガ内地ノ正貨ヲ現送シタ結果デアアル、何故ニサウ云フコトヲスルカト云フ意味ニ受取レマスガ、内地ノ正貨ヲ現送シマシタノハ、爲替ノ相場ヲ騰貴セシムルト云フ目的ヲ以テヤッタ譯デハ決シテアリマセヌ、是

ハ他ノ機會ニモ申上ゲテ置キマシタ通り、一面ニ於テハ内地ニ置キマスト云フト、正貨ノ死藏ニナリマス、少シモ運用ノ利益ヲ生ミマセヌ、ソレヲ外國ニ送リマスト、相當ノ運用ノ利益ヲ得ルコトガ出來マス、ソレガ第一、第二ハ爲替ノ差損額ヲ減少スル爲、即チ國庫ノ利益ヲ圖リ、其損失ヲ減ズルガ爲ニ、之ヲ海外ニ現送シタノデアリマス、爲替ノ調節ヲ目的トシテ送ッタモノデハアリマセヌガ、其結果間接ニ幾分カ人氣ノ上カラ致シマシテ、爲替ノ調節ニ貢獻ヲシタコトハ無イトモ申セマセヌガ、政府ノ目的ハソレデハナイノデアリマス、而シテ爲替ノ上リマシタ結果トシテ如何ニモ輸入ニ便利ニナル傾向ヲ持チマス、輸出ニ不便ナル傾向ヲ持チマスガ、併シソレ故ニ爲替ノ騰貴ヲ政府ガ抑制スルト云フ譯ニハ參リマセヌ、最近ノ爲替ノ騰貴ト云フコトハ、御承知ノ通り、經濟上諸般ノ事情ガ綜合シテ、此處ニ至ッタノデアリマス、政府ガ人爲ヲ以テ釣上ゲテ居ルモノデハナイ、自然ニ騰貴シタモノデアラウト考ヘマスカラ、之ニ向ッテ政府ガ爲替ノ騰貴ヲ抑ヘルト云フコトモ出來マセヌシ、又サウ云フ考ハ毛頭持ッテ居ナイノデアリマス、而シテ税制整理ノ結果綿織物ノ消費稅ヲ減ジタ結果、御說ニ依ルト綿織物ノ消費ガ増加シタ、然ルニ綿織物ノ原料ハ外國ノ輸入品タル棉花デアルカラ、輸入ヲ増進スルト云フ

結果ニナルト云フ御疑ヒノヤウデアッタト思ヒマスガ、私ノ考デハ大體論ト致シマシテ、綿織物ノ消費稅ヲ免除致シマシテモ、ソレガ爲ニ著シク綿織物ノ國民ノ消費ヲ増加スルト云フコトハアルマイト思ヒマス、其負擔ノ輕減ニハナリマスガ、消費ノ増進ニハ眞逆ナルマイト思ッテ居リマス、其點カラ考ヘルト、此免稅ノ結果トシテ、棉花ノ輸入ヲ其點ニ於テ増進スルト云フ心配ハナカラウト思ヒマス、唯爲替ノ關係カラ、棉花ノ輸入ガ殖エルト云フコトハ、是ハ他ノ原因デアリマシテ、棉織物消費稅ノ免除問題トハ、全然別個ノ問題デアルト思ッテ居ルノデアリマス

○若尾委員 御丁寧ナル御答辯ヲ戴キマシタガ、其中ニ政府ガ現金ヲ輸送シタカラ、其結果トシテ爲替ガ上ッタト云フヤウナ斷定的ノ御話ガアリマシタガ、是ハ私ハ左様ニハ申シマセヌ、後段ニ於テ大臣ヨリ御説明ニナッタ其意見ニハ服シマス、今迄甚ダ全般ニ互テ諸種ノ關聯シタ問題ヲ結付ケテ伺ッタノデアリマスガ、要スルニ税制整理ト云フ以上ハ、鮮カニ眼ニ見エテ、一方ニ於テ廢シテ、一方ニ於テ新稅ヲ立テルト云フヤウナコトハ、是ハ甚ダハッキリシテ居ルコトデ以テ、一寸見ハ甚ダ宜シイヤウニ見エルノデアリマスガ、熟考ヘテ見マスルノニ、是ハ上ゲルベキモノハ上ゲル、又廢サナイデモ或ル程度ニ於テ之ヲ輕減シタナラバ、其均衡

ニ依テ税制整理ハ爲シ得ベキモノデアルト信ズルノデアリマス、色々清涼飲料稅ノ新設ニ付テノ御意見ヲ御吐キニナッタ方モアルシ、又賣藥稅ニ付テ御意見ノアッタ方モアルノデアリマスガ、私ハ今貿易上ノ關係等ヨリシマシテ、強チ棉布ノ消費稅ヲ全廢スル等ノコトヲ爲サナイデモ、或ル程度ニ於テ之ヲ止メラレ、而シテ新設セラレル稅金ニ付テモ、今迄拂ハナカタモノヲ拂フト云フコトハ、是ハ一ツノ新シク出來タ變化デアッテ、之ニ對スル者ハ當惑ヲスルノデアリマス、勿論清涼飲料水ノ如キハ經濟上、經濟社會ニ商品トシテ出サレテ居ルモノニ付テ、急ニ此課稅ガ新シク出來ルト云フコトニ付テハ、商工業ノ關係モ起ッテ來ル、所謂經濟上ノ關係モ起ッテ來ル、私ハ税制整理ガ必シモ型ヲ變ヘル必要ハナイト思ヒマス、新稅ニ於テ若干ノ程度ノモノヲ課シ、舊稅ニ於テ惡稅ハ或ル程度ニ於テ之ヲ國民ノ負擔ニ堪ヘラレルダケノ程度ニ止メ、而シテ按排セラレルト云フコトニナサル御考ガ大藏大臣ニアルカナイカ

○濱口國務大臣 御趣意ハ能ク諒解致シマシタガ、サウ云フ考ハ少シモ持ッテ居リマセヌ、此度ノ提案ヲ以テ最モ適當ナル案デアルト信ジテ居リマス

○若尾委員 私ハ此提案ヲ最良ナルモノト思ヒマセヌ、只今迄論ジマシタ自分ノ所信カラ見マシテ、之ニハ賛成ガ

出來ナイ譯デアリマスガ、是ヨリ先キニ參リマス、逐條ニ互リマスノデ、大體質問シテハ此程度ニ於テ止メテ置キマス

○三輪委員長代理 次ハ金光君

○若尾委員 只今一寸私語ガアリマシタカラ、序ニヤラシテ戴キタイと思フノデアリマス、地租委譲ノ問題ハ——是ハ別問題デ、此案ニ付テデアリマセヌ、地租委譲ノ問題ハ我黨ノ主張スル所ノモノデアリマス、之ニ付テハ既ニ説明モアリマシタカラ、若シ之ニ付テ御異論ガアリマシタラバ御質問ヲ願ヒタイ

○三輪委員長代理 金光君ノ御質問ヲ望ミマス

○金光委員 私ノ御尋シャウト思フコトハ、殆ド各委員カラ御質問濟ミデゴザイマスガ、茲ニ二三點御尋シタイコトガアリマス、是ハ殆ド逐條質問ノ場合ニ御尋スルヤウナ細カイ事柄デアリマスケレドモ、僅カデゴザイマスカラ、此機會ニ御尋シテ置キタイと思ヒマス、營業收益稅ノ中デ、信託業ハ元ノ營業稅法ニ較ベマシテ、今度ノ改正法ニ依リマス、五倍カラ十倍多クハ二十倍、甚シキ例外ノモノハ百數十倍ト云フガ如キ多額ノ稅額ニナツテ居ル、之ニ附加稅ヲ加ヘマス、隨分當業者ノ苦痛ハ多カラウト思フノデアリマス、信託業ト云フモノガ起ツテカラ日尙淺ク、長イノデ二年、短イノハ半年ヲ出テ居リ

マセヌガ、之ニ對シテ左様ナ數倍ノ負擔増加ト云フコトハ、誠ニ氣ノ毒ニ思フノデアリマスカラ、之ヲ救済スル意味ニ於キマシテ、業體別ニ種類ヲ別ケ等差ヲ設ケテ、信託業ノ如キモノニ低率ノ稅ヲ課スルト云フコトガ出來レバ、是ガ救済ハ出來ルト思フノデアリマス、併シソレハ一般ノ關係ガアツテ困難デアルト致シマスレバ、セメテ第八條ニ「開業ノ年及其ノ翌年ヨリ三年間其ノ營業ヨリ生ズル純益ニ付營業收益稅ヲ免除ス」ト云フ免除規定ガアリマスカラ、此法條ノ中ニデモ包含サセテ、創業後三箇年位免稅シテヤルト云フコトモ救済ノ一ツデアルト思フノデアリマス、又個人ノ免稅點ノ如キ免稅點ヲ設ケルト云フコトモ其ノ一ツデアルト思ヒマス、何モ私モ名案ヲ持ツテ居ル譯デアリマセヌガ、何カ之ニ對スル御救済ノ方法ハナイノデアリマセウカ、之ガ伺ヒタイノデアリマス

○黒田政府委員 信託業ニ付キマシテ、營業收益稅ニナリマス、現在ノ稅額ヨリ數倍殖エルモノガアルト云フ御話デアリマス、是ハ各會社ニ付テ正確ニ計算ヲ致シテ見マセスト、ハッキリシタコトハ分リマセヌガ、或場合ニ於キマシテハ増加スルモノモアルト思ヒマス、併ナガラ減少スルモノモアル、是ハ信託業ニ付キマシテハ、報償金額ト云フモノヲ標準ニシテ居リマス、結果トシテ、斯ウ云フ風ナ區別ガ生ジテ居ル

ノデアリマス、斯ノ如キ結果ヲ生ジマスルコトハ、是ハ收益稅法ニアル純益ヲ目的トスルト云フコトニナツタ結果、已ムヲ得ナイ事ト考ヘマス、信託業ニ付テ、是ハ出來テカラマダ年ヲ經ナイカラ特別ニ何等カ保護ヲスル爲ノ規定ヲ設ケル考ハナイカト云フコトデアリマスガ、只今ノ第八條ノヤウナコトハ、重要物產ノ製造業デアリマスカラ、是ハ特別ノ關係カラシテ三箇年間ノ免除ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ從來所得稅等モ免除シテ居ルモノデアリマス、是ハ免除致シタイ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス、信託業ノ如キ一般ノ業務デ今度ノ課稅標準ヲ變ヘタ結果殖エルヤウナモノヲ、此條文ニ依テ救済スルコトハ困難デアルト思ヒマス、又サウ云フモノニ對シテ特ニ輕減ヲ講ズルト云フコトニナリマス、各種ノモノノ中デ、信託業ノ中デモ信託業ノ營ミ方ノ如何ニ依テ餘程違ヒマスカラ、將來本當ノ信託業法ヲ希望スルヤウナ信託業ニナツテ參リマシタナラバ、決シテ特ニ他ニ比シテ負擔ガ重イト云フコトハナイト考ヘマスカラ、特別ナ取扱ヲスルコトハ困難デアラウト思ヒマス

○金光委員 第二點ハ、第三種所得ノ中カラ、恩典ニ依テ控除シテ免稅セラレベキ金額ガアリマスガ、此申告ハ四月三十日マデ一定ノ期日ガアリマス、然ルニ計算ノ面倒ヤ、自分ノ所得ガ十分分ラナイ爲ニ、所得額決定ノ通告ヲ受ケタ後ニ氣着イタ場合ニ、其申告ヲシテ免稅シテ貰ハウト思ヒマシテモ、期日ガ經過シテ居ル爲ニ、恩典ニ浴スルコトガ出來ヌ者ガアリマス、之ヲ申告ノ期限ヲ延バストカ、或ハ一旦三種所得ノ申告ヲ致シタ者デ、決定通知ヲ受ケタ後ニ申告シテモ宜シイト云フヤウナコトニ變更シタラ、總テノ者ガ此恩典ニ浴スルコトガ出來ヤウト云フ説ガ方々カラ參ッテ居リマスガ、之ニ對スル御意見ヲ伺ヒタイ

○黒田政府委員 第三種所得ノ申告ハ成ベク吾々ハ正確ナ申告ヲ納稅者ノ全部カラシテ頂クコトヲ希望シテ居ルノデアリマス、左様ニナリマス、課稅上ニ於キマシテモ圓滿ニ執行ガ出來ルノデアリマスガ、遺憾ナガラ今日マダ正直ナ申告ガ比較的少イノデアリマス、又申告サレマスモノガ、納稅者ノマダ大部分ニ互ルト云フマデニ行カナイノデアリマス、隨ツテ所得ノ申告ト云フ事ニ付テハ其時期ニナリマスレバ、色々ナ方法ヲ以テ申告ヲ促サウニ努メテ居リマスガ、此控除ニ付キマシテモ、矢張申告ヲ一方ニシテ、其控除ノ恩典ニ浴スルコトハ自然デ、當然ノ結果デアリマス、一方義務ハ盡サナイデ、唯權利ダケヲ主張スルト云フコトハ、制度トシテ如何カト思ヒマス、殊ニ申告ヲスル際ニ於テ、控除ヲ申請スルト云フコトハ決シテ手數ノ掛カラナイ事デアリマスカラ、特ニ時期ヲ延バス必要ハナ

イト考ヘテ居ル次第アリマス
○金光委員 所得税法ノ中デ「従前ノ規定ニ依ル所得調査委員及補員ノ任期ハ大正十五年九月三十日ヲ以テ終了ス」トアリマスガ、此ノ救済ノ方法ハアリマセスカ

○黒田政府委員 是ハ十六年カラ致シマシテ、營業收益税、所得税、兩方同一委員デ決定スル事ニナルノデアリマス、隨テ其選舉者モ又被選舉者モ、今年ヲ以テ所得調査ヲ終リマシタナラバ、其任期ガ終リマシテ、次ニ來年ハ兩方カラ選バレタ人ガ其任ニ當ルコトガ適當デアラウト考ヘマシテ、左様ニ致シタノデアリマス

○金光委員 ソレカラ清涼飲料ノ第三種トシテ「罐詰以外ノモノ、炭酸瓦斯使用量一坵ニ付三圓」トアリマス、一石二十圓位ニ該當スルサウデアリマスカ、小賣ハ一杯賣ノモノデアリマスノニ、罐詰ヨリモ高率ニナツテ居ルノハ如何ニモ氣ノ毒デアリマスカラ、罐詰一石ニ付テ十圓ト同額ニシタラドウカト思ヒマスガ、之ヲ伺ヒタイ

○黒田政府委員 是ハ炭酸瓦斯ヲ用ヒマシテ「コップ」デ量リ賣ラスルモノハ、ソレニ「シヨック」ヲ加ヘマシタリ、色々致シマシテ、贅澤ナ消費ニ屬シマス様デアリマス、隨テ多少税率ヲ重クスルコトガ適當デアラウト考ヘテ居リマス、唯一石二十圓ニモ當ルト云フ御話デアリマシタガ、此點ニ付キマ

シテハ過日御答ヲ致シマシタウニ、溫度ノ關係ニ依リマシテ、攝氏十五度ニ於テ同量ノ炭酸瓦斯ヲ包有スル事ニナツテ居ルノデアリマス、溫度ガ低クナレバ多クナリ、溫度ガ高クナレバ少クナルト云フ關係ハ違ヒマス、大體計算ヲスル所ニ依リス、十三圓八九十錢位ナ所ニ税率ガ在ルダラウト云フ考デアリマスカラ、別ニ大シタ重キ負擔トモ考ヘテ居リマセス

○三輪委員長代理 次ハ山崎君ノ質疑アランコトヲ望ミマス

○山崎委員 私人質問ハ自然大藏大臣ニモ關係致シマス

○三輪委員長代理 文部大臣ダケト云フコトデアリマシタガ……

○山崎委員 兩方ニ關係致シマス

「文部大臣ダケト云フコトニ決メタノデヤナイカ」ト呼フ者アリ

○山崎委員 私人政友本黨ヨリ御提案ニナツテ居リマス義務教育費國庫負擔法ノ改正法律案ニ關係致シマシテ、二三御尋ヲ致シタイト思フノデアリマスカ、私ノ御尋ハ大キイ項目ト致シマシテ三箇條ニナツテ居ルノデアリマス、時間モ切迫致シテ居ルコトデアリマスカラ成ベク簡單ニ伺ヒマシテ又明白ナル御回答ヲ冀ヒタイト思フノデアリマスカ、先ヅ政友本黨ノ御提案ニ對シマシテ御伺ヲ申上ゲタイト思ヒマス點ハ、政友本黨ガ義務教育費國庫負擔法ノ改

正ヲ行ヒマシテ、從來ノ四千萬圓ヲ八千萬圓トスルト云フ點ハ、本黨ノ今回ニ於ケル稅制諸問題ノ中ノ最モ重キヲ置イテ居ラルル點デアルト云フコトハ十分之ヲ拜察スルノデアリマス、隨テ私ハ明確ニ伺ツテ置キタイト思ヒマス

ノハ、政友本黨ガ八千萬圓ト云フモノヲ大正十五年度ヨリ實行スベシト云フ御主張ノ目標ハ何レニアラヤト云フ點デアルノデアリマス、申ス迄モナイコトデアリマスガ、由來義務教育ハ國家ノ極メテ大切ナル事デアリマス、隨テ國庫ガ如何ナル方針ト目標ヲ以テ其經費ヲ分擔スルカト云フ點ハ、極メテ大切ナル點デアルノデアリマス、即チ我國ニ於テハ四十等來教育行政上ノ根本ノ方針ト致シマシテ、小學教育ハ市町村、中等教育ハ府縣、高等教育ハ國家、是ガ大體ノ方針デアリマシタガ、ソレニ對シマシテ大正六年ノ臨時教育會議ニ於テ、從來ノ謂ハバ國策ヲ變更致シタノデアリマス、即チ是ハ昨日、本會議ニ於キマシテ牧野良三君ヨリ朗讀ヲ致シタ積リデアリマスカラ、私ハ之ヲ省略致シマス、從來ノ國民教育ハ總テ市町村ノ負擔デアルト云フ根本方針ヲ變革致シマシテ、教員俸給ハ國庫及市町村之ヲ分擔スル、即チ連帶支辨主義ニ變更シ、而シテ其連帶ノ負擔ハ小學教育及市町村、國家、有ユル方面ノ關係ヲ顧慮シテ、各半額ヲ負擔スルノガ適當デアル、是ガ臨時教育會議ノ決議ノ趣

旨デアル譯デアリマス、今回政友本黨ハ八千萬圓ニ大正十五年度ヨリ増額ヲシヤウト云フコトガ、本黨ノ生命トセラルル主張デアアル、此八千萬圓ト云フ御主張ハ如何ナル目標ヲ以テ御立テニナツタノデアアルカ、即チ教員俸給ノ全額ヲ將來ハ國庫ニ於テ負擔スベシト云フ目標ヲ取ルノデアアルカ、今日ノ財政ノ狀態ニ鑑ミテ大正十五年度ハ八千萬圓トスルト云フ御主張デアアルノデアアルカ

〔三輪委員長代理、委員長席ヲ退キ元田委員長着席〕

或ハ新聞ニ散見スル所ニ依リマスレバ、政友本黨ノ御精神ハ、教員俸給ノ六割ヲ目標トスルモノデアルト云フヤウナ記事ガアルノデアリマス、是ハ無論新聞記事デアアルノデアリマスガ、今日ノ小學教員ノ俸給ノ全額ガ一億三千八百餘萬圓、成程八千萬圓ハ約六割ニ相當スルノデアリマスガ、果シテ全額ヲ目標トシテ進ムト云フ主義デアアルノデアアルカ、或ハ六割ヲ目標トスル御意思デアアルカ、若シ三分ノ二ヲ目標トスルト云フコトデアレバ九千萬圓デナケレバナラヌ譯デアリマス、私ハ金額ハ御提案ニ依テ明瞭デアリマスケレドモ、斯ノ如ク問題タルヤ唯五百萬圓、何千萬圓ト云フコトヨリモ、國家ノ教育行政上ノ根本方針ニ觸レタ問題デアリマスカ、以上ハ、本黨ノ御提案ノ目標ガ何レニアリヤト云フコトヲ明瞭ニ伺フト云フコトガ、私共ガ御提案ニ對シ態度ヲ

決スル上ニ於テ極メテ大切ナル點デア
リマス、願ハクバ簡單デ宜シウゴザイ
マスカラ、唯目標ノ存スル所ダケヲ御
答ヲ願ヘマスレバ宜シイノデゴザイマ
ス

的ニ行カヌコトガアルノデ、前カラ申
シテ居リマスガ、本黨ノ提案ハ應急的
整理案デアリマスカラ、義務教育費國
庫負擔金額ヲ増シテ、地方税ノ整理ト
云フモノニ資スルト云フコトガ一ツニ
ナツテ居ルノデアリマス、其點ハ政友會
ガ地租委譲ヲシテ地方ノ税ヲ成タケ公
平ニシヤウト云フ考ト似テ居リマス
ガ、兎ニ角趣旨ハサウ云フノデアリマ
ス、其方法ハ違ヒマスガ、趣旨ハサウ云
フ所ガ寵テ居リマス、隨テ目標ト云フ
點ハ今ノヤウナコトデ御答スル譯デア
リマス

デハナイノデアリマス、今日ノ税制整
理ヲスルノガ、進ンデ我黨ノ主張ノ如
クニナレバ税ノ收入ガ國庫ニ於テ多ク
モナツテ來マスカラ、旁々地方税ノ整
理ニ資スルト云フ考モ入リマシテ八千
萬圓ト云フ提案ヲ致シマシタノデ、從
來ノ目標ヲ變更スルトカドウト云フ
コトハ申上ゲル必要ハナイト思ヒマ
ス

アッタノデアリマス、私ハ昨日ノ問答ヲ
蒸シ返スノデハアリマセヌ、更ニ政府
ニ御伺ヒシタイ、即チ從來法律ヲ以テ國
庫負擔額ノ最低限ヲ決メテ參ルト云フ
コトハ、私ヨリ申上ケルマデモナイコ
トデアリマス、又變更ヲスル度ニ法律
ノ改正ヲ致シテ來タノデアリマス、是
ハ義務教育費ノ市町村負擔、即チ國家
ニ於テドレダケノ最低ヲ負擔スルカト
云フコトヲ法律ノ保障ヲ與ヘテ置キマ
セヌケレバ、町村ノ財政ノ基礎ハ安固
ナルコトヲ得ナイ、唯一時政府ノ都合
ニ依テ或ハ一千萬圓減トナリ、或ハ都合
ニ依テ二千萬圓減トナルカモ知レヌト
云フヤウナコトデハ、此莫大ナル負擔
ヲ致シテ居ル義務教育ニ關スル町村財
政ノ基礎ガ動搖ヲ來シ、安固ヲ缺ク譯
デアリマスガ、其安固ヲ保障スルガ爲
ニハ法律ガ之ヲ規定致シテ居ルノデア
リマス、隨テ今同之ヲ六千萬圓ト豫算
ニ於テ御増額ニナリマシテ、法律ヲ依
然トシテ最低四千萬圓ト云フコトニ御
留メ置キニナリマシタナラバ、假ニ之
ヲ一千万圓減ス、其場合ニハ勿論議會
ノ審議ニ依リマスケレドモ、議會ハ御
承知ノ通り豫算増額修正ノ權能ハナイ
ノデアリマス、議會ニ増額修正ノ權能
ナキガ爲ニ、苟モ方針トシテ六千萬圓
ヲ取ル以上ハ、必ズ是ハ法律ノ保障ヲ
置ク必要ガアル、單純ニ豫算ヲ議會ニ
向ツテ提案スルカラ、法律ハドウデモ宜
イト云フヤウナ、左様ナル簡單ナル意

○小川委員 私カラ御答致シマス、本
黨ノ提案デアリマス所ノ義務教育費國
庫負擔金額ヲ四千萬圓カラ八千萬圓ニ
増スト云フコトハ、豫テ申シマシタヤ
ウニ、一ハ義務教育改善ニ資シ、一ハ以
テ市町村財政ニ——地方財政ニ餘裕ヲ
與ヘル、斯ウ云フ二ツノ目的ヲ以テ立
案シタモノデアリマス、隨テ教育行政
ト云フ唯一ツノ見地ニ於テ提案ヲシテ
居ルノデハアリマセヌ、教育行政ト云
フコトカラ申シマスレバ、今山崎サン
ノ仰シヤル通りニ、或ハ半額ヲ目標ト
スルトカ、或ハ六割ヲ目標トスルカト
云フ問題ガ起リマスガ、本黨ノ今日ノ
提案ハソレニ四ハレテ居ラスノデアリ
マス、デサウ云フ議論モ勿論アリマセ
ウ、新聞紙ニモアリマスガ、本黨ハサウ
云フコトヲ聞イテ目標ヲ決メテ居ルノ
デハアリマセヌ、過去ニ於テサウ云フ
議論ガアツタカハ知リマセヌガ、今日ノ
提案ハ一ツハ教育改善ノ目的デアリマ
スガ、一ツハ此地方財政ニ餘裕ヲ與ヘ
ルト云フコト、即チソレハ税制整理ニ
關聯シテ居ルノデアリマス、デ地方財
政ニ餘裕ヲ與ヘル、即チ地方税ト云フ
モノニ對シテ今日根本的改革ヲ行ヒタ
イノデアリマスケレドモ、ソレモ理想

○山崎委員 小川君ノ御説明ハ伺ヒマ
シタ、全額ヲ目標トスル、或ハ三分ノ二
ヲ目標トスルト云フヤウナ目標ハ別ニ
ナイ、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、其
御趣旨ハ分リマシタ、即チ本黨ノ御提
案ハ積極的ノ目標ナルモノハナイ譯デ
アリマスルケレドモ、唯茲ニ明瞭ナル
一點ハ、從來臨時教育會議以來、歷代ノ
政府ガ根本方針トシテ取ツテ參リマシ
タ所ノ教員俸給ノ半額ヲ、國庫デ分擔
スルト云フ此目標ダケハ變更シヤウ
ト云フコトニ、本黨ノ御主張ノ要點ガ
アルト斯ウ考ヘテ宜シイノデアリマス
カ、其點ヲ伺ヒマス

○小川委員 只今御答ヲシマシタノデ
アリマスガ、此吾々ノ提案ト云フモノ
ハ教育行政ト云フダケカラ出發シテ居
ナイノデアリマスカラシテ、ソレデ目
標ガ半分デアルトカナイトカ云フ問題

提出ガナイト云フコトハ、昨日ノ本議
場ニ於テノ質問ニモ上リマシタガ、尙
ホ私共了解ガ出來ナイノデアリマス、
政府ハ最低限ヲ四千萬圓ト決メテアル
カラ、豫算ニ於テ六千萬圓トナツテモ別
段法律上差支ガナイト云フ御説明デ

○山崎委員 此點ハ御説明モナイコト
デアリマスカラ御質問ハ申上ゲマセ
ヌ、唯八千萬圓ト云フコトハ、今日ノ教
員俸給ノ一億三千八百十四萬圓ニ對シ
マシテ約半額ト云ヘバ六千九百ナニガ
シニナル譯デアリマス、此程度ヲ超越
シテ八千萬圓ニスルト云フコトハ、目
的ノ如何ヲ問ハズ兎モ角モ教育行政上
ノ見地ヨリ言ヘバ、從來ノ目標ニ對シ
テ變更ヲ企テル本黨ノ提案デアルト謂
ハナケレバナラヌ譯デアリマス、次ニ
私ハ政府ニ御尋ヲ申上ゲタイト思フノ
デアリマス、義務教育費國庫負擔法ニ
關シマシテ、政友本黨ヨリ改正法律案
ヲ提出ニナツテ居ルニ拘ラズ——政府
ハ是ガ豫算ニ於テ六千萬圓ト云フ御要
求ガアルノニ、之ニ伴フ法律改正案ノ
提出ガナイト云フコトハ、昨日ノ本議
場ニ於テノ質問ニモ上リマシタガ、尙
ホ私共了解ガ出來ナイノデアリマス、
政府ハ最低限ヲ四千萬圓ト決メテアル
カラ、豫算ニ於テ六千萬圓トナツテモ別
段法律上差支ガナイト云フ御説明デ

然トシテ最低四千萬圓ト云フコトニ御
留メ置キニナリマシタナラバ、假ニ之
ヲ一千万圓減ス、其場合ニハ勿論議會
ノ審議ニ依リマスケレドモ、議會ハ御
承知ノ通り豫算増額修正ノ權能ハナイ
ノデアリマス、議會ニ増額修正ノ權能
ナキガ爲ニ、苟モ方針トシテ六千萬圓
ヲ取ル以上ハ、必ズ是ハ法律ノ保障ヲ
置ク必要ガアル、單純ニ豫算ヲ議會ニ
向ツテ提案スルカラ、法律ハドウデモ宜
イト云フヤウナ、左様ナル簡單ナル意

然トシテ最低四千萬圓ト云フコトニ御
留メ置キニナリマシタナラバ、假ニ之
ヲ一千万圓減ス、其場合ニハ勿論議會
ノ審議ニ依リマスケレドモ、議會ハ御
承知ノ通り豫算増額修正ノ權能ハナイ
ノデアリマス、議會ニ増額修正ノ權能
ナキガ爲ニ、苟モ方針トシテ六千萬圓
ヲ取ル以上ハ、必ズ是ハ法律ノ保障ヲ
置ク必要ガアル、單純ニ豫算ヲ議會ニ
向ツテ提案スルカラ、法律ハドウデモ宜
イト云フヤウナ、左様ナル簡單ナル意

然トシテ最低四千萬圓ト云フコトニ御
留メ置キニナリマシタナラバ、假ニ之
ヲ一千万圓減ス、其場合ニハ勿論議會
ノ審議ニ依リマスケレドモ、議會ハ御
承知ノ通り豫算増額修正ノ權能ハナイ
ノデアリマス、議會ニ増額修正ノ權能
ナキガ爲ニ、苟モ方針トシテ六千萬圓
ヲ取ル以上ハ、必ズ是ハ法律ノ保障ヲ
置ク必要ガアル、單純ニ豫算ヲ議會ニ
向ツテ提案スルカラ、法律ハドウデモ宜
イト云フヤウナ、左様ナル簡單ナル意

味ニ於テ、教育費國庫負擔法ハ出來テ居ルノデナイノデアリマス、若シ議會ニ豫算ノ増額修正ノ權能ガアルナラバ、左様ナル御説明モ出來ル譯デアリマスケレドモ、其權能ガナイ以上ハ、町村財政ノ基礎ノ安固ヲ保障スルガ爲ニ、義務教育費國庫負擔法ハ當然改正スベキモノデアルト私ハ考ヘルガ、政府ガ之ヲ避ケラレル理由果シテ如何、ソレカラモウ一ツハ昨日ノ總理ノ御説明ノヤウナ、唯改正シナクテモ濟ムデハナイカト云フヤウナコトデナク、積極的ニ之ヲ改正スルコトガ出來ナイト云フ其理由ハ何レニアリヤ、改正シ得ルデハナイカ、得ルノガ相當デハナイカ、又從來ノ沿革モサウデハナイカ、然ラバ改正案ヲ提出スルコトガ出來ナイト云フ積極的ノ理由ガ何レニアルカト云フコトヲ簡單ニ伺ッテ置キタイと思フノデアリマス

○岡田國務大臣 此點ニ付キマシテハ、過日本會議ニ於キマシテ總理大臣カラ御答ヲ申上ゲタ通り、此法律案ニ於キマシテハ最低限度ヲ決メテアルノデアリマス、之ヲ二千萬圓増加致スト云フコトニ付キマシテハ、別ニ法律ヲ改正スル必要ハナイノデアリマス、改正シテ惡イカト云フ意味ノ御尋デアッタヤウデアリマスガ、改正ガ出來ヌコトハナイケレドモ、改正スル必要ガアリマセヌカラ改正ヲ致サヌノデアリ

マス、唯山崎君ハ是モ明カニシテ置カナケレバ市町村ノ經濟ニ不安ヲ與ヘルト云フ御説ガアッタノデアリマス、是ハ私ハ左様ニハ思ハヌノデアリマス、詰リ此法律モ此豫算モ總テ議會ノ協賛ヲ經ナケレバ執行スルコトノ出來ナイモノデアリマス、假令法律ニ決メテ置キマシテモ、又議會ノ協賛ヲ經レバ是モ變更スルコトハ出來マス、之ヲ法律ニ決メルト決メザルトニ依テ、別ニ町村ニ對シテ不安ヲ與ヘルトカ云フヤウナ心配ハナイト私ハ思フノデアリマス、只今御説ノ豫算ハ議院ニ於テ之ヲ増額スルコトハ出來ナイ、是ハ議院ノ話デアリマス、今日ハ豫算ヲ増額スルト云フコトノ問題デハナイノデアリマス、詰リ政府提出ノ二千萬圓ノ豫算ノ増額ヲ致スコトニ對シテ、法律ヲ改正スル必要ガアルヤ否ヤト云フ問題デアリマスナラバ、必シモ其必要ハナイ、併シ議院ノ方デ更ニ又之ヲ二千萬圓モ増加セントスル御意思デアラナラバ、是ハ別ノ話デアリマス、是ハ追加豫算ヲ以テ提出スルヨリ外ナイと思ヒマス

○山崎委員 了解ハ致シ兼ネマス、致シ兼マスケレドモ時間ノ關係上深くハ御尋致シマセヌ、唯之ヲ法律トスルノト、豫算ダケ決定スルト云フコト、例ヘバ法律ニ於テ最低四千萬圓トナッテ居リマス、併シ豫算ニ於テ六千萬圓トナッテ居ル、之ヲ若シ第五十二議會ニ於テ政府ガ假ニ之ヲ五千萬圓トナサル、其場合ニ若シ法律デ六千萬圓ガ最低トナッテ居リマスレバ、議會ハ議會ノ權能ニ依テ改正案ニ反對ガ出來ルノデアリマス、併ナガラ法律ニ最低額ガ四千萬圓トナッテ居レバ、一千萬圓ヲ減ラシテ五千萬圓トナルモ如何トモスルコトハ出來ヌ、之ヲ只今マデハ法律ノ制定ガアリ、又從來此金額ヲ變更スル毎ニ、政府ハ法律ノ改正ヲ實行シ來ッテ居ルノデアリマス、何故ニ政府ガ斯ノ如キ自明ナルコトヲ之ニ依テヤラヌノカ、私共ハ絕對ニ了解シ能ハザルコトデアリマスガ、是以上ハ御尋ヲ致シマセヌ、次ニモウ一點伺ヒマスノハ、政府ハ義務教育費國庫負擔額ノ目標ニ關シマシテ、如何ナル御所見ナル御所見ヲ御持チニナッテ居ルカト云フ點デアリマス、先般總理大臣ハ財政ノ事情ガ許セバ、全額ト雖モ之ヲ國庫ニ於テ支出スルコトハ望マシキニトデアルト云フ言明ガアッタノデアリマス、此點ニ付キマシテハ色々ノ質問ガアリマシタカラ、此二點付テハ是以上追窮ハ致シマセヌ、唯一國ノ總理大臣ガ——政府ヲ率イテ居ラレマス總理大臣ガ、之ヲ議場ニ於テ御言明ニナリマス以上ハ、其結果ガ政治ニ及ボス影響ハ極メテ是ハ小ナラザルコトデアルト思フノデアリマス、而シテ文部大臣ハ先般連帶支辨ト云フ方針ハ相當ナリト云フ考ヲ持ッテ居ルト云フ御答辯ガアリマシタ、文部大臣トシテハ洵ニ相當ナ私ハ御考デアルト信ズルノデアリマス、

我國ノ小學教育ノ性質ニ鑑ミ、又何故ニ際限ナク増加シテ行ク所ノ義務教育費ノ俸給額ハ之ヲ國庫ノ全額支辨ト云フコトハ到底容サザルコトハ是ハ無論デアリマス、即チ文部大臣ハ連帶支辨デナケレバ往カヌト御認メニナッタト云フコトハ、是ハ私ハ適當ナコト思フノデアリマス、唯總理大臣ハ此重大ナル問題ニ對シマシテ、假令不用意ノ間ナリト雖モ餘リ御考慮セラレザル言ヲナサレタコトハ私ハ深く遺憾トスルモノデアリマス、而シテ今日政友本黨カラノ案ガ出テ居リマスノハ、先程申上ゲマス通り八千萬圓ノ提案ノ理由ハ如何、是ハ事實ニ於テハ從來歷代ノ政府ガ執リ來ッタ所ノ半額連帶支辨ノ目標ヲ變更スルト云フ結果ニナルノデアリマス、此結果ヲ招來スル點ニ對シマシテ、政府ハ教育行政ノ點、又國家竝ニ市町村財政ノ狀勢ニ立脚致シマシテ、如何ナル御考ヲ持ッテ居ルヤ否ヤト云フ點ヲ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ時間ヲ節約致シマス爲ニ私ノ問ハントスルコトヲ全部申上ゲテ置キタイ、即チ本黨ノ提案ハ明ニ事實ニ於テ、結果ニ於テハ從來ノ大方針ノ變革デアアル、若シ之ヲ此本黨ノ主張ヲ御認ニナリ、財政ヲ離レマシテ、主義トシテ御認ニナルコトガ假ニ出來ルト致シマシタナラバ、又政府ニ於テ之ヲ御探リニナルト云フ意思ガアリマシタナラバ、私ハ此事タルヤ先刻申上ゲマスヤウニ、我國

ニ於ケル此教育行政上ノ根本方針ニ對スル一大變更デアル以上ハ、單純ニ之ヲ政府ノ一存ヲ以テ御變更ニナルコトハ出來ナイ、即チ臨時教育會議ノ決議ニ關スル變更デアリマス以上ハ、文部大臣ハ在野ノ時代ニ於テ度々貴族院ニ於テ、時ノ政府ニ對シテ述ベラレタ、臨時教育會議ノ決議ノ變更ハ、臨時教育會議ニ代ルベキ重要ナル機關ニ附議シナケレバ成功ヲシナイト云フ御方針ハ、今日ニ於テモ御唱ヘニナッテ居ル、然ラバ本黨ノ提案ノ目的トシテ、趣旨ノ如何ヲ問ハズ、結果ニ於テ從來ノ方針ヲ變革スルモノニ對シマシテ、主義トシテ之ヲ認メルト云フ御態度ヲ御執リニナリマス前ニハ、臨時教育會議ニ代ルベキ機關ニ附議セラルルノガ相當ナリト私ハ信ズルノデアリマスガ、當局ニ於テハ如何ニ御考ニナルカ、更ニ半額ト云フコトハ、今後ニ於テ必シモ之ヲ維持スル意思ナシト云フ御考デアルカ、政府ハ連帶支辨ハ主義トシテ認メル、而シテ半額分擔ハ可ナリト云フノカ、將來ノ目的ハ何レニ置カレルノデアルカ、此三點ニ付テ簡單明瞭ナル御回答ヲ願ヘマスレバ、私ハ質問ハソレデ終了スル譯デアリマス

○岡田國務大臣 第一山崎君ハ此臨時教育會議ノ決議ト云フモノハ最モ重キヲ置クモノデアリマス、是ハ決シテ輕卒ニ變更ヲ致スベキモノデナイノデアリマス、併シ此國庫負擔金ノ問題ニ付テ、臨時教育會議デ如何ナル決議ヲシテ居ルカト云フコトヲ、之ヲ能ク申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、他ノ教育ノ制度、或ハ大學ヲ如何ニスルカ、高等學校ヲ如何ニスルカト云フ如キ制度ニ屬シタコトハ、是ハ容易ニ變更スベキモノデハアリマセヌ、變更スルトスレバソレノ機關ニ審議シテ慎重審議之ヲ變更シナケレバナラヌノデアリマス、併シ國庫負擔金ノコトニ關スル決議ハ、斯様ナ制度ノ決議デハナイ、教育ノ根本方針ノ決議デハアリマセヌ、ドウ云フ風ナ決議ヲシテ居ルカト申シマス、此市町村ノ教員ノ俸給デアリマス、教員ノ俸給ハ國庫ト町村ニ於テ之ヲ負擔スルコトヲ適當トスル、而シテ其金額ハ俸給ノ半額ニ達スルコトヲ期スベシ、文字ハ少シ違フカモ知レマセヌガ、意味ハサウ云フ意味、半額ニ達スルコトヲ期スベシト云フノデアリマス、其當時ニ於テハ國庫カラ市町村ニ交付シテ居ッタ所ノ金額ハ僅カ二百萬圓デアッタと思ヒマスガ、其二百萬圓ノ時ニ切メテ半額ダケ國庫カラ出シタイモノデアアル、平タク申セバサウ云フ意味、半額ト云フコトハ動スベカラザル意味ガアルノデモ何デモナイ、其證據ニハ外國ノ例ヲ見マシテモ、或

ハ半額ヲ支給シテ居ル所モアリ、或ハ全額出シテ居ル所モアル、或ハ半額デモ全額デモナイ、其中間ヲ出シテ居ル所モアル、決シテ斯ウ云フコトハ主義トカ根本方針トカ云フガ如キ動スベカラザルモノデハナイノデアアル、國ノ財政ガ容シマヌナラバ、何モ半額モ超過シテ惡イト云フ理窟ガアラウ筈ハナイ、唯實際問題トシテ左様ナ多クヲ要求致シテモ、是ハ到底出來得ベカラザルモノデアアルガ故ニ、半額ヲ以テ先ヅ満足センケレバナラヌガ、半額出シ合フト云フコトガ困難デアル以上ハ、程好イ所デヤラウト云フ輕イ意味ニ於テ、半額ニ達スベキコトヲ期スベシト云フ決議デアリマシテ、山崎君ノ仰シヤルヤウニ、ソレガ根本方針トカ、根本國策トカ云フヤウナ意味合ヲ以テ決議サレテ居ルモノデナイノデアリマス、隨テ之ヲ變更致スト云フコトニ付キマシテハ、別ニ臨時教育會議ノ決議ヲ經ルト云フ必要モ何モナイノデアリマ

ス、若シ國ノ財政ガ許シマヌナラバ、半額ヲ超過致シマシタカラト云ッテ、決シテ此決議ヲ蹂躪シタモノデモ無視シタモノデモナイト見テ居ルノデアリマ

○山崎委員 今一言ダケ——只今文部大臣ノ御説明ハ如何ニモ國庫負擔金ニ關スル臨時教育會議ノ決議ハ、左程學校制度程重クハ考ヘテ居ラナイヤウナ御答辯デアリマシタガ、是ハ意見ノ相違デアリマス、私ハ一大學例ノ末節ヲ變更スル、或ハ一大學ノ分科ヲドウスルト云フヤウナコトノ問題ヨリモ、義務教育國庫負擔ニ如何ナル目標ヲ置クカト云フコトハ、教育行政上ニ於テ重要ナル考慮ヲ要スルモノデアルト信ズルモノデアリマス、即チ分擔主義ヲ定メタ以上ハ、ドノ程度ヲ以テ國庫ノ分擔金トスルカト云フ目標ヲ定メルコトハ極メテ大切ナコトデ、唯分擔デアレバ九分九厘マデ宜シイト云フヤウナコトデハ、何モ方針ノ決定ト云フコトニハナラヌノデアリマス、殊ニ此事ハ政治ノ實際カラ見マシテモ、政府トシテ相當ノ方針ヲ立テテ行カナケレバ、重要ナル義務教育ノ精神トシテ、又市町村財政ノ狀態カラ致シマシテモ、殆ド目安ガナク目標ガナクシテ、唯其日暮シデ行クト云フコトハ、私ハ斷ジテ國家ノ利益デハナイト信ズルモノデアリマス、隨テ只今ノ文部大臣ノ御説明ニ對シマシテ、甚ダ私ハ満足シ能ハズト云フコトヲ申上ゲテ、私ハ質問ヲ終了致シタイト考ヘルノデアリマス

○元田委員長 是デ大體ノ質問ハ大抵
終了ト見テ御勘辯下サイマスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○三輪委員 チョット此場合委員長ハ御
存ジナイ事デアリマスカ、私ハ曩ニ一
回質問ヲ致シマシタガ、時間ガ迫ッタ爲
ト問ハントスル所ノ主務大臣ノ御出席
ノナイ爲ニ、遂ニ其質問ヲ能ウシナカ
タノデ、最終ニ極メテ簡單ニ質問ノ御
許ヲ願フコトニ、理事諸君ニダケハ御
承認ヲ得テ得ル譯デアリマスカ、極ク簡
單デアリマスカラ、御許ヲ願ヒマスカ

○元田委員長 ソレハ遮リハ致シマセ
ヌガ、貴方ハ最終ト仰シヤルケレドモ、
亦他ノ人モチヨット聞キタイ聞キタイ
ト出テ來テ居リマスカラ、ソレヲ申上
ゲテ置キマス、今既ニ通告ガアッタノデ
アリマス

○三輪委員 ソレデハ申上ゲマスカ、
山崎君ハ岩崎君ノ代リニ出ラレタノ
デ、岩崎君ハ一旦質問ハ済ンダ、併ナガ
ラマア成ベクハ十分ニ質疑ヲト云フコ
トデ、幾ラカ惡イ例デハアルガト云フ
コトデアッタガ、理事相談ノ結果私ガ了
解ヲ得タ發言ノ順番ヲ讓ッテ、私ハ委員
長トシテ山崎君ニ發言ヲ許シタノデス
サウ云フコトニナッタノデスカラドウ
ゾ……

○元田委員長 ソレデハ只今農林大臣
ニ質問ガアルト云フノデ、呼出サレテ
來テ居ルノダト、農林大臣ガ言ハレル
コトデアリマスカラ、其質問ダケヲ許

シマス
○三輪委員 此頃中ノ質問應答ニ於テ
私モ既ニ問ヒマシタガ、土地ニ對スル
法定地價百圓ニ付テ百圓ノ收益ト云フ
政府ノ此算出ハ、自作農ノ收益デア
ルカ、地主ガ全ク捉米ヲ取ル所ノ中ヨリ
公課ヲ引イテノ純益デアアルカト云フコ
トガ、ドウモ答辯中ニハッキリシテ居
ナカッタヤウデアリマスカラ其點ヲ御伺
ヒテ致シマス

○濱口國務大臣 只今ノ質問ノ法定地
價百圓ニ付キ、全國平均デ、約百圓ノ利
益ガアルト云フ調ベガ出テ居ルト云フ
コトヲ申上ゲマシタノハ、ソレハ小作
ニ附シテ居ル所ノ賃賃價ニ付テノ計算
デアリマス

○三輪委員 其中デ公課ト云フモノヲ
差引イマ地主ノ得ル純益デアリマス
カ
○濱口國務大臣 サウ云フコトデアリ
マス

○三輪委員 尙ホ御伺ラスルノハ此頃
中ノ御説明ニ依リマスト、大正七年頃
收穫ノ御調ニ基イテ價格ノ點ニ付テハ
大正十四年度ノモノヲ乘ゼラレタ、サ
ウ云フ算出ノヤウニ承リマシタガ、大
正七年ヨリ今日ニ至ルマデノ間ハ、各
地ニ最モ小作爭議ガ盛ンデアッタ、ソレ
ガ爲ニ大正七年以前ノ捉額ヨリモ何レ
モ此小作爭議ノアッタ所ハ、大體ニ於テ
捉額ヲ引クノミナラズ、臨時ニ於テモ
餘程ノ捉米ト云フモノガ減テジ居ル

ガ、是等ノ事ハ御考慮ノ中ニ加ハッテ居
ラズニ、唯大正七年頃ノ收穫ノ米ニ、而
モ最モ高イ大正十四年度ノ値段ヲ以テ
算出サレタモノデアアルカ、其點ヲ承リ
タウゴザイマス

○黒田政府委員 只今ノ御尋ハ先日詳
シク御説明申上ゲタノデアリマスカ、
大正七年カラ大正十三年マデノ間ニ、
全國ニ涉リマシテ調査致シマシタ資料
ヲ基礎ト致シマシテ、米價ニ付キマシ
テハ十四年ノ平均デアリマスカ、ソレ
ヨリ一割ヲ控除シタモノヲ以テ米價ト
致シテ居ルノデアリマス

○三輪委員 私ノ質問致シマシタノ
ハ、小作爭議等ハ大正七年以後ガ最モ
多イノデアアルガ、サウ云フ方面ニ對シ
テハ御考慮ヲシテ居ラレヌカト云フコ
トデアリマシタ、今一ツハ一割ヲ控除
サレタト云フ標準ハ何ニ基カレタモノ
デアアルカ、大正十四年度ノ高イ米ヨリ
一割位引カレテ、而シテ大正七年度以後
ニ基カレルト云フコトハ少シクオカシ
ク思フノデゴザイマス、其一割ノ控除
ハ何カ標準ガアッタモノデアアルカ、今一
度繰返シテ申シマスカ、大正七年以來
ハ小作爭議デ各地トモ捉額ガ下ゲラレ
テ居ルノデアアルガ、是ハ御考慮ノ中ニ
加ハッテ居ラナイカ否カト云フコトノ
御答辯ヲ煩スノデアリマス

○黒田政府委員 チョット申上ゲマス
ガ、是ハ實ハ大體ノ所得ガドノ位ニナ
ッテ居ルカ、實ハ參考ニ調ベタノデ、サウ

御尋ノヤウニ正確ニ參ッテハ居リマセ
ヌ、七年カラ九年ノ交ニ米價ガ上リマ
シテ、小作爭議ノアル所ニ付テハ自然
多カラウト思ヒマス、是ハハッキリ何處
ガドウト申上ゲラレナイノデアリマ
ス、米價ニ付キマシテモ、是ハ十四年中
ハ幾分カ高イノデ、多少斟酌シタニ過
ギナイノデアリマシテ、是ガ果シテ正
確ナモノデハナイノデアリマス、大體
ガドレ位ニナルダラウカト云フコトヲ
出シマシタ參考ニ過ギナイノデアリマ
ス

○三輪委員 農林大臣ニ御伺ヒテ致シ
マスカ、今問フコトハ先般本會議ニ於
テ質疑ヲ致シマシタガ、生憎其時モ時
間ノ都合デ重ネテ質疑ヲスルコトガ出
來ズニ委員會ニ御尋スルコトヲ保留致
シテ置イタノデアリマス、本會ニ於テ
ノ第一ノ質疑ハ、農相御承知デモアリ
マセウガ、自作農維持創定ノ目標、第二ハ
自作農ノ創定ヲ積極的ニ行ハレル意思
アリヤ、斯ウ云フ二點ニ對シテ之ヲ一
括シテ御答ノ要旨ハ此自作農創定案ヲ
出シタノハ是ハ端緒デアアル、漸次擴張
スルノデアアル、斯ウ云フ御答辯デアッ
タノデアリマス、私ハ此間ヲ發マシタル
第一ハ豫算面ニ計上サレテアル所ノ自
作農創定ノ經費ナルモノガ、即チ補助費
ナルモノガ四萬五千五百圓ト云フ僅カ
ナモノデアアルカラシテ、是デハ洵ニ瀾
縫的ノヤウニ思ハレルガ、此根本ノ方
針ヲ定メラレルニ於テハ、ドノ程度マ

デニ我國ノ自作農ヲ創設シタラ宜イカト云フ政府ノ目標ヲ伺ッタデゴザイマス、第二ニ御問シマシタ意味ハ、自作農家ノ年々七千三百戸減ル、ソレヲ現政府ガ提案サレタ自作農創定計畫カラ見マス、二十五年以後ニ於テ今同計畫ノ終了反別ヲ農家作付平均反別ニ割付テ見マス、僅ニ七萬戸餘ニ當ル、一方ニ年々七千三百戸減ズル、此計畫ヲ二十五年後マデ見積レバ十八萬戸有餘ニナツテ、一方ニ創設サレテモ差引キ二十五年後ニ於テハ十一萬有餘ノ減少ニナルガ、之ニ對シテ政府ハ積極的ノ政策ノ御考ハナイカ、斯ウ云フ質問ノ趣旨デアッタガ、現政府ノ御考ハ唯端緒ヲ開イタダケデアル、斯ウ云フ御答辯デアッタ、私が今繰返シテ御尋スルハ、二十五年以後マデノ計畫ヲ立テラレタノニ、端緒ト云フ意味ハ一向諒解ニ苦シムガ、去リナガラ政府ニ於テ之ニ續ク御計畫ガアルカ、ソレトモ唯サウ口ニ唱ヘラレルダケデ、未ダ何等ノ御計畫ハナイモノデアルカ、一向自作農創設ノ意味ニ適ハヌカラ、此點ヲ御伺フノデゴザイマス、先ヅ此點ノ答辯ヲ願ヒマス

○早速國務大臣 御答致シマスガ、此度ノ案ニ出テ居リマス自作農ノ創定計畫ト云フモノハ洵ニ小サイ、金高ニシテモ洵ニ小サイ、是ハ此間中カラ私申シタ通り御説ノ如クデアツテ、如何ニモ計畫ガ小サイ、本當ニ此自作農創定ヲ

完全ニ行ハウトスルナラバ、モウ少シ規模ヲ大キクシナケレバナラヌト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、端緒ト申シタガ、是ハ第一期ノ計畫ガ即チ二十五年計畫ニナツテ居ルト云フコトヲ申シタノデアル、デ第二期ノ計畫ガ現ハレテ來ルカト云フガ、ソレハ今ノ計畫ニ依ルト二十五年デアルガ、是デ以テ八萬町歩ノ自作農地ヲ造ルト致シマシテモ、現在ノ小作地ノ三十分ノ一ニモ足ラナイト云フ位ノ程度デアリマスカラ、御説ノ通りニ段々自作農ハ減ツテ行ク、小作農ハ増シテ行クノニ、自作農ノ減ツテ行ク、其數字ノ比例ヲ致スト、只今提出シタヤウナ計畫デモ中々追付カナイ、是モ御見込ノ通りデアリマス、ソレデアルカラ此計畫ノミデ自作農ヲ創設スルト云フ目的ヲ達スル譯ニハ行カナイケレドモ、併シ放任ヲシテ置ク譯ニハイカヌカラ、即チ第一期ノ計畫ト云フモノヲ立テテ、之ヲ議會ニ提出スルニ至ツタ、斯様ニ御答ヲ申シタノデアラ、ソレデハ矢張資金ヲ供給シテヤラナケレバナラヌコトデアリマスカラ、兎ニ角金ガ要ル、土地ヲ買ッテ與ヘナケレバナラヌ、斯ウ云フ譯ニナルノデアリマスカラ、低利ノ資金ノ供給ガ要ル、其供給モ本年度ノ豫算ニ關係ノアルノハ七百萬圓デアアルガ、其次年度カラハ一千萬圓、十一年目カラハ千五百萬圓ト云フコトノ見込ニナツテ居リマス、簡易保險ノ積立金ノ如キハ、私共

ノ計算ニ依レバ是カラ年々増シテ行クト思フ、増シテ行クコトニナレバ、是ハ矢張遞信省ノ御考モアルガ、相當ニ矢張此金ヲ殖シテ行ク、今政府ガ計畫シテ居ル以上ニ、此金ヲ自作農ノ創定ノ爲ニ使フコトガ出來ルト云フ時期ガ私ハ到來スルト信ジテ居リマス、ノミナラズ此間カラモ申スノデアアルガ、預金部ノ方ノ金等モ 此自作農ノ創定ニ向ッテハ、相當供給シテ行クト云フ途ヲ開キタイ、今日デハ事情ガ已ムヲ得ナイカラ——サウ云フヤウニシテ第二、第三ノ計畫ヲ立テ得レバ、此自作農創定ト云フコトノ目的ハ徒爾デナイ、相當ノ効果ヲ舉ゲルコトガ出來ルデアラウ、今ノ計畫ハ甚ダ小サイノデアリマスケレドモ、私ハ信ズルデス、一般農村ノ安固ヲ圖リ、或ハ小作爭議ヲ緩和スルトカ云フコトニ付テ、全部ノ力ヲ盡スコトハ出來ナイケレドモ、相當一般ノ小作人ニ對シテハ、良キ衝動ヲ與ヘラデアラウ、マルデ放ツテ置クト云フコトハ、今日ノ農業政策トシテ採ラヌ所デアアルカラ、相當ノ途ヲ講ズル方ガ良キ衝動ヲ與ヘルデアラウ、又歳ノ推移ニ依テ、此擴張ヲシテ行カナケレバナラヌト云フノデ、斯様ニシタノデアリマス

○三輪委員 只今ノ御答ハ既ニ本會デ其御趣旨ハ承リマシタ、私ノ問フノハソレニ伴ウ擴張ノ御考案ガアラセラレルカ否ヤ、斯ウ云フダケノ御問デアリマス、趣旨ハ私ト同感デアアルコトハ能ク諒解ヲ致シテ居リマス

○早速國務大臣 漸次ニ擴張シテ行キタイト云フ考ヲ持ッテ居リマス

○三輪委員 ソレデハ御考ダケデ、今ハ案ガ無イト斯ウ承知シテ宜シウゴザイマス

○早速國務大臣 今度ノ提出ニハアレダケデアアル

○三輪委員 ソレカラ第三、第四ノ質問モ洵ニ懇切ニ本會ニ於テモ御答辯ハ下サイマシタガ、私ノ問ハントスル要點ニハ何時モ觸レテ居ナイノデアアルガ、第三ノ問モ農相ノ御記憶ニ存シテ居ラデアラウト思ッテ繰返シテ申シマセヌ、矢張農業政策ニ付テハ確定不動ノ資金ノ途ヲ立テルト云フ御計畫ハ政府ニハ今日ハ無イト、斯ウ承知シテ宜シウゴザイマセウカ

○早速國務大臣 確定不動ノ資金ヲ供給スルト云フ途ハ今日デハ計畫ガ成ツテ居ラス

○元田委員長 マダアリマス

○三輪委員 モウ長クハアリマセヌ、僅カデス、私が問ハントスル所ノ中デモ大抵省略シテ居ルノデアリマス、第四ノ問ハ政府ハ自作農ノ獎勵ヲ一面ニサレルガ、之ニ伴フ所ノ償還ノ要素ニ對シテノ御意見ヲ伺ッタノデス、之ヲ言換ヘテ見レバ、即チ自作農ナル者ガ借入金ヲシテ、此償還ヲ爲サントスルニハ、ドウシテ償却スルカト云ヘバ、即チ

農家ハ米ヲ賣ッテ償還シナケレバナラヌ、然ルニ是ガ支拂ニ充テル所ノ米價

ノ關係ハ、却テ自作農者ヲシテ窮地ニ

壓迫ヲ受ケルガ、產米政策其モノハ贊

成スルガ、是ニ對スル内地ノ農業ヲ保

陷ラシムル、斯ウ云フ結果ガ生ズルノ

要領ヲ得ナカッタガ、幸ニ其御考ガアル

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

ソレガ爲ニ緩和シテ居ルト云フ利益ノ

シタルデアリマスガ、是モ矢張答辯ノ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

結果ヲ見テ居マス、外米モ這入リマス

ナラバ此機會ニ承リタイノデゴザイマ

スルヤウナ御答辯ヲ得ルコトハ出來マ

セスカ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

○早速國務大臣 兎ニ角小作料ト云フ

モノヲ拂フヨリモ、其以内ノ負擔デ濟

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

要點ニ御答ハ唯產米ノ必要ナルコトヲ

答辯ナラ私ノ趣旨ト同ジコトデアッテ、
私ノ問フ所ハサウ云フ意味デナイ、朝
鮮米若クハ臺灣米ハ、我國ノ食糧政策
トシテハ最モ共鳴スベキ事業デアアル、
去リナガラ現在ガ我が内地ニ朝鮮米ノ
移入サレル石數ハ、既ニ四百萬石ニ上ッ
テ居ル、今後此產米政策ヲ行ハレタ、結
果人口ノ増殖ニ付テ米ノ殖エルコトハ
吾々モ喜ビマスガ、先刻申スガ如ク朝
鮮米ノ生産費ノ二十圓ノモノト、内地
ノ四十圓ノモノトハ、到底値段ノ上ニ
於テハ競争ハ出來ナイカラ、内地ノ農
業者ハ破滅ノ外ニ途ハナイデハナイ
カ是ニ對スル對策ノ有無ヲ私ハ問フノ
デアアル、產米ニ付テ政府ノ取ラレタル
策ニ付テハ吾々ト雖モ共鳴シテ居ルノ
デアリマス、私ノ質問ニ對シテノ答辯
ハ本會ニ於テモ此處ニ於テモ矢張要領
ヲ得ナイガ、政府ニ於テソレニ對スル
策ハ何等必要モ認メズ、又必要ノ有無ニ
拘ラズ、マダ其考ハナイナラナイト一言
御答ヘ下サレバ、直ニ明瞭スルノデアリ
マス、今一言——委員長ハ氣ヲ揉ンデ居
ラシヤルヤウデアリマスガ、今一言序
デナガラ申シテ置キマスガ、今日ノ農
林省ノ御方針ヲ疑フノデアリマス、農
民ハ主務省ヲ力ニシテ居ルノニ、農林
大臣ノ御答辯ト云フモノハ、誠ニ農業
者ヲ見ルコト輕イト思フノデアリマ
ス、現ニ私ハ本會議ニ於テモ御問ヒヲ
致シマシタガ、關稅問題ノ如キ委員會
ニ付託サレテ居リマスガ、是ハ農業政

策ニ關聯シマスカラ、御問ヒシテモ差
支ナイト思ヒマス、全ク農產品ニ對シ
テハ据置若クハ引下ヲシテ居ラレテ、今
日デサヘモ生産物ノ安イノニ農業者ハ
困ッテ居ルノニ、大阪ノ如キハ八割ハ朝
鮮米ヲ需給シテ居ルノデアリマス、實
ニ農家トシテ由々敷問題デアルノニ、
是ニ對シテハ農產品ノ關稅ハ却テ今回
引下若クハ据置トセラレルノハ、農林
省ハ失禮ナガラドウ云フ考ヲ持ッテ居
ラレルカ、農林大臣ノ責任トシテ、今日
モウ少シ取ルベキ政策ガアルト思ヒマ
スガ、御問ヒスル所ニ對シテハ一カラ
六迄貴方ト私ノ質問應答ヲ速記録ニ付
テ御覽ヲ願ヘバ、私ノ質問ノ要點ニ觸
レテ居リマセヌ、是以上御尋致シマセ
ヌ、是デ止メマス
○元田委員長 只今ノ御質問ニ御答ガ
アリマスカ、アリマセヌカ、成タケ簡單
ニ願ヒマス
○早速國務大臣 朝鮮米ノ問題ハ三輪
君ノ見ラレル所ト、私ハ幾ラカ考ガ違ッテ
居ルト言ッテ宜シウゴザイマセウ、見方ガ
違ッテ居ル、今政府トシテ朝鮮米ニ對シ
テ待遇ヲ違ヘルヤウナ一ツノ計畫ヲ立
テテ、朝鮮米ヲ或ハ内地ヘ入レナイヤ
ウナ垣ヲ拵ヘルヤウナ考ヘ、何モ政府
ハ持ッテ居リマセヌ、又左様ナ必要ハナ
イト信ジテ居ルノデアリマス、農業ニ
對シテ農林大臣ガ冷淡デアルトカ何ト
カ云フ御批評デアッタガ、農林大臣ハ決
シテ左様デハアリマセヌ、唯貴方ノ御

考ト私ノ考ハ多少違フカ知レナイガ、
農林大臣ハ洵ニ此問題ニ對シテ熱心デ
アルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒマス
○竹内委員 發言ノ御許ヲ願ヘマセヌ
カ
○元田委員長 先刻貴方ノコトヲ承リ
マシタ、是デ大體ニ關スル質問ハ打切
リト致シマシテ、明日午前十時カラ先
ヅ各案ニ付テ——大抵皆サンガ問答ニ
ナッテ居ルケレドモ、條項ニ付テ御聽キ
ニナラナケレバナラヌコトヲ明日中ニ
果ス、餘程切迫シテ居リマスカラ、サウ
云フコトニ致シテ、若シソレデ濟ムナ
ラバ貴方ハ各案ニ付テ御問ヒ下サッテ
ハ如何デセウ
○竹内委員 明日私ニ一般的ノ質問ヲ
御許下サルナラバ、ソレデ宜シウゴザ
イマス
○元田委員長 一般的ノデスカ
○竹内委員 サウデス
○元田委員長 一般的デハ又後ニ戻ル
ヤウニナリマセウ、如何デセウカ、隨分
私カラ申上ゲヤウガナイ、途中デ
病氣デ以テ缺席致シタカラ申上ゲヤウ
ハナイデスガ、餘程諸君ガ御質問ナサッ
テ、今日ハ御精勵下サッテ居ルノデアリ
マスカラ、是デ今日ハ打切り下サイマ
シテ、各部ニ對シテ御尋ニナル時ニ、ソ
レヲ爲サッテハ如何デセウ……
○湯淺委員 今日總體ノ質問ヲ打切
リ、明日ニテ總テノ質問ヲ打切ルト云
フ御趣旨デアリマスカ

○元田委員長 左様致シタイト思ヒマ
スガ、皆サン如何デスカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○元田委員長 ソレデハ明日午前十時
カラ始メマシテ、大體ノ質問ハ明日デ
終ハル、此趣意ヲ御諒解ヲ得タコトニ
決シマス
午後六時二十三分散會